

朝霞市外部評価委員会（第1回）
次 第

日時 令和7年5月19日（月）
午後2時から
場所 朝霞市役所
別館2階 全員協議会室

1 開 会

2 議 事

（1）外部評価「安全・安心なまち」

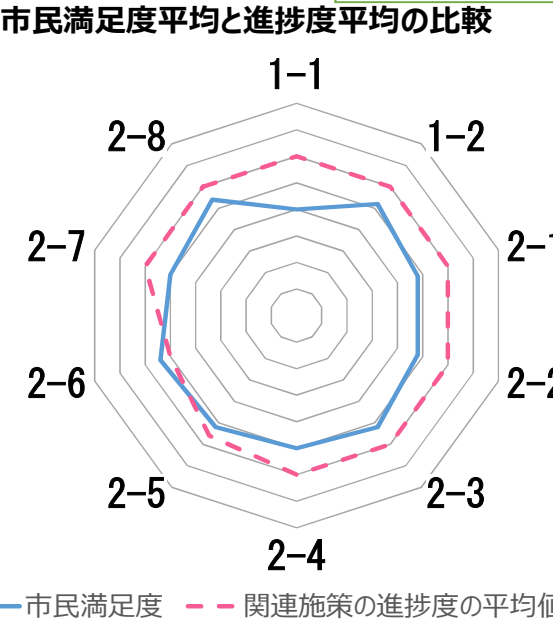
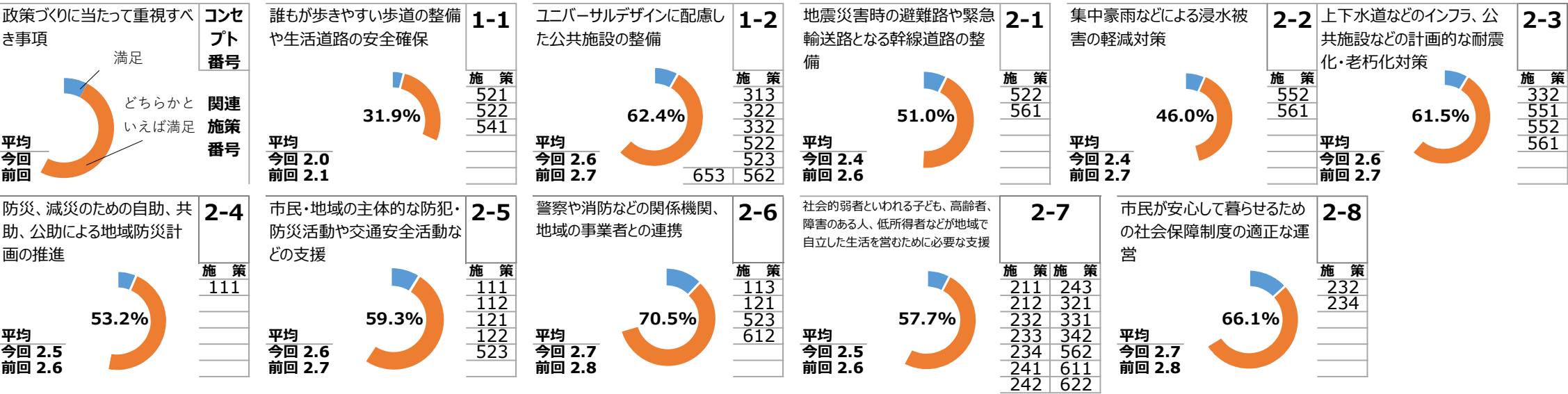
3 その他

4 閉 会

安全・安心なまち

資料1-1

市民満足度アンケート結果：4段階判定（4満足・3どちらかといえば満足・2どちらかといえば不満・1不満）



進捗状況（市の自己評価）：4段階判定（4極めて順調・3おおむね順調・2やや遅れている・1大幅に遅れている）

進捗度	施策コード	まちの状態を表す指標 (施策評価シートの指標)	進捗度	111 3 3	想定避難者数の1.5日分の備蓄食料確保率（％）	進捗度	112 3 3	メール配信サービスへの登録者（人）
今回	施策名				100 100 100			6,556 6,591 10,000
前回	総コスト（千円）			50,931	R5実績 R6見込 R7目標		8,435	R5実績 R6見込 R7目標
進捗度	113 2 3	消防団の充足率（％）	進捗度	121 2 3	市内における刑法犯認知件数（件）	進捗度	122 3 3	消費生活相談件数（件）
	消防体制の充実	92 88 100		防犯のまちづくりの推進	791 1,012 831		消費者の自立支援の充実	783 830 1,070
	1,596,697	R5実績 R6見込 R7目標		27,488	R5実績 R6見込 R7目標		27,925	R5実績 R6見込 R7目標
進捗度	211 3 2	民生委員・児童委員の相談・支援件数（件）	進捗度	212 3 3	福祉の総合相談件数（件）	進捗度	232 3 3	地域包括支援センターの相談件数（件）
	地域共生社会の構築	1,615 1,650 2,600		生活困窮者等への支援	886 900 1,400		自立のためのサービスの確立	4,524 4,900 5,000
	434,578	R5実績 R6見込 R7目標		6,253,545	R5実績 R6見込 R7目標		8,931,818	R5実績 R6見込 R7目標
進捗度	233 3 3	認知症サポーターの数（人）	進捗度	234 3 4	高齢者の地域活動団体数（団体）	進捗度	241 3 3	啓発・広報活動件数（件）
	安全・安心な生活ができる環境整備	7,378 7,850 10,000		地域包括ケアシステムの推進	127 138 200		共に生きる社会の実現	51 82 100
	59,142	R5実績 R6見込 R7目標		191,561	R5実績 R6見込 R7目標		4,175,941	R5実績 R6見込 R7目標
進捗度	242 3 3	障害福祉サービス等の延べ利用件数（件）	進捗度	243 3 3	障害者就労支援センター利用による就職者数（人）	進捗度	313 3 3	「教科等指導員」を任命した教科等の数（教科）
	地域における自立生活支援	29,178 30,000 24,000		自立に向けた就労の支援	28 41 50		質の高い教育を支える教育環境の整備充実	2 5 15
	494,487	R5実績 R6見込 R7目標		0	R5実績 R6見込 R7目標		3,148,007	R5実績 R6見込 R7目標

進捗度	321	事業参加者満足度（％）	進捗度	322	事業参加者数（人）	進捗度	331	週1回以上スポーツを行っている人の割合（％）
	生涯学習活動の推進	92.6 92.8 92.0		学びを支える環境の充実	24,996 31,068 70,000		スポーツ・レクリエーション活動の推進	アンケートを不定期実施 60
	42,558	R5実績R6見込R7目標		952,728	R5実績R6見込R7目標		35,620	R5実績R6見込R7目標
進捗度	332	体育施設（14施設）の利用率（％）	進捗度	342	文化祭入場者数（人）	進捗度	521	歩道整備延長（累計）（m）
	利用しやすい施設の提供	60.3 60.2 62.0		芸術文化の振興	8,766 8,496 14,500		やさしさに配慮した道づくり	79,862 80,063 80,227
	760,182	R5実績R6見込R7目標		9,113	R5実績R6見込R7目標		750,115	R5実績R6見込R7目標
進捗度	522	都市計画道路の整備率（％）	進捗度	523	市内循環バス（コミュニティバス）の年間利用者数（人）	進捗度	541	（仮称）あずま南地区土地区画整理事業整備進捗率（％）
	まちの骨格となる道路づくり	54 54 56		良好な交通環境づくり	386,520 376,470 320,000		特性に応じた市街地づくり	0 30 66
	371,089	R5実績R6見込R7目標		653,673	R5実績R6見込R7目標		812,578	R5実績R6見込R7目標
進捗度	551	基幹管路の耐震化率（上水道）（％）	進捗度	552	老朽化管渠の修繕改築工事延長（下水道）（km）	進捗度	561	防火地域・準防火地域の指定地区数（地区）
	上水道の整備・充実	56.3 59.2 62.7		公共下水道の整備	0.09 0.68 1.05		災害や犯罪に強いまちづくり	10 10 12
	2,960,052	R5実績R6見込R7目標		2,511,481	R5実績R6見込R7目標		144,622	R5実績R6見込R7目標
進捗度	562	「障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備」の不満足	進捗度	611	人権に関する研修会・講演会参加者数（人）	進捗度	612	人権施策や人権問題に関する関係機関との連携件数（件）
	全てのの人にやさしいまちづくり	0 0 17		人権教育・啓発活動	323 300 630		問題解決に向けた支援体制の充実	9 12 13
	78,590	R5実績R6見込R7目標		8,293	R5実績R6見込R7目標		7,561	R5実績R6見込R7目標
進捗度	622	配偶者等から暴力を受けた場合に誰かに相談する割合（％）	進捗度	653	維持管理費の削減率（％）			
	男女平等が実感できる生活の実現	0 0 80		公共施設の効果的・効率的な管理運営	36.9 38.8 -5.0			
	14,508	R5実績R6見込R7目標		671,214	R5実績R6見込R7目標			

市民満足度アンケート自由記述欄（主なもの）

○道路整備 ・歩道がない、もしくは狭い場所があり、危険。（他39件） ・歩道と車道との境がたがたで自転車や歩行中でもよろけてしまう（他10件） ・車いすやベビーカー利用者、小さな子供連れで歩くには危険を感じるが多い。（他7件） ・小中学生の通学路であろう道（車通りの激しいような道）にガードレールがないところがある。（他3件） ・公共の道路に関しては、整備されているところとそうでない場所の差が激しすぎます。（他3件） ・車道と歩道の段差をできるだけ、なくしてほしいと思います。（他2件） ・雨の日に車道の水はけが非常に悪く、歩道を歩いても車が通るたびに水がかかる。（他1件） ・電柱が多く道幅を狭くしている。（他1件） ・内間木橋がなくなったことによる避難道整備は着実に進んでおり、市（道路整備課）に感謝している。 ・狭い道は一方通行か歩行者専用にしてほしい。 ・道の端に草が生い茂っている場所があり、自転車走行時に危険なので定期的土を取り除いてほしい。 ・朝霞駅南口のロータリーをもっと改善してほしい。乗用車の列でバスの通行の妨げになっていて危険。	○交通安全整備・交通マナー ・交通量が増えており、信号機の設置をした方が良いと思われる部分が多々ある。（他8件） ・歩行者にも交通ルールをわかってもらえるようなイベントなどの周知の徹底（他6件） ・公園の出入り口に横断歩道を必ず設置してほしい。（他5件） ・通学路で、道が狭いのにスピードを出し過ぎている車がいるのが心配です。（他4件） ・城山通りに自転車専用レーンができたが、無理やり設けた感じがして逆に危ない。（他1件） ・車と歩行者の完全分離を進めて、交通事故対策を徹底してほしい。 ○防災 ・町内会活動が停滞しており、地域の防災体制ができていない。（他2件） ・自然災害が甚大化、頻発化しているので、想定外にならないよう短いスパンで対策の更新をしてほしい。 ・防災、地震などの避難、支援物資の受け取りなど、広報あさかとは別の冊子があるとありがたい。 ・避難場所におけるプライバシーの保護や環境にもっと積極性があるとよい。 ・避難場所になるので、全ての公共施設にユニバーサルデザイントイレの設置が望まれます。	○防犯 ・街灯が少なく、暗くて見えにくい、危ないなと感じるところがあります。（他18件） ・防犯カメラの設置支援強化が必要。（他10件） ・防犯パトロールを担う方々が高齢化しており、心配しています。（他2件） ・空き家や雑草に覆われている場所で不法投棄されているごみが目立つ。 ・防犯パトロールの方や防犯カーは、日々、地域の子供たちの安全を見守っていただいていて、感謝です。 ○水害対策・下水道整備 ・ゲリラ豪雨の際に、冠水して川のようにになっている場所がいくつかあった。（他3件） ・八潮市の陥没のようにならないように、下水管の点検をお願いしたいです。（他2件） ・大雨でマンホールから水が噴き出ていることもあり、対策が必要不可欠と思われる。 ○その他 ・外国から移住してくる方が増えてきており、意思の疎通が難しく不安を感じることがあります。（他4件） ・特定健康診査の項目を増やしてほしい。
---	--	--



111 防災対策の推進

担当課 危機管理室

関連課 —

目 指 す 姿

災害時における被害の軽減を図るための活動体制や防災施設等が整備され、防災対策が充実したまちになっている。

まち・ひと・しごと目標 基本目標4 誰もがいつまでも活躍できる安全・安心なまちを実現する
(ウ) 災害への備えが万全で安心して過ごせる地域連携の体制強化

《後期基本計画冊子 P52》



指標1 | 【まち・ひと・しごと】

想定避難者数の1.5日分の備蓄食料確保率（%）

地域防災計画に基づき市が備蓄すべき必要な総数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
100	100	100	100

指標2 |

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

- ・個別避難計画作成支援者に対する謝金を創設することで要支援者台帳個別避難計画の拡充を行った。
- ・災害発生に備え、防災体制の強化を図るため地域防災計画の改定を実施した。

【継続】

- ・気象警報発令時において、地域防災計画に基づき警戒体制を整えた。
- ・災害発生時に円滑に対応できるよう、事前に土木業者等と災害復旧業務委託を締結した。（13業者）
- ・備蓄食料を購入した。
- ・防災設備等（防災行政無線、発電機等）の維持管理を行った。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

該当なし

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

指標1について、賞味期限が近付いたものについては毎年入れ替えを行っているため順調に推移している。
今後も災害発生時に円滑に対応できるよう、機器の維持管理や関係課との情報共有を行っていく。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

国では、マグニチュード7クラスの首都直下型地震が発生する確率（30年間で70%）を踏まえ被害予測を行い、新たな災害対策の取組を進めている。また、東日本大震災後、災害対策基本法の改正（避難場所の見直し、避難行動要支援者名簿の作成及び個別計画の作成等）が行われた。このような中、本市においても引き続き地域防災計画等に基づき災害に強いまちづくりを進める必要がある。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	国民保護計画推進事業	740	372	373	継続
2	災害活動事業	6,113	13,447	16,687	継続
3	防災対策事業	34,260	41,696	14,280	継続
4	地域防災計画策定事業	－	8,002	19,591	休止・廃止
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		41,113	63,517	50,931	

総コスト（事業費+人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度

41,113

R5年度

63,517

R6年度(見込み)

50,931

6 現状と課題の分析

・地域防災計画や災害対策別マニュアルに基づき、引き続き災害発生時に迅速な対応ができる体制づくりを行う必要がある。

8 行政と市民の役割分担

・防災対策は、市で実施するもの（公助）と市民や地域の団体等が実施するもの（自助、共助）があり、それぞれをバランスよく充実させていく必要がある。

・自主防災組織等との協働により、防災に関する課題の把握や情報の共有化を積極的に進める。

7 今後の展開

・地域防災計画に基づき、警戒・非常体制の施行を適切に行い災害時に迅速な対応を行う。

・災害対策別マニュアルに基づき、職員の活動体制など具体的な取り組みを更に進めるとともに、消防等の防災関係機関との連携、協力体制の整備等に努め、総合的な防災体制の強化を図る。

・災害発生時における各種応急復旧に関する人的・物的支援を受けるため、民間事業者等との災害協定を進める。

9 所管部の総括

首都直下型地震の発生が懸念される中、国の動きや社会情勢を踏まえるとともに、地域防災計画に基づいた防災体制の確立、関係機関との連携強化のほか、令和元年台風19号や新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所運営方法の周知、避難行動要支援者への支援等、防災対策の更なる充実・強化に努めていく。

112 地域防災力の強化



担当課 危機管理室
関連課 —

目 指 す 姿

自主防災の理念のもと、災害時における被害の軽減を図るため、日頃から地域防災力の向上に積極的に取り組むまちになっている。

まち・ひと・しごと目標 基本目標 4 誰もがいつまでも活躍できる安全・安心なまちを実現する
(ウ) 災害への備えが万全で安心して過ごせる地域連携の体制強化

《後期基本計画冊子 P52》

指標 1 | 【まち・ひと・しごと】



メール配信サービスへの登録者（人）

メール配信サービスに登録している住民の数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
6,507	6,556	6,591	10,000

指標 2 |

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

【継続】

- ・地域自主防災活動等事業費、消火器設置詰替等事業費及び防災士資格取得支援の補助を実施した。
- ・自主防災組織未結成団体に対する結成促進を、地域防災アドバイザーの協力のもと実施した。
- ・カインズ朝霞店において防災フェアを実施した。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

該当なし

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

指標 1 については、おおむね順調に推移している。
引き続き、自主防災組織の防災活動等事業に対する補助を行っていく。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

災害時に被害を軽減するためには、市民一人ひとりが日頃から家庭内での防災対策を行うことや、自主防災組織が地域において効果的な防災活動を行うことが重要である。このことから、引き続き自主防災組織の結成を促進するとともに、災害に備え、組織化されている団体の活動体制が維持できるように行政として支援していく必要がある。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	地域防災推進事業	12,656	15,100	8,435	継続
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		12,656	15,100	8,435	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 12,656	R5年度 15,100	R6年度(見込み) 8,435
------------------------------	----------------	----------------	--------------------

6 現状と課題の分析

・市民一人ひとりの防災意識を高めるためには継続した活動が必要である。また、自主防災組織の組織化については、一定の成果が認められている中で、今後は自主防災組織の活動をより充実させるための支援を行うとともに、防災関係団体で組織する地域防災ネットワークの構築を進める必要がある。

7 今後の展開

・災害時の被害の軽減を図るには、自主防災組織の活動が重要であるため防災意識の高揚や知識の普及を図る。また、自主防災組織の結成促進、結成団体の活動を支援するとともに避難行動要支援者の個別計画作成等を進め、地域防災力の向上に努める。
・朝霞市における防災の担い手となる団体等が、顔の見える関係づくりを行うことで連携を強固にし、防災・減災対策について取り組む地域防災ネットワークづくりを進める。

8 行政と市民の役割分担

（市）災害時には自主防災組織等の地域住民が主体的に防災活動を行うことが重要であることから、関係団体との協働により、施策の推進を図っていく。

（市民）自主防災組織の結成、資機材の整備、防災訓練の実施等

9 所管部の総括

市民一人ひとりの防災意識を高め、防災に関する知識の普及啓発を推進していくためには継続した活動が必要であることから、令和元年台風19号及び新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所運営等の各種防災に関する情報について、引き続き広報誌、防災講演会、おとどけ講座など、様々な機会を捉え普及啓発に努めていく。
また、災害時には、地域で円滑に防災活動を行う必要があることから、自主防災組織の結成促進及び活動活性化のため、地域防災アドバイザーの活用を推進する。

113 消防体制の充実



担当課 危機管理室
関連課 —

目 指 す 姿

埼玉県南西部消防本部との連携が図られ、消防・救急体制や消防団活動の充実したまちになっている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P52》



指標 1

消防団の充足率（％）

消防団定員（１３８名）に対する充足率

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
96	92	88	100

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

防火衣の更新を行った。
消防団第６分団旧詰所の解体を行った。

【継続】

- 一部事務組合への負担金（消防及び議会総務）を支出した。
- 消防団の主な活動として、火災の災害出動のほか、訓練や整備出動等を行った。
- 消防団詰所、防火水槽、車両の維持管理を行った。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

該当なし

3 進 捗 状 況

1 ② 3 4 … やや遅れている

【判断の根拠】

指標１については、やや遅れて推移している。
今後も災害発生時円滑に消防団が活動できるよう施設・設備の維持管理を行う。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

- ・高齢化社会の到来や大規模災害の発生が予想される中、消防救急体制を充実する必要があることから、朝霞地区一部事務組合に負担金を支出する必要がある。
- ・消防団は大規模災害発生時は地域防災の中心的役割を担うことから、今後も施設整備や処遇の改善等を図る必要がある。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	消防水利整備事業	24,491	22,546	27,776	継続
2	朝霞地区一部事務組合負担事業（常備消防）	1,381,391	1,395,269	1,507,410	継続
3	消防団運営事業	32,054	32,237	27,430	継続
4	消防団活動事業	19,756	22,541	19,564	継続
5	消防団施設等整備事業	101,953	6,039	14,517	継続
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		1,559,645	1,478,632	1,596,697	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 1,559,645	R5年度 1,478,632	R6年度(見込み) 1,596,697
------------------------------	-------------------	-------------------	------------------------

6 現状と課題の分析

- ・災害対応も高度化しており、消防団の対応能力の向上が必要である。
- ・消防団詰所の中には、老朽化した施設があり計画的に改築等を進める必要がある。
- ・地域防災の担い手として自主防災組織や民生委員児童委員、地域防災アドバイザー等の防災関係団体との連携を図っていく必要がある。

7 今後の展開

大規模災害時には、消防団と地域住民が一体となって防災活動を行うことが必要ことから、消防団と地域住民の連携を促進していく。

8 行政と市民の役割分担

- （市）地域防災の担い手として自主防災組織や民生委員児童委員、地域防災アドバイザー等の防災関係団体との連携を図っていく。
- （市民）地域防災アドバイザーや自主防災組織等の防災関係団体を中心に地域防災への意識を高める。

9 所管部の総括

首都直下型の地震や台風、ゲリラ豪雨などの災害の発生が懸念される中、引き続き消防団が地域防災の担い手として中心的な役割を果たすことができるよう、今後においても施設設備や団員確保等、活動環境を整備していくとともに、朝霞地区一部事務組合をはじめとする防災関係団体との連携を推進していく。

121 防犯のまちづくりの推進



担当課 危機管理室
関連課 —

目 指 す 姿

防犯意識の高揚と市民等による自主防犯活動を推進し、街頭犯罪を起こさせにくい地域環境になっている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P54》



指標 1

市内における刑法犯認知件数（件）

埼玉県警察本部が公表した市内発生該当犯罪などの認知件数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
653	791	1,012	831

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

【継続】

- ・防犯パトロールカーを運行した。
- ・防犯灯設置工事費補助金、防犯灯維持管理費補助金、防犯灯LED化促進事業費補助金、防犯活動推進補助金を交付した。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

該当なし

3 進 捗 状 況

1 ② 3 4 … やや遅れている

【判断の根拠】

指標1については、やや遅れて推移している。
防犯パトロールカーの定期的な運行を継続していることに加え、朝霞警察署からの依頼により振り込め詐欺等被害防止の防災無線を流している。今後も引き続き関係機関との連携を図っていく。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

犯罪のない安全・安心なまちづくりは、誰もが望むところであり、今後のまちづくりにおいてもその必要性は高いものと考えている。児童・生徒が安全で安心して教育が受けられるよう、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら、学校の安全管理に関する取り組みは、なお一層の充実が求められる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	防犯対策推進事業	35,200	34,157	27,488	継続
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		35,200	34,157	27,488	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 35,200	R5年度 34,157	R6年度(見込み) 27,488
------------------------------	----------------	----------------	---------------------

6 現状と課題の分析

犯罪のないまちに暮らすことは誰もが望むことである。市民一人ひとりの防犯意識を高め、地域コミュニティによる活動、協力する体制づくりを推進していくことが今後必要である。

7 今後の展開

令和２年度に策定した第4次朝霞市防犯推進計画に基づき、警察及び関係機関と連携し、防犯情報を提供するとともに、市民の意識高揚や自主防犯意識の育成、活動支援に努める。さらに防犯パトロールの実施や小学校へのスクールガード等の配置により、市と市民等が連携し安全確保に努める。

8 行政と市民の役割分担

市及び市民、事業者、土地建物所有者等、警察及び関係団体が互いに連携し合い、一体となった活動を展開していく。今後も行政から一方的な働きかけをするのではなく、地域の自主防犯活動を育成支援し、市及び市民等がそれぞれの役割に応じ、地域ぐるみの防犯に対する意識啓発に力を入れていく。

9 所管部の総括

防犯のまちづくりを推進するため、第4次朝霞市防犯推進計画に基づき、引き続き、市・市民・警察等の関係機関との連携を強化しながら、防犯研修会、防犯パトロール、防犯灯のLED化に対する補助など様々な活動を実施していく。

122 消費者の自立支援の充実



担当課 地域づくり支援課
関連課 —

目 指 す 姿

複雑・多様化する消費者トラブルを未然防止するために必要な情報を提供するとともに、トラブルに巻き込まれた場合の相談窓口として消費生活相談を設け、市民が安心して消費生活を送ることができている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P54》

指標 1

消費生活相談件数（件）

消費生活に関する年間の相談件数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
846	783	830	1,070

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

小学校では例年非行防止教室を実施しており、今回、小学生が被害にあいやすい消費者トラブルについて、消費生活相談委員と連携して行いたい旨の連絡があり講義形式で消費者教育を行った。（第十小学校）

【継続】

- 消費生活相談の実施
- 小・中学校での消費者教室の開催
- 4市共同作成による啓発品の配布
- 通話録音装置の無償貸与
- 市内高校の漫画研究部による消費者トラブルを題材にした漫画を基にチラシの作成・配布を実施
- 「消費生活情報誌アンテナ」「消費生活センターだより」を広報あさかに掲載
- 啓発グッズ、パンフレット等の配布

2 審議会等第三者機関の評価・意見

該当なし

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

指標 1 の消費生活相談件数について、昨年度より増加し概ね順調に相談を行っている。
また、令和6年度第5回消費生活意識調査結果によると、「消費者トラブルに遭った際にどこかに相談した」人の割合は72.5%であった。相談しなかった人は、被害額が小さいなど対応するほどのトラブルではないと思ったなどであった。中には相談窓口が分からなかった人もいたことから、消費生活センターの認知度を高めることで、消費生活相談を身近に感じていただき気軽に相談ができるように周知に努める。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 3 ④ … 社会的なニーズは増加傾向にある

昨今の消費者トラブルは急速なデジタル化に伴い複雑・多様化している。特に高齢者にとってはデジタルということに泣き寝入りしがちだが、消費者トラブルの解決に向け、今後も相談窓口の必要性は高い。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	消費生活相談事業	15,729	15,737	18,475	継続
2	消費生活啓発事業	9,022	9,517	9,450	継続
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		24,751	25,254	27,925	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 24,751	R5年度 25,254	R6年度(見込み) 27,925
------------------------------	----------------	----------------	---------------------

6 現状と課題の分析

消費者トラブルは年々多種・多様化しており、高齢者の消費者被害も依然として高い状況が続いている。
また、成年年齢が18歳に引き下げられ、引き続き、若年者をターゲットとする消費者トラブルについて広がる懸念がある。

7 今後の展開

消費者トラブルにあった時の相談窓口として、消費生活センターの必要性は高いことから、引き続き啓発活動を行い、消費生活センターの認知度を高めていくよう努める。
また、複雑・多様化する消費者トラブルに対応するため、消費生活相談員のスキルアップを図り、消費生活相談の充実に努める。

8 行政と市民の役割分担

（市）消費者トラブルの未然防止のため、広報あさかや市ホームページなどで悪質商法の事例やその対処法を掲載するほか、消費者教室や消費生活パネル展を開催し、消費者トラブルをはじめ、消費生活に関する情報及び消費生活センターのPRに努める。
（市民）消費者教室の参加、消費生活センターへの相談

9 所管部の総括

消費生活相談は、消費者の安全確保、被害の救済を図るうえで極めて重要な役割を果たしている。消費者トラブルから消費者を守るため、消費生活相談員のスキルアップを図りながら、消費生活相談の充実に努めていく。

211 地域共生社会の構築

担当課 福祉相談課
関連課 障害福祉課、長寿はつらつ課、保育課



目 指 す 姿

誰もが住み慣れた地域の中で、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできるまちづくりが図られる。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P62》

指標 1



民生委員・児童委員の相談・支援件数（件）

民生委員・児童委員の活動状況

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
1,651	1,615	1,650	2,600

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

- 令和8年度から令和12年度を計画期間とする、第5期地域福祉計画の策定に向けて、地域福祉計画推進委員会での検討、地域課題を把握するためのアンケート調査等を実施
- 重層的支援体制整備事業の実施に向けた準備を行うため、当該事業の整備に係る研修会（参加者数79名）及び庁内連絡会議（参加者数36名）を開催
- 障害者の余暇活動の質の向上、親睦及び交流、又は社会参加を促進することを目的として、主に団体への貸出を行う備品（ボッチャセット一式）を購入

【継続】

- 地域福祉の担い手である民生委員児童委員の活動を促進し、地域社会の福祉増進を図るため、活動費及び運営費を交付し、活動を支援した。
- 第4期地域福祉計画の令和5年度評価を審議するため、地域福祉計画推進委員会を開催した。
- 地域福祉推進の中心的な役割を担う社会福祉協議会の運営にかかる費用に対し補助金を交付した。
- 市民団体が行う福祉事業に係る費用に対し補助金を交付した。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価委員会】

民生委員・児童委員の活動を評価する際は、相談件数だけでなく内容も重要だと思うので、数だけに捉われず、内容も評価してもらいたい。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

指標1「民生委員・児童委員の相談・支援件数」は、横ばいとなっているが、地域住民からの様々な相談内容に応じた関係機関への繋ぎや、各種行事への参加協力等、地域の橋渡し役として幅広い活動・役割を果たすことができた。

また、地域福祉計画推進委員会を開催し、第5期地域福祉計画の策定に向けた検討のほか、重層的支援体制整備の準備に向けた要綱の策定、研修会などを実施した。

今後も重層的支援体制の整備等、地域共生社会の構築に向けた取組を進めていく。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 3 ④ … 社会的なニーズは増加傾向にある

少子高齢化、生活困窮、孤立やひきこもりなど、地域福祉の課題は複雑化・複合化し、既存の対象者ごとの支援体制だけでは十分な対応が難しくなっている。各分野の横断的な支援、制度の狭間にいる方々への包括的な支援が提供できる仕組みなど、地域共生社会の実現に向けたニーズは今後も高まるものと考えられる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	災害援護資金貸付事業	369	372	373	継続
2	災害救助事業	2,083	2,072	10,334	継続
3	社会福祉増進事業	130,489	131,078	148,184	継続
4	総合福祉センター管理運営事業	132,748	132,928	136,495	継続
5	総合福祉センター施設改修事業	26,270	69,958	52,795	継続
6	地域福祉計画推進事業	3,453	3,571	3,536	継続
7	民生委員児童委員活動事業	27,962	26,618	32,207	継続
8	(仮称)福祉等複合施設建設事業	10,714	30,197	36,745	継続
9	地域福祉計画策定事業	-	-	13,909	継続
10	子ども・子育て支援事業【再掲】	-	-	-	継続
11	子どもの居場所づくり支援事業【再掲】	-	-	-	継続
12	民間社会福祉施設整備費補助事業【再掲】	-	-	-	継続
13	生きがい活動支援事業【再掲】	-	-	-	継続
14	生活支援体制整備事業【再掲】	-	-	-	継続
15	障害者プラン・障害福祉計画推進事業【再掲】	-	-	-	継続
16	障害者スポーツ・レクリエーション事業【再掲】	-	-	-	継続
17	障害福祉助成事業【再掲】	-	-	-	継続
18	障害者生活支援事業【再掲】	-	-	-	継続
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		334,088	396,794	434,578	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 334,088	R5年度 396,794	R6年度(見込み) 434,578
------------------------------	-----------------	-----------------	----------------------

6 現状と課題の分析

地域福祉の課題は複雑・複合化してきており、高齢者、障害者、生活困窮者等の対象者ごとの支援体制だけでは、様々なニーズへの対応が困難となっている。支援の必要性が高まる一方で、担い手不足や制度の縦割りなどが課題である。

誰もが自立した生活を送ることができるよう、地域の多様な活動への参加支援など、包括的な支援体制の構築が求められている。

7 今後の展開

今後も地域福祉活動への支援を進めていくほか、地域福祉計画・地域福祉活動計画をはじめ、高齢者、障害のある人、子どもなどの様々な計画を踏まえ、地域共生社会の実現に向けて、地域の担い手育成の機会づくりや、包括的な支援体制の構築等を行っていく。

8 行政と市民の役割分担

（市）地域の身近な相談先である民生委員・児童委員の活動支援や、社会福祉協議会や福祉活動団体の活性化に向けた支援を行うほか、属性・世代を問わない包括的な相談を受け止められる支援体制の整備を行っていく。

（市民）
地域の見守り活動やボランティア、地域福祉活動への参加。地域福祉団体の運営など地域福祉の担い手となる。

9 所管部の総括

・地域福祉活動等への支援や、地域福祉人材の発掘及び育成支援に引き続き取り組むとともに、地域福祉推進委員会でのご意見を伺いながら、第5期地域福祉計画の策定や地域福祉の課題解決に取り組んでいく。

・多様な福祉ニーズを受け止め、人と人がつながり続けられるよう、属性を問わない相談支援や、地域への参加支援など、重層的支援体制の整備に向けた取組を行っていく。

212 生活困窮者等への支援



担当課 福祉相談課
関連課 生活支援課

目 指 す 姿

複合化かつ複雑化した様々な問題を包括的に受け止める相談体制を整えることで、生活困窮者等の生活の安定と自立の促進が図られる。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P62》

指標 1



福祉の総合相談件数（件）

福祉の総合相談件数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
1,686	886	900	1,400

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

- ・成年後見制度相談事業の実施（令和6年5月から）
- ・物価高騰対応重点支援給付金（住民税非課税世帯支援給付金・住民税均等割のみ課税世帯支援給付金・子育て世帯支援給付金）の支給
- ・定額減税調整給付金の支給
- 物価高騰対応重点支援給付金の追加分（住民税非課税世帯支援給付金（追加分）
- ・子育て世帯（住民税非課税世帯）支援給付金（追加分）の支給

【継続】

- ・生活困窮者自立支援法や生活保護法に基づく、生活困窮者に対しての自立相談支援事業、住居確保給付金支給、学習支援事業、家計改善支援事業などを実施した。
- ・高齢者の困りごと相談をはじめ、福祉に関する相談を受ける福祉の総合相談を実施した。
- ・福祉相談アドバイザー事業を実施した。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価委員会】

- ・引きこもりは、孤立・孤独問題にもリンクするものだと思うので、引き続きの実態把握と、適切な支援の方策を検討してもらいたい。
- ・真偽は分からないが、生活保護を受給するために、難民認定を受けようとする外国籍の人がいるという話を聞いたことがある。朝霞市にも外国籍の人が増えてきているので、今後、この問題に注目していく必要があるのではないかな。
- ・生活に苦勞している人が生活保護から自立するためには、就労の場が必要となることから、産業振興が大きな力になると思うので、それに対する手立てを講じてほしい。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

指標1「福祉の総合相談件数」は減少傾向にあるが、様々な悩みを抱える相談者に対して、丁寧に話をうかがいながら、その背景にある状況や感情に理解を示し、一人一人に寄り添った対応に努めている。
今後も、関係部署・機関等と連携しながら、必要な支援につなげるなど、相談者が安心して生活できる体制を構築していく。

【外的要因】

新型コロナウイルス感染症の5類移行、相談件数は減少傾向にあるが、引き続き相談事業の周知を図るほか、相談しやすい環境整備について検討していく。

4 必 要 性

1 2 3 ④ … 社会的なニーズは増加傾向にある

生活困窮、ひきこもり、高齢者の単身世帯の増加等は、今後福祉の相談支援へのニーズを高める要因と考えられる。孤独死などのリスクが高まる中で、制度の狭間にいる方々への包括的な支援体制を整えるなど、生活困窮者等への支援は今後も増加していくものと考えられる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	福祉相談事業	29,375	38,717	40,707	継続
2	物価高騰対応重点支援給付金（住民税非課税世帯 R6新）	-	-	169,742	休止・廃止
3	物価高騰対応重点支援給付金（住民税均等割のみ課税世帯R6新）	-	-	71,710	休止・廃止
4	物価高騰対応重点支援給付金（子育て世帯R6新）	-	-	19,845	休止・廃止
5	定額減税調整給付金	-	-	925,962	休止・廃止
6	物価高騰対応重点支援給付金（追加分）（住民税非課税世帯支援給付金（追加分））	-	-	427,126	継続
7	物価高騰対応重点支援給付金（追加分）（子育て世帯（住民税非課税世帯）支援給付金（追加分））	-	-	33,856	継続
8	物価高騰対応重点支援給付金（住民税均等割のみ課税世帯 R5分）	-	137,297	7,531	休止・廃止
9	物価高騰対応重点支援給付金（子育て世帯 R5分）	-	62,412	4,713	休止・廃止
10	生活保護事業	3,959,882	4,218,186	4,489,420	継続
11	生活保護総務事務事業	57,060	59,302	62,933	継続
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		4,046,317	4,515,914	6,253,545	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	4,046,317	4,515,914	6,253,545

6 現状と課題の分析

生活困窮者や、ひきこもり、孤立・孤独などが、深刻な社会問題となっている。これらの生活困窮者なども含めた誰もが、自分の意思で地域で暮らし続けるため、自立した日常生活の支援、社会参加の支援、就労支援など、包括的に受け止められる支援体制が求められている。

7 今後の展開

生活困窮者自立支援法及び生活保護法に基づき、生活困窮者等の相談に応じ、引き続き必要な情報提供及び助言を行うとともに、各種制度の活用につなげ、自立した生活に向けた支援を行っていく。

また、ひきこもり、孤立・孤独問題、8050問題、ダブルケアなど複雑・複合化した課題に対し、包括的に受け止める支援体制の構築等を行っていく。

8 行政と市民の役割分担

（市）福祉の総合相談、成年後見制度相談の実施・窓口周知のほか、民生委員児童委員や社会福祉協議会など関係機関と連携した相談支援を実施していく。

（市民）自立相談支援機関等への相談

9 所管部の総括

・生活困窮者自立支援法及び生活保護法に基づく支援のほか、多様な福祉ニーズを受け止め、人と人がつながり続けられるよう、属性を問わない相談支援を整えるなどして、生活困窮者等の生活の安定と自立の促進に努めていく。

232 自立のためのサービスの確立



担当課 長寿はつらつ課
関連課 —

目 指 す 姿

介護保険制度を適切に運用するほか、福祉サービスを活用することにより、高齢者の自立生活が支援されている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P68》



指標 1

地域包括支援センターの相談件数（件）

身近な地域で、適切に介護や福祉のサービスを活用し、高齢者の自立を相談支援している機関である地域支援包括支援センターの相談件数の累計

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
4,780	4,524	4,900	5,000

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

- ・高齢者の増加に伴い、介護認定申請件数も増加している状況から、介護認定調査及び認定審査事務の円滑な実施を図るため、認定調査等に係る委託業務の実施を行った。
- ・ケアマネジャー等を対象に、介護サービス基盤の維持・確保のため、ケアマネジメント研修会を実施し、講義に加えてグループワーク等を組み入れるなど、日ごろのケアマネジメント手法を振り返る機会とした内容へ見直しを行い開催した。
- ・本市の介護事業所等で従事するケアマネジャー等を対象に、介護支援業務での悩みごとや困りごとなどの相談を受ける「ケアマネおたすけダイヤル」を令和6年4月から埼玉県介護支援専門員協会へ委託を開始した。

【継続】

- ・低所得者の介護保険料の国基準の幅での軽減を継続した。
- ・高齢者福祉と介護保険制度の市民説明会を開催した。（6会場）
- ・介護認定調査・審査会の円滑な実施を図り、適正な認定審査を実施し、必要な介護サービスの利用に結びつけた。
- ・介護保険給付費の適正な運営を図るため、ケアプラン点検、縦覧点検、介護給付通知など介護給付適正化事業を実施した。
- ・介護保険制度で提供できない移送サービスと生活支援員派遣事業を実施した。
- ・住民税非課税で高齢福祉年金受給者と住民税非課税世帯の方を対象に、介護保険サービスの利用料の一部を補助した。
- ・寝たきり等の高齢者に紙おむつの支給を行った。
- ・市内6カ所の地域包括支援センターで、高齢者の総合相談などを実施した。
- ・認知症高齢者と地域住民の集いの場であるオレンジカフェや家族介護教室を実施した。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価委員会】

- ・市として地域包括支援センターのPRがもっと必要ではないか。
- ・地域包括支援センターの広報活動は、今は困りごとがない人にも自分事として捉えてもらえるよう、「今後に備えるため」等の言葉を用いるなど、問いかけ方の工夫をしてもらいたい。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

高齢者の身近な地域で、たとえ介護が必要な状態であっても、その方にとって豊かな自立生活ができるよう支援し、地域包括ケアを推進するために、適切な介護保険サービスに結びつけるほか、介護保険サービス外の一般福祉サービスの提供や、地域包括支援センターにおける高齢者の総合相談などを実施している。

相談件数は、年々増加しているが、高齢者の世帯状況の変化から、高齢者の相談だけでなく遠方に住む家族からの相談が増加している傾向があった。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 3 ④ … 社会的なニーズは増加傾向にある

今後も75歳以上の後期高齢者の増加が続き、かつ、高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯の増加も予想され、介護サービスの必要性のみならず、地域における助け合いなど、様々な支援を必要とする高齢者の増加が見込まれる。

そのため、複雑多様化する生活課題を持ちながら、その方らしく、住み慣れた地域で、可能な限り暮らしていきたいと願う、多くの高齢者への対応が求められる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	介護認定調査・審査事業	73,411	93,834	129,368	継続
2	介護保険制度趣旨普及事業	7,147	2,849	10,019	継続
3	介護保険特別会計運用事業	30,883	29,170	33,758	継続
4	介護保険賦課徴収事業	15,346	15,199	16,419	継続
5	介護保険料還付事業	5,586	6,926	6,934	継続
6	任意事業	12,882	11,577	40,096	継続
7	認知症総合支援事業	7,263	7,523	9,515	継続
8	介護予防・生活支援サービス事業【再掲】	－	－	－	継続
9	一般介護予防事業【再掲】	－	－	－	継続
10	介護給付費審査支払事業	6,319	9,111	6,584	継続
11	介護保険給付事業	6,968,085	7,468,343	7,973,076	継続
12	高額介護（予防）サービス費給付事業	229,132	252,590	219,503	継続
13	特定入所者介護（予防）サービス費給付事業	150,737	148,276	201,891	継続
14	介護人材確保事業	4,355	5,496	3,782	継続
15	在宅医療・介護連携推進事業【再掲】	－	－	－	継続
16	地域ケア会議運営事業【再掲】	－	－	－	継続
17	介護保険介護度軽快者居宅サービス利用料助成事業	431	360	435	継続
18	介護保険利用者負担軽減対策費補助事業	86,830	74,235	84,809	継続
19	高齢者家族介護支援事業	16,700	18,016	15,762	継続
20	高齢者自立生活支援事業	78,402	91,773	79,704	継続
21	特別養護老人ホーム管理運営事業	69,517	81,533	77,477	継続
22	安心見守り支援事業【再掲】	－	－	－	継続
23	養護老人ホーム等入所事業【再掲】	－	－	－	継続
24	特別養護老人ホーム施設改修事業	34,407	18,336	22,686	継続
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		7,797,433	8,335,147	8,931,818	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 7,797,433	R5年度 8,335,147	R6年度(見込み) 8,931,818
------------------------------	-------------------	-------------------	------------------------

6 現状と課題の分析

高齢者の多様なニーズに対し、画一的な基準の介護サービスだけでなく、地域にある様々な資源（住民主体の活動など）への参加の他、助け合いによるサービスや実態に即した支援の提供が課題である。
今後も介護サービスの利用者の増加が見込まれることから、65歳以上の高齢者が負担する介護保険料の増加が見込まれる。

7 今後の展開

地域の実情に応じ、介護認定を受けている方も、受けていない方も、高齢者一人ひとりが、その方にとって自立した生活となるよう、介護サービスの効果的活用、地域における医療・介護の連携した支援のほか、住民主体の生活支援や介護予防など様々な地域資源の活用も含む、一体的な支援の提供体制を構築し、いつまでも安心して暮らしていくために、地域包括ケアシステムの確立を目指す。
その要となり推進する役割をもつ地域包括支援センターの機能強化を図っていく。

8 行政と市民の役割分担

高齢者が介護を必要とする状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けるために、それらを支援する人材の育成や地域の社会資源の発掘を進める必要がある。
そのため、地域住民が主体となる第2層協議体と行政の連携や第1層協議体での検討は、ますます重要になる。

9 所管部の総括

介護保険制度の円滑な運用のために、情報提供や相談体制、認知症施策や介護者への支援の充実を図っていく。
また、介護サービスや介護サービスにはない生活支援を充実させ、高齢者が住み慣れた地域で、可能な限り自立した生活を続けていくための支援を進めていく。

233 安全・安心な生活ができる環境整備



担当課 長寿はつらつ課
関連課 福祉相談課

目 指 す 姿

高齢者が住み慣れた地域で、安心して尊厳のある生活を送ることができるようになっている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P68》



指 標 1

認知症サポーターの数（人）

地域で認知症高齢者を見守り・支援する人である認知症サポーター養成講座を受講しサポーターとなった人の数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
7,255	7,378	7,850	10,000

指 標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

・9月の認知症月間に、認知症支援団体と共催で、認知症講演会を実施した。また、本庁舎内に認知症当事者の方が撮影した写真の展示や、図書館本館に認知症に関連する特設コーナーを設置するほか、市役所前の広場をオレンジにライトアップをする取り組みを実施した。

【継続】

- ・介護保険サービスの上乗せ支援として、高齢者の住環境改善のため、手すりの取付や段差改修を行う場合、改修費用の一部の補助実施。
- ・住宅に困窮している高齢者に対し、高齢者住宅の貸与を行った。
- ・ひとり暮らし等の高齢者に対し、安心見守り及び緊急通報システムを設置。
- ・認知機能の低下などにより判断能力が十分でなく、親族の支援が得られない方の権利を守るため、成年後見制度の市長申立てを行った。
- ・認知症サポーター養成講座を、地域包括支援センターが実施（6圏域）
- ・認知症サポーター養成講座修了者に対して、ステップアップ講座を実施し、地域での見守りを促した。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価委員会】

・認知症の高齢者も増加傾向。そのためにも小・中学校における認知症サポーター養成講座の実施が重要。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

コロナ禍以降、小・中学校における認知症サポーター養成講座の実施を見送っていたが、令和6年度は小・中学校と養成講座開催に向けての準備・調整を行い、実施に繋がった。

併せて、各圏域の地域包括支援センターにて認知症サポーター養成講座を実施した。

認知症サポーター養成講座修了者に対して、ステップアップ講座を実施し、地域での見守りを促すが、活躍の場が少ない状況である。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 3 ④ … 社会的なニーズは増加傾向にある

高齢者の増加、特にひとり暮らしや高齢者のみ世帯の増加もあり、見守り事業の需要は拡大するものと思われる。

また、高齢者数の増加に伴い、認知症の高齢者が増加することや、閉じこもり傾向からくる、孤独死などの対策のため、地域で見守る体制づくりが、より一層必要となる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	安心見守り支援事業	22,245	22,472	26,224	継続
2	民生委員児童委員活動事業【再掲】	－	－	－	継続
3	高齢者住宅支援事業	27,534	28,151	29,066	継続
4	養護老人ホーム等入所事業	2,222	3,781	3,852	継続
5	高齢者自立生活支援事業【再掲】	－	－	－	継続
6	包括的支援事業【再掲】	－	－	－	拡充
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		52,001	54,404	59,142	

総コスト（事業費＋人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
52,001	54,404	59,142

6 現状と課題の分析

地域で、見守りが必要と思われる高齢者については、その方の状況により、見守りシステムを活用している方や、配食サービスなど訪問による見守り支援などの他、認知症サポーターや、見守り協定締結企業などの見守りと、様々なスタイルの見守り事業が活用されている。

これらの様々な見守り事業については、本市の高齢者の実態に即し、効果的・効率的な見守り事業となるよう今後も検討していく。

さらに、見守り支援などの必要性和併せて避難行動要支援者台帳の登録も推進していく。

7 今後の展開

緊急通報システムなどの機器を活用した見守りと、認知症サポーターや見守り協定締結企業など地域関係者による顔が見える関係での見守り支援など、行政や地域包括支援センター及び警察などの関係機関とも協議を重ね、効果的な高齢者の見守り支援のあり方を再構築していく。

8 行政と市民の役割分担

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送るためには、地域の目としての見守り支援と、行政の機器等を活用した見守りシステムの展開が一体的な見守りネットワークとなるよう、今後も地域と行政が連動していくことが重要である。

9 所管部の総括

様々な見守り事業については、効果的な見守りシステムとなるよう、高齢者の実態に即した見直しを行っていく。

あわせて、支援の必要な方に対して、適切な支援が行き届くよう努めていくとともに、避難行動要支援者台帳の個別避難計画の整備もすすめていく。

234 地域包括ケアシステムの推進



担当課 長寿はつらつ課
関連課 —

目 指 す 姿

医療・介護の連携や地域のつながり、助け合いの仕組みづくりなど地域包括ケアシステムの深化に取り組み、誰もが住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らせるまちになっている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P69》



指標 1

高齢者の地域活動団体数（団体）

高齢者を中心とした、サロンや体操など、地域で様々な社会参加の活動を定期的に実施している活動団体数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
112	127	138	200

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

令和5年度までの多職種合同研修会では、講師を招き、講義形式でACP等に関する意識啓発の取り組みを行っていたが、メンバーの理解等が進んできていることや、メンバーが主体的となって意見交換ができるよう、令和6年度は講義形式ではなく、グループワーク中心の研修内容へ見直しを行った。

【継続】

- ・各地域包括支援センターで総合相談支援等を実施。（6圏域）
- ・在宅医療・介護連携推進会議の実施。
- ・多職種合同研修会及び情報交換会の実施。
- ・ケアマネジャー向け研修会の実施は「232自立のためのサービスの確立」の施策の中で実施。
- ・ACP普及啓発座談会の実施。
- ・在宅医療連携拠点業務委託の実施。
- ・地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所を対象に、自立支援型地域ケア会議を毎月開催。
- ・地域ケア推進会議を開催。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価委員会】

- ・市として地域包括支援センターのPRがもっと必要ではないか。
- ・地域包括支援センターの広報活動は、今は困りごとがない人にも自分事として捉えてもらえるよう、「今後に備えるため」等の言葉を用いるなど、問いかけ方の工夫をしてもらいたい。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

高齢者の地域活動団体数については、着実に増えており、第2層生活支援コーディネーターを通じて、地域の活動を把握することができ、活動支援を行うことができています。

また、在宅医療・介護連携事業における会議・情報交換会等についても、関係者等の協力を得ながら、すすめることができています。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 3 ④ … 社会的なニーズは増加傾向にある

住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らし続けることを望む高齢者の増加が予想され、自立支援・重度化防止に向けた取り組みや在宅医療と介護の連携体制の整備の必要性が高まるが見込まれる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	包括的支援事業	163,675	169,509	164,087	拡充
2	在宅医療・介護連携推進事業	11,555	11,545	14,750	継続
3	地域ケア会議運営事業	10,920	9,554	12,724	継続
4	生活支援体制整備事業【再掲】	－	－	－	継続
5	認知症総合支援事業【再掲】	－	－	－	継続
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		186,150	190,608	191,561	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 186,150	R5年度 190,608	R6年度(見込み) 191,561
------------------------------	-----------------	-----------------	----------------------

6 現状と課題の分析

・地域包括支援センターの業務は、高齢化の進展を背景に増加の一途をたどっており、相談対応では、高齢者とその周りの人だけでなく、障害者や子どもなど問題の複雑化・多様化に対応することが求められるため、制度・分野ごとの縦割りや「支え手」「受け手」といった関係を超えて、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現に向けた検討が必要である。

7 今後の展開

・相談内容の複雑化・多様化に対応するとともに地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアへの対応を推進するため、地域包括支援センターの機能強化に向けた検討を進める。
・医療職と介護職の連携のため、顔の見える関係づくり・話ができる関係づくりを目指し、研修会等を実施する。また、情報連携の活用のための支援に努める。
・高齢者が自分らしい暮らしを続けるため、ACPや看取り等に関する意識啓発を進めると共に、専門職に対して学習の機会を設ける。
・4つの場面（入退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り）に応じた事業を実施し、在宅医療・介護連携推進事業の更なる強化を図る。

8 行政と市民の役割分担

在宅医療と介護の連携をすすめるにあたり、医療や介護の専門職等の関係者同士が連携を図れるよう、顔の見える関係づくりやスムーズな連携が行えるよう事業展開を行う必要がある。
また、市民一人ひとりが自分の望む暮らしを決定できるよう、意識を高めるための普及啓発を行う。

9 所管部の総括

地域共生社会の実現を視野に、地域包括ケアシステムの深化・推進を目指し、高齢者支援の要である、地域包括支援センターの機能強化に向けた検討を進める。
また、介護保険の各種サービスと高齢者福祉サービスを併用し、効果的に高齢者の自立を支援できるよう各種施策を推進していく。

241 共に生きる社会の実現



担当課 障害福祉課
関連課 —

目 指 す 姿

ノーマライゼーションの理念が普及し、障害及び障害のある人についての理解が促進されると共に、必要に応じて権利擁護に関する制度が活用され障害のある人が地域で安心して生活できるような、障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちになっている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P72》



指 標 1

啓発・広報活動件数（件）

様々な媒体を活用して行う障害に関する啓発・広報活動件数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
57	51	82	100

指 標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

・障害者の余暇活動の質の向上、親睦及び交流、又は社会参加を促進することを目的として、主に団体への貸出を行う備品（ポッチャセット一式）を購入（障害者スポーツ・レクリエーション事業）

【継続】

- ・障害者週間（12月3日～9日）に啓発事業を実施。
- ・手話言語国際デー（9月23日）の啓発事業を実施。
- ・市民ホールにおいて障害福祉施設自主製作品展示販売会を実施。
- ・障害者プラン推進委員会・自立支援協議会・各専門部会を開催。
- ・成年後見制度市長申立ての実施。
- ・職員（指定管理者含む）を対象とした障害者差別解消法及び朝霞市日本手話言語条例に係る職員研修を実施。
- ・障害者レクリエーション補助金の実施。
- ・ふれあいスポーツ大会の開催。
- ・障害者芸術体験教室の開催。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【障害者プラン推進委員会】（プラン進行管理評価コメントより）

- ・障害者団体については補助金が継続されていることに対して評価できる一方、団体の高齢化などがあり現状維持でよいのか改めての検討が必要と感ずる。
- ・高次脳機能障害等について、障害の理解促進施策だけでなく、相談事をうまく話せない人でも一覧表にして相談しやすくするなど窓口での対応についても検討していく必要がある。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- ・障害のある人が安全で安心した生活を送ることができる地域社会の実現には、ノーマライゼーションの理念を広く普及させることが必要であることから、広報あさかや市ホームページ・メール配信サービス・障害福祉課X（旧Twitter）を活用し、障害のある人への理解を深めるための周知啓発を行った。
- ・障害福祉サービスをはじめ、県が実施しているヘルプマーク・思いやり駐車場制度などに関する周知も実施した。
- ・成年後見制度が必要と思われる当事者に対しては、適切な情報提供を行うとともに、身寄りのない障害のある人について、市長申立てを行った。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

- ・障害のある人は年々増加傾向にあり、また、障害の特性もさまざまであることから、継続的に市民に対し、広く障害や障害のある人に関する周知、啓発を行っていく必要がある。
- ・障害のある人や家族が高齢化していることから、成年後見制度に関する適切な情報提供や必要に応じて市長申立て・費用負担を継続して行う必要がある。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	障害者プラン・障害福祉計画推進事業	25,770	22,052	21,081	継続
2	障害福祉助成事業	61,441	63,365	71,481	継続
3	障害福祉総務事務事業	40,122	39,403	49,314	継続
4	障害者スポーツ・レクリエーション事業	8,396	7,394	4,927	継続
5	障害者医療・手当給付事業	567,882	574,108	588,387	継続
6	障害者生活支援事業	3,098,677	3,429,384	3,440,751	継続
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		3,802,288	4,135,706	4,175,941	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 3,802,288	R5年度 4,135,706	R6年度(見込み) 4,175,941
------------------------------	-------------------	-------------------	------------------------

6 現状と課題の分析

- ・ノーマライゼーションの理念の普及に関しては、広報あさかや市ホームページを活用するほかメール配信サービスやSNS等により適切なタイミングで実施する必要がある。
- ・障害のある人となない人の相互交流を促進するため、各事業の内容検討、参加促進を図る必要がある。
- ・障害者虐待防止センター、障害者差別解消法に係る相談窓口、成年後見市長申立てなど、市が主体となって実施する支援について、更なる周知及び体制整備を行う必要がある。

7 今後の展開

- ・県や関係団体等の関係機関と連携を図り、障害のある人となない人が共に暮らすことのできる地域づくりを目指し、交流を深めることができるようさまざまなイベントや広報等を通して周知、啓発を実施していく。
- ・市独自の施策については、社会情勢や他自治体の動向を注視しながら限られた予算の中で実施していく。

8 行政と市民の役割分担

- （市）障害や障害のある人に関する理解を深めるためには、障害のある人となない人が触れ合い、さまざまな場面で共に活動できることが効果的と考えられるところから、触れ合える場面を数多く作っていくとともに、関係団体の諸活動の周知を行う。
- （市民）関係団体の諸活動を通して、障害のある人への理解が深まるよう活動を行う。

9 所管部の総括

- ・障害のある人に対する誤解や偏見等をなくしていくため、引き続き社会的障壁を取り除く啓発活動を行っていくこと。
- ・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の進捗管理や評価を適切に行うこと。
- ・スポーツ・レクリエーション事業に関して、障害の有無に関わらず、広く市民が交流できる事業展開を検討すること。

242 地域における自立生活支援



担当課 障害福祉課
関連課 健康づくり課、教育指導課

目 指 す 姿

障害のある人に対し、適切な障害福祉サービスや地域生活支援事業の提供、各種補助などの経済的支援を行うほか、ライフステージの各段階に応じた相談や情報提供の充実を図ることにより、障害のある人が地域において自立した生活を営むことができるようになっている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P72》

指標 1

障害福祉サービス等の延べ利用件数（件）

障害福祉サービス等の延べ利用件数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
26,099	29,178	30,000	24,000

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

【継続】

- ・指定特定相談支援事業所、指定障害児相談支援事業所の指定
- ・障害支援区分認定の審査及び調査
- ・朝霞地区一部組合が運営する障害者支援施設の運営費の負担
- ・朝霞地区福祉会が運営する児童発達支援センター等の運営費の負担
- ・重度心身障害者医療費の給付
- ・特別障害者手当の支給
- ・障害福祉団体への各種補助金の交付
- ・自動車運転免許取得費補助、福祉タクシー利用券・バス鉄道共通カード・自動車燃料費の助成等
- ・障害者総合支援法に定める地域生活支援事業の実施（手話通訳者等の派遣、日常生活用具の給付等）
- ・障害福祉サービス等の支給決定及び介護給付・訓練等給付費の支出

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【障害者自立支援協議会専門部会】（地域生活支援拠点）
・緊急時の対応が見込まれる方等について、朝霞地区4市共通の「あんしんシート」を積極的に作成し、基幹相談支援センター・計画相談事業所・地域生活支援拠点登録事業所をベースに情報を共有していくことが必要である。
【障害者プラン推進委員会】（プラン進行管理評価コメントより）
・計画相談の充実については相談員が不足、セルフプランでの利用が増えているため、相談員の質向上及び増員を行い福祉サービスの適正利用に努めてほしい。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- ・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等については、計画を大幅に上回る利用件数となっている。
- ・全体としては、必要な方に対し、障害福祉に関する各種サービスの提供などを遂行することができたと考えられるが、引き続き調査・分析を行い、必要な支援を検討していく必要がある。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

- ・障害のある人は年々増加傾向にあり、また、障害の特性もさまざまであることから、社会情勢の変化を注視しつつ、真に必要なサービスを検討する必要がある。
- ・障害のある人や家族の高齢化により、必要なニーズの内容が変化してきていることから、一人ひとりに丁寧に寄り添う姿勢は維持しつつ、家族も含めた相談支援体制を構築する必要がある。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	育み支援バーチャルセンター事業（幼稚園巡回相談事業等）【再掲】	-	-	-	継続
2	障害福祉総務事務事業【再掲】	-	-	-	継続
3	障害者生活支援事業【再掲】	-	-	-	継続
4	乳幼児健康診査事業【再掲】	-	-	-	継続
5	母子健康教育事業【再掲】	-	-	-	継続
6	母子訪問指導事業【再掲】	-	-	-	継続
7	障害者施設等運営支援事業	423,522	438,404	453,687	継続
8	朝霞地区一部事務組合負担事業（障害者支援施設）	22,673	23,101	24,402	継続
9	朝霞地区福祉会負担事業	16,365	16,129	16,398	継続
10	障害福祉助成事業【再掲】	-	-	-	継続
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		462,560	477,634	494,487	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 462,560	R5年度 477,634	R6年度(見込み) 494,487
------------------------------	-----------------	-----------------	----------------------

6 現状と課題の分析

- ・指定特定相談支援事業所及び相談支援専門員の増加に向けて各法人に働きかけを行うとともに、連絡協議会の開催などにより、既存事業所の質の向上を図る必要がある。
- ・地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを設置し、運営について委託事業者を選定する必要がある。
- ・利用者及び市内の各種事業所が増加する中で、障害特性やライフステージに合わせた適正なサービスが提供されるよう、地域課題を検討する必要がある。

7 今後の展開

- ・障害者総合支援法の改正等に対応していくとともに、障害のある人が、必要なサービスを適切に受けられるよう認定審査及びサービスの支給決定を実施する。同時に、増加傾向にある障害福祉サービスについて、適正な審査を行い、適正な利用に関して啓発を行っていく必要がある。

8 行政と市民の役割分担

- （市） 障害者支援施設の運営費を負担し、運営の安定を図る。医療費の給付や手当の支給により障害のある人の経済的負担の軽減を図る。自立を支援するため、福祉タクシー利用券・バス鉄道共通カード・自動車燃料費などを助成し、経済的負担の軽減を図る。障害福祉サービス等の実施に係る介護給付・訓練等給付費負担金などを支出し、必要な支援を行う。
- （市民） 各種補助金の交付を受けることにより障害福祉団体の運営を安定させ、障害者理解に対する講座・講演会の開催、障害者レクリエーション事業の開催等を行う。

9 所管部の総括

- ・適切なサービス等利用計画に基づいた障害福祉サービス等の支給決定を行い、介護給付・訓練等給付の適正化を図ること。
- ・障害のある人の自己決定権を尊重し、その意思決定の支援を行っていきよう努め、本人の意思を尊重し、必要とする障害福祉サービスを提供することで、その自立と社会参加を図っていくこと。

243 自立に向けた就労の支援



担当課 障害福祉課
関連課 教育指導課

目 指 す 姿

朝霞市障害者就労支援センターやハローワークなどとの連携を密にし、障害のある人の就労を促進したり、一般就労が困難な人に対しては、福祉的就労施設（障害者多機能型施設）や日中活動施設（地域活動支援センター）等の充実、情報提供に努める。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P72》



指標 1

障害者就労支援センター利用による就職者数（人）

障害者就労支援センターの利用による年間就職者数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
35	28	41	50

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

・国の施設職員を対象とした収入の引き上げ措置の対象とならない市内の施設に対して、処遇改善の費用として市独自に職員一人当たり月5千円の補助を行った（障害者施設等運営支援事業）

【継続】

・社会福祉協議会を指定管理者として、障害福祉サービス事業所2箇所、指定特定相談支援事業所2箇所、障害者就労支援センターを運営し、一般企業での就労が困難な障害のある方に対して就労や生産活動の機会を提供するとともに、常に介護を要する人に対して介護や創作的活動の機会などを提供し、障害福祉サービスの利用に必要なサービス等利用計画の作成を通じて就労支援と生活支援を総合的に行い、一般就労の促進を図りながら自立と社会参加を促進した。
・NPO法人が運営する地域活動支援センター2施設に対し運営費補助を行った。
・通常学級における特別な支援を必要とする児童生徒に対し、支援員による支援を実施した。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【障害者プラン推進委員会】（プラン進行管理評価コメントより）
・知的障害者の雇用を行っている自治体へ見学に行き、朝霞市でも雇用ができるようにしてほしい。

【障害者自立支援協議会】

・企業の法定雇用率が上がっているが、障害者の就労に関する課題は多岐に渡っており、多様な委員がいるこのような場で情報共有をして一緒に考えていけるとよい。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

・障害者就労支援センターの利用による就職者数は、目標値に比較するとやや遅れているが、法定サービスである就労移行支援事業の利用が進み、就労支援センターを利用せずに直接就労移行支援事業所から就職に至る方も増えている一方、特別支援学校卒業生をはじめ、法定サービスを必要としない方など一定数のニーズもあることから、順調にその役割を果たしているといえる。
・一般就労が困難な人に対して市が実施する障害福祉サービス事業所については定員割れが続いているが、各種民間事業所が充実してきている中でニーズが変化してきている面も考慮し、次期指定管理時にはサービス内容の見直しも必要と思われる。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

・精神障害のある人が増加していることなどから、障害者就労支援センターによる支援は継続して求められているが、さまざまな就労支援サービスが創設される中で、その役割を検討する必要がある。
・市が実施する障害福祉サービス事業所については、重度の障害のある方が利用できる施設としてのニーズが高まっている。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	障害福祉助成事業【再掲】	-	-	-	継続
2	障害者生活支援事業【再掲】	-	-	-	継続
3	障害者施設等運営支援事業【再掲】	-	-	-	継続
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		0	0	0	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 0	R5年度 0	R6年度(見込み) 0
------------------------------	-----------	-----------	----------------

6 現状と課題の分析

- ・日中活動施設の確保の継続及びこれらの施設の情報を配布物やホームページ等で情報提供するなど、就労支援を充実させる必要がある。
- ・市内に各種就労支援事業所が増加する中で、これらや関係機関と連携を行い、就労定着支援などの障害福祉サービスなどの周知とともに、適切な就労支援につなげるため、障害者就労支援センターの役割と各事業所の連携を改めて検討していく必要がある。

7 今後の展開

- ・障害のある人の自立を促すための取り組みとして、国は法令により法定雇用率を設定している。今後も法令改正等の動向を注視するとともに、障害者就労支援センターにおいては、ハローワークや就労移行支援事業所等の関係機関とさらなる連携を促進する必要がある。

8 行政と市民の役割分担

- ・障害のある人の自立を促すための取り組みとして、国は法定雇用率を設定しているものの、障害者理解、障害のある人への配慮等がなされた社会の実現には至っていないことから、市が積極的に障害者理解を促進するための取り組みを実施していく必要がある。

9 所管部の総括

- ・障害のある人の雇用を促進するため、障害者就労支援センター等において関係機関と密な連携を図り、就労支援を行うこと。
- ・障害のある人が地域の中で安心して生活を送るために、日中活動の場の充実やコミュニケーション支援の充実に努めること。
- ・指定管理事業に関しては、適切なサービスが提供されるよう、指定管理者への指導に努めること。

313 質の高い教育を支える教育環境の整備充実

担当課 教育総務課
関連課 教育管理課、教育指導課、学校給食課



目 指 す 姿

学校施設の改修や教職員の資質・能力の向上を図ることなどにより、児童生徒が安全で安心して学びやすい環境で学校生活を送っている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P85》

指標 1



「教科等指導員」を任命した教科等の数（教科）

指導のリーダーとなる知識や技術を持つ「教科等指導員」を任命する教科等の数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
13	2	5	15

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

小学校少人数学級に対応するため普通教室への転用工事の実施（朝霞第三小学校）
朝霞第十小学校大規模改修工事
学校施設長寿命化基本方針を計画に改訂

【継続】

朝霞第六小学校増築工事
朝霞第九小学校増築工事
朝霞市教育委員会研究開発学校の指定（朝霞第三小学校、朝霞第四小学校、朝霞第一中学校）と研究発表会の開催。
中学校自由選択制の実施。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

・不登校児童の増加への対応や更なる学びの確保が重要であり、今後、ソフト、ハード面ともに多様なニーズへの対応が必要となる。そのため、教育委員会内各課の情報交換を密にし、必要に応じて環境整備のための事業展開を行っていく必要がある。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

「教科等指導員」を任命したり、外部講師を招聘した研修を実施したりすることにより、教職員の資質向上を図った。学校の修繕等は校舎、体育施設、屋外環境の工事等を実施し、快適で安全・安心な教育環境の整備に努めた。小学校の少人数学級への対応のため、普通教室への転用改修工事を実施するとともに、朝霞第六小学校と朝霞第九小学校の増築工事が完了した。学校施設長寿命化基本方針に基づき朝霞第十小学校の大規模改修工事に着手した。中学校自由選択制は1 2 4 人の申請・許可を行い、うち第五中学校の特認校利用者は2 7 人であった。引き続き、通学区域の弾力化並びに第五中学校の活性化に務めている。

【外的要因】

公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律の施行（令和3年4月1日）に伴い、令和7年度までに小学校の学級編成を段階的に40人から35人に引き下げた。

4 必 要 性

1 2 3 ④ … 社会的なニーズは増加傾向にある

教職員の資質向上のためには教職員研修が不可欠であり、各種、研修を充実していく必要がある。学校施設は施設の長寿命化を図るため改修等を計画的に実施していく必要があるとともに、改築・改修等について計画を策定していく必要がある。また、過大規模となっている学校があり、対応策についても検討していく必要がある。また、特認校制度は第五中学校の活性化のために継続する必要があり、自由選択制度は就学指定校の変更を弾力的に運用することから引き続き必要となる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	教職員配置事業	27,612	28,485	36,599	継続
2	教職員研修事業	12,133	15,054	14,354	継続
3	教育指導支援事業【再掲】	－	－	－	継続
4	児童・生徒・教職員健康管理事業【再掲】	－	－	－	継続
5	特色ある学校づくり支援事業【再掲】	－	－	－	継続
6	交通指導員配置事業	64,963	66,076	78,869	継続
7	給食センター管理事業【再掲】	－	－	－	継続
8	自校給食室管理事業【再掲】	－	－	－	継続
9	学校環境衛生事業	4,184	4,368	4,466	継続
10	小学校コンピュータ整備事業	61,261	63,779	105,849	継続
11	小学校運営事業	107,279	112,322	111,397	継続
12	小学校教育振興事業	12,996	13,816	18,036	継続
13	小学校教材教具整備事業	20,070	19,079	54,067	継続
14	小学校施設改修事業	105,362	118,845	154,119	継続
15	小学校施設管理事業	279,782	240,617	183,246	継続
16	小学校図書整備事業	17,467	17,745	19,677	継続
17	中学校コンピュータ整備事業	27,460	28,760	53,410	継続
18	中学校運営事業	71,869	73,042	70,399	継続
19	中学校教育振興事業	26,137	32,341	25,505	継続
20	中学校教材教具整備事業	11,608	11,253	12,693	継続
21	中学校施設改修事業	432,401	186,390	40,015	継続
22	中学校施設管理事業	141,490	122,690	87,372	継続
23	中学校図書整備事業	10,354	10,747	11,789	継続
24	就学・学齢簿整備事業	4,790	4,910	5,285	継続
25	小学校教育扶助事業	42,114	47,777	57,855	継続
26	第五中学校活性化対策事業	25,103	24,536	31,878	継続
27	中学校教育扶助事業	43,740	48,253	56,912	継続
28	通学区域整備事業	1,108	1,116	1,119	継続
29	入学準備金・奨学金貸付事業	23,282	19,819	22,751	継続
30	小学校特別支援学級事業【再掲】	－	－	－	継続
31	中学校特別支援学級事業【再掲】	－	－	－	継続
32	学校運営協議会事業【再掲】	－	－	－	継続
33	第六小学校校舎増築事業	0	203,720	1,071,481	休止・廃止
34	第九小学校校舎増築事業	0	203,720	793,313	休止・廃止
35	小学校少人数学級整備事業	100,749	16,907	14,003	休止・廃止
36	学校施設長寿命化計画策定事業	－	0	11,548	継続
37					
38					
計（単位：千円）		1,675,314	1,736,167	3,148,007	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 1,675,314	R5年度 1,736,167	R6年度(見込み) 3,148,007
------------------------------	-------------------	-------------------	------------------------

6 現状と課題の分析

教育環境の充実のため、児童・生徒数の推移や施設の状況を的確に把握し、改修工事の必要性や緊急性を判断し、計画的に改修工事を実施していく必要がある。
また、過大規模となっている学校について、対応策を検討していく必要がある。

7 今後の展開

教職員研修は、教職員の資質向上のため内容を充実させて引き続き実施していく。学校施設の改修・改築等については、計画的に実施していくため、令和7年度に学校施設長寿命化基本方針を長寿命化基本計画へと改訂する。中学校における特認校制度及び中学校自由選択制度については今後も継続し、魅力ある学校づくりを目指していく。

8 行政と市民の役割分担

児童・生徒の意見を取り入れながら、教育環境の充実を推進していく。

9 所管部の総括

デジタル学習基盤を活用した学びを充実させるとともに、教職員の研修などを行い指導力向上を図る。学校施設の修繕は、緊急性などを判断し、計画的に実施することができた。少人数学級対応については、朝霞第六小学校、朝霞第九小学校の増築校舎が完成し、教育環境を整備することができた。中学校における特認校制度及び中学校自由選択制度については引き続き実施し、魅力ある学校づくりを行った。

321 生涯学習活動の推進



担当課 生涯学習・スポーツ課
関連課 —

目 指 す 姿

市民の学習ニーズに応えた学習や学習情報の提供及び活動の充実が図られ、いつでも、どこでも、誰でもが学べる生涯学習環境が整っている。また、市民による自主的な活動が活発に行われるとともに、学習の中心となる人材の育成と活用が図られている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P88》



指標 1

事業参加者満足度（％）

生涯学習各種事業における満足度

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
93.1	92.6	92.8	92.0

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

令和7年度から市内2つの小学校で開始する居場所提供型の放課後子ども教室の開設準備を行った。

【継続】

- ・社会教育委員会議を3回開催した。会議では、第3次生涯学習計画後期期間の進捗管理を行うとともに、生涯学習施策の推進体制等について建議いただき、方向性が明示された。
- ・生涯学習ガイドブック「コンパス」を発行し、生涯学習情報の周知を図った。また、市民等の自主的な学習活動に対し、補助金を交付し、団体等の活動支援を行った。
- ・市民企画講座、生涯学習体験教室、放課後子ども教室など各種事業を実施し、事業の推進に努めた。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価】

総合的に施策全体を効率化する上で、ICT化を推進するのは大きな要素と考えている。そのためには市民のICTに対する理解やスキルを底上げして市民の大多数が使える、使えて当たり前という状況が作り出せるとやり方が大きく変われるのではと思う。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

従来どおり社会教育委員会議を3回開催した。うち1回は、視察研修会を実施。志木市「放課後志木っ子タイム」を視察し、放課後子ども教室についての知見を深めていただいた。会議では、第3次生涯学習計画の後期期間における令和5年度の事業評価について建議いただくとともに、計画の進捗管理等について、ご意見等いただいた。また、生涯学習部における事業報告と事業計画についてお諮りし、ご意見をいただくことで、本市の生涯学習の方向性が示された。

【外的要因】

生涯学習体験教室において、人生100年時代の健康、終活などをテーマとする講座が多く開催され、多くの方に参加いただいた。市民ニーズの変化をとらえた事業展開となったと考える。

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

生涯学習体験教室で、市民ニーズをとらえた多様なテーマの講座が実施されており、終活などより身近で実用性の高いテーマの講座に参加者が多く、満足度も高かった。市民の自主的な学びを支援する事業を通じて、継続的な学びを支援していく。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	人権教育振興事業	6,804	8,837	5,444	継続
2	成人の日記念式典事業	11,528	12,347	7,154	継続
3	生涯学習啓発推進事業	15,356	21,212	18,894	継続
4	放課後子ども教室事業	12,407	11,963	11,066	拡充
5	家庭教育推進事業【再掲】	—	—	—	継続
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		46,095	54,359	42,558	

総コスト（事業費＋人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
46,095	54,359	42,558

6 現状と課題の分析

インターネットなどにより、自身の都合でさまざまな分野について学習できる状況となっており、社会教育施設を活用することなく、情報交換や学習の場を作り出すことができるようになってい

7 今後の展開

生涯学習施策の根幹である「第3次朝霞市生涯学習計画」を基に、多様な学習プログラム、生涯学習情報の提供に努めていく。本計画の基本理念である「一人一人が心豊かに ともに学び 生きるまち あさか」を実践し、市民が主体的に学び、生涯学習を通じた地域や家庭で共に学びあう社会の実現に向けた生涯学習施策を推進する。

8 行政と市民の役割分担

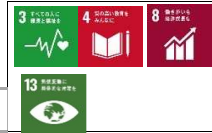
第3次朝霞市生涯学習計画に則り、市は市民の学びを支援し、市民が学び合い、教え合うといった、「知の循環型社会」が構築されていよう、サポートに努める。また、市は市民とともに協働で学習活動が推進されていよう事業展開を推進する。

9 所管部の総括

令和6年度は生涯学習施策全般について、概ね従前のとおり運営することができた。地域の大学や民間事業者との新たな取組としての事業の拡充を図るとともに、従前からの生涯学習事業を見直し、ニーズに応えられる事業となるよう努め、生涯学習施策の推進に努めていく。

322 学びを支える環境の充実

担当課 中央公民館
関連課 図書館、文化財課



目 指 す 姿

「いつでも」、「どこでも」、「誰でも」が学べる施設運営が図られ、市民ニーズに応じた学習、文化活動が充実することにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな社会生活を営んでいる。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P88》

指標 1



事業参加者数（人）

公民館、図書館、文化財課が行う生涯学習事業の参加者総数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
31,723	24,996	31,068	70,000

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

- ・公民館では、中央公民館長寿命化改修工事及び南朝霞公民館空気調和設備改修工事の設計業務委託のほか東朝霞公民館空気調和設備改修工事、北朝霞公民館空気調和設備改修工事を実施した。
- ・博物館では、外壁等改修工事及び受水槽ユニット改修工事を実施した。

【継続】

- ・公民館では、各種主催事業の実施、利用団体への部屋の貸出しを行った。また、施設の維持管理、必要な修繕を実施した。
- ・図書館では、資料の適切な選定、収集、保存、提供及び各種事業の実施により、市民の生涯学習活動の推進を図った。
- ・博物館では、展示、教育普及、資料調査、資料保存及び施設の維持管理を実施した。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

- ・各審議会において、事業計画や新規の取組みなどについて承認をいただいた。今後も利用者のニーズを把握しながら運営を行うよう意見をいただいた。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- ・公民館では、事業は当初の計画通り概ね実施することができた。また、施設改修も計画的に行われている。
- ・図書館では、利用者への安定的な資料提供を行うとともに、施設管理について必要な修繕を行うことができた。
- ・博物館では、可能な限り定員や回数を増やして事業を展開した。

【外的要因】

事業参加者も前年と比較し増加しており新たな事業展開も念頭に置き、取り組んでいく。

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

生涯学習における様々な学びを支えるため、中央公民館、文化財課、図書館ともに、今後もそれぞれの事業の継続が必要である。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	西朝霞公民館運営事業	13,147	11,815	13,294	継続
2	中央公民館運営事業	22,908	14,791	17,188	継続
3	東朝霞公民館運営事業	13,868	14,582	16,311	継続
4	内間木公民館運営事業	12,847	10,690	13,513	継続
5	南朝霞公民館運営事業	11,615	11,927	14,108	継続
6	北朝霞公民館運営事業	17,044	17,225	15,447	継続
7	図書館運営事業	146,888	150,668	151,050	継続
8	図書館北朝霞分館運営事業	66,607	67,117	71,474	継続
9	博物館運営事業	44,642	38,673	41,987	継続
10	西朝霞公民館管理事業	14,753	14,150	15,077	継続
11	中央公民館管理事業	39,362	32,603	35,818	継続
12	東朝霞公民館管理事業	16,629	15,491	14,050	継続
13	内間木公民館管理事業	14,288	15,761	16,281	継続
14	南朝霞公民館管理事業	15,937	15,407	15,207	継続
15	北朝霞公民館管理事業	16,175	13,080	13,173	継続
16	図書館管理事業	35,020	32,892	36,965	継続
17	図書館北朝霞分館管理事業	2,734	3,399	3,646	継続
18	博物館管理事業	46,715	41,405	41,296	継続
19	施設改修事業（公民館）	86,697	47,278	254,157	継続
20	施設改修事業（博物館）	30,053	7,028	152,686	継続
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		667,929	575,982	952,728	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 667,929	R5年度 575,982	R6年度(見込み) 952,728
------------------------------	-----------------	-----------------	----------------------

6 現状と課題の分析

公民館、図書館、博物館いずれも、引き続き適切な施設の維持管理を行うとともに、情報ツールや学習方法が多様化している中、どの年齢層にも魅力ある事業の企画などにより、地域における生涯学習活動の拠点として努める必要がある。

7 今後の展開

施設の老朽化対策を計画的に実施し、より安全で快適に施設が利用できるように取り組む。
デジタル化の推進など、市民ニーズの適確な把握に努め、公民館、図書館、博物館における市民サービスのあり方を考えていく必要がある。

8 行政と市民の役割分担

各施設の管理維持及び施設運営は、行政が主体となり実施する。各課の主催事業は、アンケートなどによる市民の声を反映させながら実施する。

9 所管部の総括

今後も適切な施設運営に努め、地域の生涯活動の拠点として、市民ニーズを的確に把握し、新たな取組を検討するなど、利用者数、来館者数等の増加を図れるよう、市民満足度の向上に努める必要がある。

331 スポーツ・レクリエーション活動の推進



担当課 生涯学習・スポーツ課
関連課 —

目 指 す 姿

誰でも いつでも どこでも楽しめる生涯スポーツ社会の実現が図られ、市民が日々スポーツ・レクリエーションに親しんでいる。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P90》

指標 1



週1回以上スポーツを行っている人の割合（％）

週1回以上スポーツを行っている人の割合

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
—	—	—	60.0

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを引き継ぎ、市民スポーツ教室として「ポッチャ教室」を開催した。
- ・パリ2024オリンピック出場者・メダル獲得者の懸垂幕を産業文化センターへ掲出した。
- ・日本ライフル射撃協会、埼玉県ライフル射撃協会等の協力を得て、「ビームライフル・ビームピストル スポーツ射撃体験会」を開催した。

【継続】

- ・多くの市民に対しスポーツの機会を提供するため、市民スポーツ大会（旧・市民体育祭）やロードレース大会等のイベントを開催した。
- ・スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員会議を開催し、スポーツ・レクリエーション関係者や専門家の知見を得て、今後の各種スポーツ施策の方向性等について検討を行った。
- ・スポーツ協会、市民総合スポーツ大会実行委員会に対し補助金を交付し、運営を側面から支援するとともに、各団体と連携して事業を展開した。
- ・市民体育振興奨励補助金、青少年スポーツ振興補助金を交付し、市民・団体のスポーツ活動を支援するとともに、市民スポーツの振興に繋げた。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価委員会】

市民スポーツ大会の参加地区数は90近い自治会町内会数に対し10程度と少なく、市民全体の参加とは乖離しているが、都内などの自治会組織率が低い団体での運動会の開催状況について調査してはどうか。

【スポーツ推進審議会】

- ①今後、部活動と社会教育の連携などが必要となるが、具体的なアイデアはあるか
- ②部活動の地域移行には、責任の所在など課題もあるが、大きな方向性を考えなければならない
- ③ロードレース大会の市内中学生の参加促進を。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

市民スポーツ大会、ロードレース大会など大規模なイベントのほか、ウォークラリー大会、市民スポーツ教室及び小学生スポーツ教室等をおおむね事業計画どおりに実施することができた。

また、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員会議を例年どおり開催し、各委員からいただいた御意見のうち、施策や事業に取り入れることが可能なものについては、反映できるように努めたことや、各種補助金についても引き続き交付を継続できたことから、概ね順調であると判断する。

【外的要因】

特になし

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

- ・働き方改革や新しい生活様式が広まり、仕事以外の生きがいや交流の場が求められ、スポーツがその役割を期待されている。
- ・平均寿命が延びている中で、単なる寿命の長さではなく、健康で長生きすること（健康寿命）がクローズアップされている。
- ・中学校の部活動の在り方について、指導者となる地域人材や活動場所の確保などが課題である。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	スポーツ振興事業	18,404	18,440	20,794	継続
2	スポーツ団体等補助事業	12,048	12,135	14,826	継続
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		30,452	30,575	35,620	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 30,452	R5年度 30,575	R6年度(見込み) 35,620
------------------------------	----------------	----------------	---------------------

6 現状と課題の分析

- ・市民がスポーツに親しむきっかけ作りとして、事業内容や周知方法を検討する必要がある。
- ・体育施設の利用率は上昇傾向にある一方、施設数やスペースは限られているため、効率的な利用方法を検討するとともに、公園や広場など、身近な場所のできる運動の紹介なども必要である。

7 今後の展開

- ・第2期朝霞市スポーツ推進計画において目標として掲げている「20歳以上の市民のうち、60%が週1回以上スポーツを行うこと」を目指し、各種施策により、市民がスポーツに触れる機会を提供し、「みる・ささえる・つながる」スポーツから「する」スポーツにつなげていく。
- ・体育施設の指定管理者である文化・スポーツ振興公社との連携を深め、事業の内容を充実させるとともに、市民への啓発を強化する。

8 行政と市民の役割分担

- ・スポーツ協会やスポーツ関係団体、自治会・町内会などとの連携を図るとともに、市民の意見を取り入れながら、効果的に事業を展開していく。

9 所管部の総括

- 主要事業である市民スポーツ大会、ロードレース大会、ウォークラリー大会のほか、各種教室などをほぼ予定通り開催できた。
- 各種大会、事業等は、市民の間にスポーツを普及し、市民の親睦と健康増進につながり、スポーツ・レクリエーションの振興を図る上で重要なものである。参加者アンケートにより寄せられた意見・要望を踏まえ、関係団体等と連携を図り、生涯スポーツ施策の推進に努めたい。

332 利用しやすい施設の提供

担当課 生涯学習・スポーツ課
関連課 —



目 指 す 姿

スポーツ施設の修繕や大規模改修を計画的に実施することにより、ユニバーサルデザイン等を考慮した、安心して利用できる施設・設備が整っている。また、利用者の声を反映した施設の良好な管理・運営がされている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P90》



指 標 1

体育施設（14施設）の利用率（％）

体育施設（14施設）の利用率

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
61.6	60.3	60.2	62.0

指 標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

- ・武道館耐震化及び長寿命化改修工事を実施した。
- ・内間木公園テニスコート人工芝改修工事を実施した。
- ・北朝霞公園野球場ベンチ上屋改修工事を実施した。
- ・中央公園野球場防球ネット設置工事を実施した。

【継続】

- ・社会体育施設（総合体育館、武道館、滝の根テニスコート）及び公園体育施設について、指定管理による管理運営を実施した。
- ・溝沼子どもプールの維持管理を実施し、開場した。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価委員会】

公共施設の老朽化に伴う大規模改修について、溝沼子どもプールの利用料は安価であるため、稼働率が高いのであれば入場料を検討するタイミングとしていいのではないか。

【スポーツ推進審議会】

武道館使用料見直しに際しての試算方法はどうか、また、減価償却費等の扱いはどうなっているか。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

溝沼子どもプールは、引き続き1日2部制として開場した。社会体育施設及び公園体育施設は通常の貸出を行い、利用状況については増加傾向である。

また、武道館の耐震化・長寿命化改修工事、内間木公園テニスコート人工芝改修工事、北朝霞公園野球場ベンチ上屋改修工事及び中央公園野球場防球ネット設置工事を実施し、利用者が安全快適に施設を利用できる環境を整備した。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

・施設の経年劣化は進行しており、適切に維持管理を行う必要がある。また、老朽化が指摘される施設については、長寿命化や耐震化などの大規模改修が計画されている。

・健康管理やワークライフバランスなどへの市民の関心の高まりから、スポーツ施設に対するニーズは今後、増加していくものと考えられる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	公園体育施設改修事業	22,559	17,140	81,061	継続
2	溝沼子どもプール施設改修事業	4,030	595	448	継続
3	総合体育館施設改修事業	148	149	149	継続
4	滝の根テニスコート施設改修事業	148	149	149	継続
5	武道館施設改修事業	6,428	127,151	455,669	継続
6	公園体育施設管理運営事業	86,284	89,077	86,801	継続
7	溝沼子どもプール管理運営事業	38,763	39,795	41,178	継続
8	総合体育館管理運営事業	62,199	64,807	64,385	継続
9	滝の根テニスコート管理運営事業	18,077	18,871	19,506	継続
10	武道館管理運営事業	10,496	11,035	10,836	継続
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		249,132	368,769	760,182	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 249,132	R5年度 368,769	R6年度(見込み) 760,182
------------------------------	-----------------	-----------------	----------------------

6 現状と課題の分析

- ・限られた財政状況の中で、関係部署と調整しながら、各施設の必要な改修・修繕を行っていく必要がある。
- ・新規に開設する施設が見込めない中で、既存施設のさらなる効率的な利用を進めていく必要がある。

7 今後の展開

- ・朝霞市文化・スポーツ振興公社とのさらなる連携により、各施設の効率的な維持管理と施設運営を行っていく。
- ・関係部署と調整を図り、公共施設等マネジメント計画等に基づき、必要な改修・修繕を適切に実施していく。

8 行政と市民の役割分担

スポーツ協会やスポーツ推進審議会等の意見のほか、利用者や市民の意見を収集する機会を設け、ニーズを的確に捉え、施設の運営に生かしていく。

9 所管部の総括

令和５年度に開始した武道館耐震改修工事が完了した。今後は、公共施設等マネジメント実施計画において対象施設として位置づけられている中央公園野球場及び陸上競技場の長寿命化に向けた検討を進めるとともに、他の体育施設においても、計画的に必要な修繕、改修工事等についての検討を進めていく。

342 芸術文化の振興

担当課 生涯学習・スポーツ課
関連課 —



目 指 す 姿

市民が芸術文化活動の成果を発表できる場と機会を得るとともに、より身近で優れた芸術文化に親しめる機会が提供されている。
各種団体やグループをネットワーク化し、市民の自主的な活動の充実と活性化をはかり、芸術文化に感心を持つ市民の活動が促進されている。
まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P92》



指標 1

文化祭入場者数（人）

朝霞市文化祭の入場者数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 （R7年度）
8,030	8,766	8,496	14,500

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 （R7年度）

1 実 施 内 容

【新規】

展示や発表、大会等の様々な手法で、芸術文化事業を開催することができた。団体や市民の方と協力し、地域固有の文化や芸術・文化に親しむ機会を提供し、芸術文化への意識の高揚を図ることができた。

【継続】

令和6年度は、「芸術文化展」、「市民芸能まつり」、「文化祭」ほか、夏休み親子陶芸教室といった芸術文化事業を全て実施することができた。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価委員会】

・市の文化祭は、参加者の年齢層が高いため、それだけで市全体の文化の在り方を測ることは難しいと感じている。動画やイラストの投稿など、若い人は若い人なりに文化活動を行っており、文化がないわけではないのに、それが可視化されないと困るので、文化活動の進捗の測り方について、検討してもらいたい。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

文化協会と共催する芸術文化展、文化祭などの展示、発表部門のほか、夏休み親子陶芸教室など、芸術文化事業を実施することができた。文化事業については、秋季のイベントが増え、日程が重なり、参加者が減少した事業もあったが、活動の成果を発表する機会を提供し、芸術文化に親しむ機運を高めた。

【外的要因】

朝霞の森やシンボルロードを会場としたの屋外での各種イベントが多く行われるようになった。

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

文化や芸術に親しみ取り組んでいくことで、暮らしや生活に豊かさをもたらし、心のゆとりにつながる。芸術文化に触れ合うことで、市民それぞれの交流機会ともなり、コミュニティの活性化にもつながるものと考えられ、その必要性は大きい。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	芸術文化振興事業	12,640	13,557	9,113	継続
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		12,640	13,557	9,113	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 12,640	R5年度 13,557	R6年度(見込み) 9,113
------------------------------	----------------	----------------	--------------------

6 現状と課題の分析

朝霞市文化協会を中心とした、芸術文化事業への関心が低くなってきている。

8 行政と市民の役割分担

市は、文化協会との協働により、文化祭や芸術文化展、市民芸能まつりを開催する。

7 今後の展開

引き続き文化協会と連携し、関連する団体等とも協働するなど、子どもから高齢の方、また、障害のある方など全ての方が芸術文化に親しむことで、豊かなまちづくりにつながるよう、引き続き、芸術文化の振興と地域文化の継承に努めていく。

9 所管部の総括

文化祭事業、夏休み親子陶芸教室などを開催し、多くの市民の参加があった。体験や活動の成果発表の場や、芸術文化に親しむ機会を提供できた。芸術文化に親しむ市民は多く、市の活性化にもつながるものであることから、芸術文化施策をより推進していく。

521 やさしさに配慮した道づくり



担当課 道路整備課
関連課 政策企画課、まちづくり推進課

目 指 す 姿

歩道整備や道路改良等に加え、橋梁や舗装などの適切な維持管理を行うことにより、子どもや高齢者など誰もが安全に、安心して快適に道路を利用できるまちを目指す。

まち・ひと・しごと目標 基本目標 2 地域の特色を生かし魅力にあふれた選ばれるまちをつくる
(ア) 暮らしやすさが実感できる都市機能の充実

《後期基本計画冊子 P114》

【指標 1】 【まち・ひと・しごと】



歩道整備延長（累計）（m）

歩道の整備延長（右側・左側の合計）

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 （R7年度）
79,824	79,862	80,063	80,227

【指標 2】

－

－

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 （R7年度）

1 実 施 内 容

【新規】

- ・市道2168号線（浜崎1丁目地内）の擁壁改修工事の設計等を実施した。
- ・市道2号線（岡3丁目地内）の道路構造物の調査を実施した。
- ・赤野毛排水機場の排水ポンプの修繕を志木市と共同で実施した。
- ・駅西口富士見通線ウォークابل空間整備及び無電柱化の検討、設計を実施した。（令和5年度から継続）
- ・浜崎橋側道橋の伸縮装置等の改修工事を実施した。（令和5年度から継続）
- ・北朝霞駅西口駅前広場の改修工事の設計を実施した。（令和5年度から継続）

【継続】

- ・老朽化した道路の改修工事や用地取得ができた箇所の歩道整備を実施した。
- ・内間木地区の浸水対策として水路の浚渫工事を継続して実施した。
- ・浸水対策として水路の清掃、排水機場の施設点検を適正に実施した。
- ・街路樹等の剪定、道路側溝の清掃・除草を適切に実施した。
- ・朝霞駅東口・南口駅前広場及び北朝霞駅東口駅前広場の清掃等により適切な維持管理を実施した。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

- ・道路に係る取組の進捗について、行政と市民との認識にかい離があるが、市の取組が順調に進んでいるということが見える工夫をすることで、その差が埋まっていくのではないかと。
- ・自転車道の整備は、歩行者側、自動車側に立っても通行しやすい道路になり、優しい道路につながると思うので、今後も推進してもらいたい。
- ・歩道橋は、ベビーカーや自転車、高齢者など、利用がしやすい人も多く、作られた頃とは評価が変わってきていると思うので、更新するに当たっては、いろいろな人の声を聴いて対応してもらいたい。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- ・歩道整備は、地権者の協力により用地取得ができた市道90号線（根岸台5丁目地内）他3路線において、合計約201mを整備した。
- ・道路舗装は、市道1号線（本町1丁目地内）他11路線において、合計約12,772㎡の舗装改修を実施した。
- ・交通安全施設は、道路区画線（外側線等表示）を6,441m、グリーンベルト等のカラー表紙を124㎡、道路反射鏡10基を設置した。また、市道2号線の一部区間に自転車通行領域を示す矢羽根型表示を設置した。
- ・橋梁は、橋梁長寿命化修繕計画に基づき浜崎橋側道橋の伸縮装置等の改修工事等を実施した。また、第五小学校前歩道橋と花の木橋交差点歩道橋の補修設計を実施した。

【外的要因】

- ・用地取得では、道路整備基本計画に基づく交渉のほか、相続発生や生産緑地解除による買取申出、開発行為等の突発的な対応が多い。
- ・例年より集中豪雨が多発したため、道路排水機能を向上させる修繕工事（横断グレーチング設置等）や、道路の陥没等に対応する修繕工事を補正予算により実施した。

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

- ・歩行者が安全に安心して通行できる道路環境を整備するため、引き続き歩行空間の確保のための歩道設置、道路改良を進めていく必要がある。また、災害に強いまちづくりとして、集中豪雨時の雨水排水対策を下水道施設課と連携して実施し、浸水被害の抑制と低減を図る。さらに橋梁や舗装の老朽化対策を計画的に進めていく必要がある。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	都市計画総務事務事業【再掲】	124,599	187,638	123,397	継続
2	道路用地取得事業【再掲】	207,331	205,897	172,584	継続
3	道路改良事業【再掲】	303,370	60,557	81,238	継続
4	交通安全施設事業【再掲】	64,830	154,246	30,567	継続
5	交通施策推進事業【再掲】	16,881	24,417	22,961	継続
6	交通安全啓発推進事業	10,556	8,258	7,330	継続
7	放置自転車対策事業	15,902	6,881	6,656	縮小
8	駅前広場管理事業	53,395	30,760	39,134	継続
9	道路施設維持管理事業	32,451	35,854	49,405	継続
10	道路施設修繕事業	90,686	104,235	109,260	継続
11	道路台帳整備事業	17,725	14,997	11,478	継続
12	歩道整備事業	29,317	9,537	27,746	継続
13	都市計画マスタープラン策定事業【再掲】	0	8,178	18,523	継続
14	駅西口富士見通線整備事業	0	2,976	22,979	継続
15	駅前広場改修事業	0	1,116	26,857	継続
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		967,043	855,547	750,115	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 967,043	R5年度 855,547	R6年度(見込み) 750,115
------------------------------	-----------------	-----------------	----------------------

6 現状と課題の分析

・歩道整備、道路拡幅を進めるための用地確保には地権者の協力が必要不可欠であるが、沿道では既に宅地化が進行している地域が多数あり、用地取得が容易ではない状況である。

・厳しい財政状況の中、財源の確保が重要であり、引き続き国庫補助金等も有効活用しながら施策推進に取り組む必要がある。

7 今後の展開

・道路の整備は、限られた財源の中で効率的かつ効果的に進めるため、朝霞市道路整備基本計画に基づき、真に必要な歩道整備や道路のバリアフリー化に優先して取り組み、その他の生活道路等の安全対策については、歩行者等に配慮した安全施設の充実を図るなど、ハード整備のみならず、ソフト面を強化する取組も必要である。

8 行政と市民の役割分担

・道路の整備は、道路管理者である行政の責務であり、地権者の協力を得ながら市が主体となって実施していく。また、歩行者などに配慮したソフト面での施設やバリアフリー化を推進する際には、対象となる現場の状況に応じて地域の方々や障害者団体等と施策の内容・方法等について連携・調整を図る。また、街路樹や植樹の管理についても、市民との協働など連携を深める。

9 所管部の総括

・市では、誰もが安全・安心で歩きやすい道路の整備を行うため、関係地権者のご理解、ご協力をいただきながら、朝霞市道路整備基本計画に基づき着実に整備を推進し、さらに市民が憩い、集える空間の整備を行うため、道路上のまちなかベンチやミニパークの設置や、グリーンインフラの考え方を取り入れた整備を推進していく。

・近年多発する集中豪雨や台風による大雨のほか、大規模地震などによる被害を最小限に抑えられるよう、緊急輸送道路となる幹線道路の整備に加え、雨水排水の改善対策について、下水道施設課と連携し着実に推進していく。さらに、朝霞市橋梁長寿命化修繕計画等に基づき定期的な点検を実施するとともに、点検結果に応じて改修工事等を実施していく。

522 まちの骨格となる道路づくり



担当課 まちづくり推進課
関連課 道路整備課

目 指 す 姿

まちの骨格となる幹線道路網が整備され、本市と主要都市をつなぐ広域交通軸、市内の各地域をつなぐ地域交通軸の交通が円滑になり、人・物・情報の交流、隣接都市との連携強化や市街地の土地利用の促進が図られている。

まち・ひと・しごと目標 —

指標 1



都市計画道路の整備率（％）

都市計画道路の整備率＝都市計画道路整備済み延長／都市計画決定されている総延長

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
54	54	54	56

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

・駅東通線事業用地内の共同住宅について、土地売買契約を締結した。

【継続】

- ・駅西口富士見通線沿道広場の公共空間の活用推進（黒板アート）を実施した。
- ・都市計画道路駅東通線及び岡通線の整備を推進した。
- ・市道の改良工事・舗装改修工事・舗装修繕工事を行った。
- ・埼玉県が施行する街路事業に負担金を負担した。
- ・街路用地の用地買収を行った。また、買収を推進するため、不動産鑑定、建物補償積算、測量業務などを行った。
- ・先行取得した街路用地に仮歩道や木柵設置の整備を行い、維持管理を実施した。
- ・国道254号バイパスの事業推進に向け、国や県に対して要望活動を行った。
- ・歩道築造工事、道路修繕工事、道路改良工事等を行った。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価委員会】

・道路に係る取組の進捗について、行政と市民との認識にかい離があるが、市の取組が順調に進んでいるということが見える工夫をすることで、その差が埋まっていくのではないかと。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- ・国道254号バイパスの整備促進のため、国、県へ要望を行った。
- ・市道の改良、舗装改修、道路修繕、歩道築造工事を実施した。
- ・埼玉県が整備する道路事業費の一部を負担金として交付した。
- ・街路用地の用地買収を行った。また、買収を推進するため、不動産鑑定、建物補償積算、測量業務などを行った。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

- ・道路は市民生活に最も身近な公共インフラであるため、バリアフリー化や歩道整備など、安心安全な歩行空間の確保に取り組む必要がある。
- ・都市計画道路は、交通処理機能の増強だけでなく、都市内で連続した公共空間を提供し、火災の延焼を防止する等の防災空間、緑地等による景観・環境空間、土地利用の誘導といった多様な機能を担うことから、整備の推進が求められている。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	駅東通線整備事業	6,107	5,624	261,408	継続
2	岡通線整備事業	14,036	332,672	7,077	継続
3	志木和光線整備事業	739	2,956	2,984	継続
4	事業用地維持管理事業	4,130	5,002	2,342	継続
5	私道整備助成事業	2,245	2,417	4,313	継続
6	道路改良事業	303,370	60,557	81,238	継続
7	道路橋梁総務事務事業	11,884	13,842	11,727	継続
8	道路舗装事業	—	—	—	継続
9	都市計画総務事務事業【再掲】	—	—	—	継続
10	道路施設修繕事業【再掲】	—	—	—	継続
11	歩道整備事業【再掲】	—	—	—	継続
12	都市計画マスタープラン策定事業【再掲】	—	—	—	継続
13	駅西口富士見通線整備事業【再掲】	—	—	—	継続
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		342,511	423,070	371,089	

総コスト（事業費＋人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
342,511	423,070	371,089

6 現状と課題の分析

- ・厳しい財政制約の中、道路整備基本計画に基づき効率的に道路整備や歩道整備を推進する必要がある。
- ・橋梁や歩道橋などのインフラは一斉に老朽化しつつあるため、補修・補強・改修により長寿命化を計画的に進め、維持管理費などのコストを縮減する必要がある。
- ・道路利用者や市民の方の道路に対する様々な期待に応えられるよう、道路の持つ多様な機能や役割を確認し、これらの十分な発揮を目指す必要がある。

7 今後の展開

- ・道路整備全般では、道路整備基本計画などに基づき、効率的に整備を推進していく。都市計画道路は、事業認可を取得している駅東通線及び岡通線を優先して整備を行う。
- ・国道254号バイパスは、早期の全線開通に向けて、引き続き国、県に要望を行う。
- ・厳しい財政制約の中、選択と集中の観点から真に必要な歩道整備やバリアフリー化に集中し、その他の生活道路は歩行者に配慮した交通安全施設の充実を図るなどソフト面の対策を強化する。

8 行政と市民の役割分担

- ・市が都市計画道路や市内幹線道路の整備を主体的に行う。なお、道路幅員を拡幅する場合などは、それぞれの路線の整備計画が明らかになった段階で、地域住民や関係地権者等に適切な周知を図り、合意形成に努めていく。

9 所管部の総括

都市計画道路及び補助幹線となる市道は、道路交通ネットワークを形成する重要な役割を担っており、整備効果などを踏まえ、計画的に整備を進め、自転車通行空間や歩行者も安全に安心して通行できる道路空間の整備を推進していく必要がある。また、道路整備基本計画に基づき、必要な交通安全対策を講じていく必要がある。ウォーカブル推進都市として、ベンチや休憩施設の設置など、人中心の街路空間の形成について検討し、整備に当たってはグリーンインフラの考え方を取り入れていく必要がある。

523 良好な交通環境づくり



担当課 まちづくり推進課
関連課 政策企画課、環境推進課、道路整備課

目 指 す 姿

道路に交通安全施設や歩道が整備されているとともに、自動車の速度抑制等の交通規制が適切に行われ、放置自転車がなく、子どもから高齢者までの誰もが安全、快適に道路を利用できるようになっている。また、公共交通空白地区の解消を進め、市内のバスなどの公共交通を多くの市民が快適に利用できるようになっている。

まち・ひと・しごと目標 基本目標 2 地域の特色を生かし魅力にあふれた選ばれるまちをつくる
(ア) 暮らしやすさが実感できる都市機能の充実

指 標 1



市内循環バス（コミュニティバス）の年間利用者数（人）

市内循環バス（コミュニティバス）を1年間に利用した延べ人数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
379,307	386,520	376,470	320,000

指 標 2

－

－

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

・バス事業者においては、運転手不足が深刻化し、現にある路線の維持ですら極めて困難な中、まずは既存路線の維持に向けて注力していくことが重要となっている。

・橋梁、歩道橋等のインフラ施設の老朽化が進んでおり、厳しい財政制約の中、適切な維持管理や施設更新が課題となっている。

・現計画の計画期間が令和7年度末で終了することから、令和8年度からを計画期間とする「第2次朝霞市地域公共交通計画」の策定に令和6年度から令和7年度の継続事業で着手した。

【継続】

・朝霞警察署等の関係機関と連携して、優先度の高い場所から交通安全対策工事を実施した。

・地域公共交通協議会を開催するとともに、市民や関係機関と協働で地域公共交通計画の各種施策を推進した。

・市内循環バス運行事業者に対し、運行に係る経費のうち、運賃を除いた経費を助成した。

・公共交通の補完と市民の移動の利便性向上のため、継続して実施してきたシェアサイクルの実証実験について、令和6年度より本格事業化に移行した。

・運転免許自主返納促進と公共交通利用向上のため、免許返納者に交通系ICカードのほか、循環バス回数券やタクシー利用券を配布した。

・

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価委員会】

・自転車道の整備は、歩行者側、自動車側に立っても通行しやすい道路になり、優しい道路につながると思うので、今後も推進してもらいたい。

・わくわくどーむや溝沼子どもプールなど、子供が集まるスポットに特化したバス案内の作成を検討してもよいのではないか。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

・公共交通関係では、公共交通空白地区を改善し、市内の面的な交通ネットワーク構築のため、地域住民と一体となってガイドラインに基づき、新たな公共交通の導入に向け検討を進め、令和6年12月から1年間の実証運行を開始しており、引き続き、本格運行に向け検討を進める。

・路線バスや市内循環バスを維持していくため、利用促進に向けた意識の醸成や取組を進める。

・交通事故防止のため、市民や警察と連携し、交通安全対策や交通ルール順守の徹底など、活動に取り組む。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

・旧暫定逆線引き地区内の土地区画整理事業の完了により、良好な住環境の基盤整備が進み、今後も波及効果が期待される。

・道路整備基本計画や無電柱化推進計画に基づき、歩道整備や交通安全対策、防災面の向上など、快適な生活空間の形成が期待される。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	交通安全施設事業	64,830	154,246	30,567	継続
2	花と緑のまちづくり事業	51,013	76,506	103,593	継続
3	橋梁改修事業	291,795	351,446	149,109	継続
4	都市計画総務事務事業【再掲】	—	—	—	継続
5	交通安全啓発推進事業【再掲】	—	—	—	継続
6	道路施設修繕事業【再掲】	—	—	—	継続
7	歩道整備事業【再掲】	—	—	—	継続
8	駅東通線整備事業【再掲】	—	—	—	継続
9	岡通線整備事業【再掲】	—	—	—	継続
10	志木和光線整備事業【再掲】	—	—	—	継続
11	事業用地維持管理事業【再掲】	—	—	—	継続
12	私道整備助成事業【再掲】	—	—	—	継続
13	道路改良事業【再掲】	—	—	—	継続
14	道路橋梁総務事務事業【再掲】	—	—	—	継続
15	交通施策推進事業	16,881	24,417	22,961	継続
16	市内循環バス運営事業	103,332	93,951	80,727	継続
17	自転車駐車場管理運営事業	274,478	280,051	263,263	継続
18	地球温暖化対策推進事業【再掲】	—	—	—	継続
19	都市計画マスタープラン策定事業【再掲】	—	—	—	継続
20	駅西口富士見通線整備事業【再掲】	—	—	—	継続
21	自転車駐車場改修事業	—	6,383	3,453	継続
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		802,329	987,000	653,673	

総コスト（事業費＋人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度

802,329

R5年度

987,000

R6年度(見込み)

653,673

6 現状と課題の分析

・バス事業者においては、運転手不足が深刻化し、現にある路線の維持ですら極めて困難な中、まずは既存路線の維持に向けて注力していくことが重要となっている。

・橋梁、歩道橋等のインフラ施設の老朽化が進んでおり、厳しい財政制約の中、適切な維持管理や施設更新が課題となっている。

8 行政と市民の役割分担

・公共交通関係では、公共交通空白地区を改善し、市内の面的な交通ネットワーク構築のため、地域住民と一体となってガイドラインに基づき新たな公共交通の導入に向け検討を進める。

・路線バスや市内循環バスを維持していくため、利用促進に向けた意識の醸成や取組を進める。

・交通事故防止のため、市民や警察と連携し、交通安全対策や交通ルール順守の徹底など活動に取り組む。

7 今後の展開

・地域公共交通計画に基づき、市内の面的な公共交通のネットワークの構築を目指し公共交通空白地区の改善に取り組むとともに、利用実態に応じた市内循環バスの運行計画を検討するなど、持続可能な交通体系の構築について検討していく。

・交通安全対策については、道路整備基本計画に基づき、予算の範囲内で優先度に応じた対策を実施する。

・朝霞台駅のエレベーター設置については、令和7年3月に、改札内2基、北口の改札外1基の供用が開始された。引き続き、南口改札外の早期の供用開始に向け、引き続き東武鉄道と連携・協力していく。

9 所管部の総括

・公共交通空白地区の改善については、地域組織等と連携し、本格運行に向け利用実態に応じた持続可能な交通体系の構築について検討していく必要がある。

・朝霞台駅へのエレベーターの設置は、南口改札外の早期供用開始に向けて東武鉄道と連携し必要な情報提供を行うとともに、安全に配慮しながら進めていく。

・シェアサイクルは、近隣市と情報を共有し連携して進めていく。

541 特性に応じた市街地づくり



担当課 まちづくり推進課
関連課 -

目 指 す 姿

適正な宅地利用がなされ、防災、健康、衛生環境面などに配慮した、バランスのとれた住環境のあるまちが形成されている。

まち・ひと・しごと目標 -

指 標 1



（仮称）あずま南地区土地区画整理事業整備進捗率
（％）

同地区整理事業における事業費ベースの整備進捗率

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 （R7年度）
-	-	30	66

指 標 2

-

-

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 （R7年度）

1 実 施 内 容

【新規】

【継続】

- ・あずま南地区土地区画整理組合が行っている区画整理事業に対して、定期総会や理事会等に適宜出席するとともに、補助金の交付や土地区画整理法に基づく技術支援を行った。
- ・都市計画法第29条等に基づく届出、審査、許認可、確認、証明書の交付及び検査を行った。
- ・建築基準法等に基づく相談、審査、許認可、現場確認等を行った。
- ・市道の改良工事を行い、側溝清掃や違反広告物の撤去を行った。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

該当なし

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- ・都市計画法、開発手続条例、建築基準法、屋外広告物条例、景観条例等に基づく適正な運用により、基準に適した良好な住環境が整備・確保された。
- ・組合施行の区画整理事業に対し援助を行い、良好な市街地形成に寄与することができた。
- ・生活道路の安全と道路環境の改善を図るため、歩道整備や自転車通行帯などの整備を実施した。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

- ・あずま南地区土地区画整理事業については、交通の利便性を活かした工業系の土地活用を目指し、引き続き技術支援を行う必要がある。
- ・公園が不足している地域や住宅が密集している地区での公園整備など、今後の公園整備のあり方を検討する必要がある。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	あずま南地区土地区画整理推進事業	4,064	3,695	754,477	継続
2	都市計画総務事務事業【再掲】	－	－	－	継続
3	道路施設維持管理事業【再掲】	－	－	－	継続
4	開発許可等指導事業	31,508	19,442	21,517	継続
5	道路改良事業【再掲】	－	－	－	継続
6	建築行政事業	25,718	25,998	36,584	継続
7	住宅政策事業【再掲】	－	－	－	継続
8	都市計画マスタープラン策定事業【再掲】	－	－	－	継続
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		61,290	49,135	812,578	

総コスト（事業費＋人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
61,290	49,135	812,578

6 現状と課題の分析

- ・防災機能を向上させるため、挟あい道路の拡幅やオープンスペースの確保が必要である。
- ・あずま南地区土地区画整理事業は、令和4年9月に都市計画変更及び組合認可の告示をし、土地区画整理事業に着手、引き続き技術支援を行うなど、市も一体となり取り組む必要がある。
- ・公園が不足している地域の公園整備については、機会を捉えて公園用地の確保に努める必要がある。

7 今後の展開

- ・あずま南地区土地区画整理事業の推進を図るために、組合に対して必要な技術的援助や補助金の交付を行う。
- ・都市計画法や建築基準法等の関係法令に基づく、審査、許認可、指導、相談などを適正に行う。
- ・道路整備基本計画に基づき、効率的な道路整備を推進する必要がある。

8 行政と市民の役割分担

- ・街路や公園、シンボルロードなど公共空間をにぎわいとコミュニティの場所として有効活用するなど、官民連携による魅力あるまちづくりを推進する必要がある。

9 所管部の総括

- ・あずま南地区土地区画整理組合と連携を図り、円滑に事業を推進していくため適切な技術援助を行う。
- ・道路整備基本計画に基づき、効率的に市民にとって身近なインフラである道路整備を推進するとともに、交通安全施設の充実に努めていく。
- ・法改正を的確に捉えるとともに、審査の質の向上や事務の効率化を図る必要がある。

551 上水道の整備・充実



担当課 水道施設課
関連課 上下水道総務課

目 指 す 姿

水道事業の経営が安定し、適正な水道料金で安全・安心な水が安定的に供給され、また、水道施設の耐震化を計画的に進めることにより、災害に強い水道施設になっている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P124》



指標 1

基幹管路の耐震化率（上水道）（％）

市内給水の幹線となる重要管路の耐震化の割合

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
55.4	56.3	59.2	62.7

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

・水質検査（PFAS/PFOA）について、末端給水栓に加え、新たに浄水場出口と井戸と検査回数も増やして実施。

【継続】

耐震化事業と老朽管更新事業など、水道管路工事を年間5キロメートル整備を目標とする。
浄水場維持管理については、定期点検などメンテナンスを踏まえ更新工事を実施していく。
朝霞市水質検査計画に基づく水質検査の実施
市内全域の漏水調査の実施
上水道台帳の整備
応急給水訓練の実施（4回実施）

2 審議会等第三者機関の評価・意見

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

・今年度予定していた管路工事では耐震化事業2か所、老朽管更新事業12か所、その他2か所のほか、舗装復旧工事や陸橋・河川橋の添架管設計委託など実施することができた。また、浄水場更新工事に関しても予定していた事業を行うことができた。
・令和6年度の水道管路は、約5.2キロメートル実施した。
・水質検査の結果をホームページで公表した。（異状なし）
・物価高騰対策として、水道料金の減免を行った。
・総収支比率は100%を上回っており健全な経営が行えている。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

・安心・安全な水道水の安定供給は水道事業者の責務である。
・水道は電気、ガス、通信等と同様に市民生活や社会経済活動を支える重要インフラである。また、水道は生命の維持に資するため、地震等の非常時に水道施設が被災しても速やかに復旧できる体制を確保することが求められている。このため、耐震化事業や老朽管更新事業、浄水場更新事業は計画的に進める必要がある。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	水道施設耐震化・老朽管更新事業	843,306	711,172	813,417	継続
2	浄水場維持管理更新事業	1,248,331	1,888,957	1,775,259	継続
3	導水管・配水管・給水管維持管理事業	151,880	141,393	168,058	継続
4	水道庁舎維持管理事業	21,763	21,572	16,010	継続
5	水道事業健全運営事業	174,521	179,564	187,308	継続
6	都市計画総務事務事業【再掲】	－	－	－	継続
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		2,439,801	2,942,658	2,960,052	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 2,439,801	R5年度 2,942,658	R6年度(見込み) 2,960,052
------------------------------	-------------------	-------------------	------------------------

6 現状と課題の分析

・水道施設の工事に関しては、人件費や資材高騰の影響が、今後さらに大きな課題となる。そのため、管路工事に関しては、口径によっては、ダクタイル鋳鉄管以外で耐震性に優れた安価な管種を取り入れるなど研究していく必要がある。また、浄水場の更新工事に関しても、定期点検やメンテナンスの結果を踏まえ、2か年継続事業を3か年継続事業にするなど、工事費の平準化をさらに進めることも検討する必要がある。

7 今後の展開

・引き続き、耐震化事業や老朽管更新事業、浄水場更新事業を実施していかなければならないが、人件費や資材高騰に加え、管路工事においては陸橋や河川橋などの特殊な工事に着手していかなければならない。
・令和7年度からは、新たに重要施設への供給網を強化する上下水道耐震化計画も実施する。

8 行政と市民の役割分担

・配水管は行政が主体となって整備するが、宅地開発において事業者等が整備する場合には、行政と事業者等の協議が必要となる。
・水道施設の耐震化工事、濁り水の発生時などは、地域住民の理解と協力が必要である。
・私道内給水管の布設替に補助金を交付している。

9 所管部の総括

・管路工事に関しては、能登半島地震や埼玉県内で発生した事故などから、耐震化も老朽管更新も市民から高い関心が寄せられている。今後も着実に整備を進め、安心・安全な水道の供給を維持していく。

552 公共下水道の整備



担当課 下水道施設課
関連課 上下水道総務課、環境推進課、道路整備課

目 指 す 姿

- ・公共用水域の水質が保全され、清潔で快適な環境づくりを推進するとともに、雨水管の整備や雨水の流出を抑制することなどにより、豪雨時においても浸水被害が少ないまちとなっている。
- ・下水道施設の更新を計画的に進めることにより、下水道事業の持続的な運営が図られている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P124》



指標 1

老朽化管渠の修繕改築工事延長（下水道）（km）

朝霞市下水道ストックマネジメント計画に基づき、修繕や改築を実施する管渠延長

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
0.09	0.09	0.68	1.05

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

【継続】

既設下水道管の維持管理 マンホール蓋交換 96か所
ポンプ場、排水機場の維持管理
開発事業等における指導検査件数 30件
雨水流出抑制施設設置状況 浸透トレンチ約 230.8㎡
浸透枳約 6.2㎡ 貯留槽 270.4㎡
朝霞市雨水管理総合計画の促進
朝霞市ストックマネジメント計画の推進
水害時対応訓練の実施
内間木地区浸水被害軽減対策検討業務の実施

2 審議会等第三者機関の評価・意見

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

朝霞市ストックマネジメント計画に基づき、管路点検約 30kmを実施したほか、修繕改築工事を行った。

旧暫定逆線引き地区内にある下水道未整備区域に、污水管を整備した。

朝霞市雨水管理総合計画に重点対策地区として位置づけられている溝沼地区において、調整池築造工事が完成した。引き続き、ポンプ場建設工事を行っている。また、膝折町1丁目地区において、貯留管設置工事にむけた調査業務を行った。

【外的要因】

気候変動の影響等により、局地的かつ短時間での豪雨等が頻発し、内水被害が発生した。

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

下水道施設の老朽化に対応するため、計画的かつ経済的に修繕、改築を行う必要がある。

局地的かつ短時間でも豪雨が頻発する傾向にあり、内水被害が発生していることから、今後とも引き続き浸水対策を行う必要がある。

生活環境の改善や水質保全のため、引き続き下水道整備を実施する必要がある。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	汚水整備事業	158,926	216,465	210,554	継続
2	下水道維持管理事業	130,581	197,119	169,149	継続
3	朝霞市下水道ストックマネジメント計画推進事業	33,364	62,410	110,595	継続
4	排水機場維持管理事業	145,109	200,731	76,763	継続
5	雨水整備事業	172,381	585,211	743,085	継続
6	地球温暖化対策推進事業【再掲】	-	-	-	継続
7	水路改修事業【再掲】	-	-	-	継続
8	下水道事業健全運営事業	1,047,105	961,619	1,196,858	継続
9	合併処理浄化槽設置促進事業【再掲】	-	-	-	継続
10	内間木地区浸水被害軽減対策検討事業	-	-	4,477	拡充
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		1,687,466	2,223,555	2,511,481	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 1,687,466	R5年度 2,223,555	R6年度(見込み) 2,511,481
------------------------------	-------------------	-------------------	------------------------

6 現状と課題の分析

下水道施設の整備、再構築には多額の費用を要することから、引き続き国庫補助金などの財源の確保に努める必要がある。
暫定逆線引き地区内の污水管整備については、整備に必要な路線の幅員が狭いなどの要因から、道路拡幅に併せて工事を実施していく必要がある。

7 今後の展開

朝霞市下水道ストックマネジメント計画に基づき、修繕・改築を計画的に推進する。
朝霞市雨水管理総合計画に基づき局地的な豪雨等による浸水被害を軽減するための対策を推進する。
旧暫定逆線引き地区の市街化区域編入に伴い、公共下水道の整備を引き続き行っていく。
下水道施設の施設更新の投資費用と、それに必要な財源が均衡する健全経営に努める。

8 行政と市民の役割分担

雨水管の設計強度を上回る豪雨による冠水については、自宅周りに止水板設置や自宅からの避難を、市民自らの判断で行っていただく。
宅地等の雨水を敷地内で浸透させるなどの雨水流出を抑制する対策も重要であることから、引き続き市民への周知、啓発に努める。

9 所管部の総括

下水道施設の更新事業については、朝霞市下水道ストックマネジメント計画にともづき更新事業を進めていく。
浸水被害軽減のため、朝霞市雨水管理総合計画等に基づき、浸水対策を進めていく。
下水道施設の整備、再構築には、多額の費用を要することから、財政収支バランスを踏まえた経営に努める。

561 災害や犯罪に強いまちづくり



担当課 まちづくり推進課

関連課 危機管理室、水道施設課、下水道施設課、開発建築課、みどり公園課、道路整備課

目 指 す 姿

地域における防災対策が進み、地震・火災・水害の被害を最小限に抑えられるまちになっている。また、防犯環境づくりが進み、犯罪が起きにくいまちになっている。

まち・ひと・しごと目標 -

指 標 1



防火地域・準防火地域の指定地区数（地区）

目標年度において指定している防火地域・準防火地域の地区数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
10	10	10	12

指 標 2

-

-

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

【継続】

- ・立地適正化計画の防災指針に位置付けた施策を推進していく。
- ・耐震診断や耐震改修、危険ブロック塀等撤去工事に対し補助金を交付した。（耐震診断 1 件、耐震改修 2 件、危険ブロック等撤去 8 件）
- ・市内の在住在勤の応急危険度判定士で民間の有資格者を対象に、新たに導入されたマッチングシステムによる参集連絡訓練を実施し、7 名（4.6%）の返信があった。
- ・道路照明灯の包括維持管理業務委託を実施し、定期的な情報共有を行い、適切な維持管理を行っている。
- ・上内間木地内などの水路浚渫工事を実施した。
- ・道路整備基本計画に基づき道路買収を進め、歩道等を整備した。
- ・青色防犯パトロールカーの運行を実施し、防犯灯LED化促進事業費などの事業に補助金を交付した。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

該当なし

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- ・あずま南土地区画整理事業の推進を図るため、技術的援助を実施した。
- ・建築物の地震対策として、耐震診断等に係る補助金申請があり、危険ブロック塀等の撤去に対しても補助金を交付した。
- ・道路照明灯の全灯 L E D 化を実現し、維持管理費の削減を図っている。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

- ・近年、多発するゲリラ豪雨や台風など、自然災害に対する危機意識が高まっている。
- ・地震被害軽減のため、建築物の耐震化や危険ブロック塀の撤去が求められている。
- ・犯罪などが起こりにくい地域環境のため、自治会や町内会等による防犯活動や地域防犯パトロール等の推進など、地域と行政が連携して対処していく必要がある。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	安全なまちづくり推進検討事業	3,695	1,116	1,119	継続
2	建築物耐震化促進事業	11,478	29,145	14,450	継続
3	水路改修事業	22,228	59,711	28,585	継続
4	落橋防止対策事業	1,478	744	373	継続
5	都市計画総務事務事業【再掲】	—	—	—	継続
6	シンボルロード管理事業【再掲】	—	—	—	継続
7	建築行政事業【再掲】	—	—	—	継続
8	道路用地取得事業【再掲】	—	—	—	継続
9	道路改良事業【再掲】	—	—	—	継続
10	道路照明灯整備事業	82,744	84,611	89,699	継続
11	防犯対策推進事業【再掲】	—	—	—	継続
12	公園施設改修事業【再掲】	—	—	—	継続
13	児童遊園改修事業【再掲】	—	—	—	継続
14	空き家対策事業	9,039	8,358	10,396	継続
15	都市計画マスタープラン策定事業【再掲】	—	—	—	継続
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		130,662	183,685	144,622	

総コスト（事業費＋人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度

130,662

R5年度

183,685

R6年度(見込み)

144,622

6 現状と課題の分析

- ・橋梁や歩道橋は一斉に老朽化しつつあり、計画的な補修補強により長寿命化を進め、維持管理費を縮減する必要がある。
- ・都市計画道路は、交通処理機能の増強だけでなく、都市内で連続した公共空間を提供し、延焼を防止する等の防災空間、緑地等による環境空間といった多様な機能を担うことから、それらの機能の早期発現が求められている。
- ・防災や防犯をより一層進めるためには、関係行政機関との連携を推進するとともに、自助、共助の意識高揚が必要である。

8 行政と市民の役割分担

- ・災害時には、自助、共助、公助が互いに連携し一体となることで、被害を最小限にできるとともに、早期の復旧につながることから、それぞれの役割と取り組むべき内容について周知・啓発することが重要となる。
- ・地域の犯罪の予防を図るため、行政機関、自治会、PTA、市民団体等の地域団体と相互に連携し、長期的な視点に立って、安心・安全なまちづくりを一体となって進める必要がある。

7 今後の展開

- ・建築物の耐震化や危険ブロック塀等の撤去に関する補助金の活用について、効果的な周知・啓発を進め、更なる耐震化を促進していく。
- ・応急危険度判定士のマッチングシステムの登録を県と連携しながら周知に努めていく。
- ・落橋防止対策については、対策が完了していない橋梁に対し検討を進めていく。
- ・空き家対策については、空家等対策計画に基づき着実に進める。

9 所管部の総括

- ・都市計画マスタープランの方針や立地適正化計画に基づき、災害に強いまちづくりを推進していく。
- ・防災減災に関連する道路整備は、道路整備基本計画に基づき、効果的な整備を推進していく。
- ・建築物の耐震化や危険ブロック塀等の撤去に関する補助金の活用について、効果的な周知・啓発を進めていく。
- ・災害時には、自助、共助、公助が互いに連携し一体となることで、被害を最小限にできるとともに、早期の復旧につながることから、それぞれの役割と取り組むべき内容について周知・啓発に努めていく。

562 全てのの人にやさしいまちづくり

担当課 まちづくり推進課

関連課 財産管理課、長寿まつらつ課、開発建築課



目 指 す 姿

全てのの人にやさしく、安心して、安全・快適に暮らせる、配慮が行き届いたまちとなっている。

まち・ひと・しごと目標 —

指 標 1



「障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備」の不満足度（％）

第5次朝霞市障害者プラン及び第5期朝霞市障害福祉計画の策定時に、障害福祉課で実施したアンケート結果による不満足度の割合

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
—	—	—	17

指 標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

- ・UR都市機構と市営住宅の新たな賃貸借契約（契約期間10年）を締結し、仲町・膝折・浜崎住宅で50戸の運用を開始した。
- ・「マンション管理適正化推進計画」に基づき、「管理計画認定制度」の運用を開始した。

【継続】

- ・地域公共交通協議会を開催し、市民や関係機関と協働で地域公共交通計画の施策を推進した。
- ・高齢者住宅の提供や住宅改善費の補助、住替え家賃の補助を行った。
- ・認知機能、身体機能の低下等により、安全運転に不安のある市民に対して、運転免許自主返納啓発事業を実施し、市内循環バス回数券等を交付した。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

該当なし

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- ・高齢者や住宅に困窮している低所得者の居住を確保するため、UR都市機構と市営住宅の新たな賃貸借契約（契約期間10年）を締結し、仲町・膝折・浜崎住宅で50戸の運用を開始した。
- ・利用者が、安心安全に、そして快適に利用できるように、公共施設の新築工事や改修工事においては、地域の景観やユニバーサルデザイン、グリーンインフラ等に配慮し設計を行った。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

- ・住宅に困窮する低所得者や高齢者などに対して、市営住宅や高齢者住宅の確保が必要である。
- ・高齢化の進展など、誰でも移動しやすい環境や公共交通をはじめとする移動手段確保のニーズが高まることが予想される。
- ・高齢者や障がい者などが暮らしやすい住環境となるよう、今後住宅のリフォーム補助の需要は高まる。
- ・公共交通を補完する新たな交通体系の需要が高まる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	都市計画総務事務事業【再掲】	－	－	－	継続
2	交通施策推進事業【再掲】	－	－	－	継続
3	市内循環バス運営事業【再掲】	－	－	－	継続
4	歩道整備事業【再掲】	－	－	－	継続
5	営繕行政事業【再掲】	－	－	－	継続
6	住宅政策事業	67,362	69,814	78,590	継続
7	高齢者住宅支援事業【再掲】	－	－	－	継続
8	都市計画マスタープラン策定事業【再掲】	－	－	－	継続
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		67,362	69,814	78,590	

総コスト（事業費＋人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
67,362	69,814	78,590

6 現状と課題の分析

- ・公共交通利用者が減少している中、持続可能な公共交通の確保のため、効率性や収益性が課題となっている。
- ・バス事業者においては、運転手不足が深刻化し、現にある路線の維持ですら極めて困難な中、まずは既存路線の維持に向けて注力していくことが重要となっている。
- ・公共交通空白地区を改善し、面的な交通ネットワーク構築のため、地域住民と一体となって本格運行に向けて検討を進める必要がある。

7 今後の展開

- ・高齢化社会に対応するため、継続的に市営住宅を確保し、低所得者向け公営住宅の提供を継続するとともに、建築物のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の普及啓発に努める。
- ・公共交通空白地区の改善に取り組むとともに、利用実態に応じた市内循環バスの運行計画や弾力的な運行体制の見直しを検討し、快適に利用できる都市交通システムの構築や、まちづくりと一体となった持続可能な交通体系の構築について検討していく。
- ・朝霞台駅へのエレベーターの設置やバリアフリー化に向けて、引き続き、東武鉄道と連携し取り組んでいく。

8 行政と市民の役割分担

- ・改正セーフティーネット法の趣旨をふまえ、住宅確保要配慮者が民間賃貸住宅に入居しやすくなるよう、制度、仕組み等について情報提供する。
- ・公共交通関係では、公共交通空白地区を改善し、市内の面的な交通ネットワーク構築のため、導入ガイドラインに基づき、地域住民と一体となって本格運行に向け検討を進める必要がある。

9 所管部の総括

- ・コンフォール東朝霞団地の一部を市営住宅として借り上げているが、今後空き室が生じた場合は、新たに借り上げるUR浜崎団地、UR膝折団地に振り替え手続きを進めていく。
- ・地域公共交通計画に基づく、公共交通空白地区の改善や市内循環バスの運行計画の見直しについて、地域公共交通協議会と協議し、利用実態に応じた形になるよう検討していく。
- ・朝霞台駅へのエレベーターの設置は、早期供用開始に向けて東武鉄道と連携し必要な情報共有を図るとともに、安全に配慮しながら進めていく。

611 人権教育・啓発活動

担当課 人権庶務課
関連課 教育指導課、生涯学習・スポーツ課



目 指 す 姿

朝霞市人権・同和行政実施計画に則った事業の実践により、市民一人ひとりの人権意識・人権感覚が高まり、憲法で保障された基本的人権を互いに尊重し、認め合う、差別のない明るい社会になっている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P142》

指標 1



人権に関する研修会・講演会参加者数（人）

人権研修会などの年間参加者数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
348	323	300	630

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

・人権教室について、令和6年度は公設公営保育園9園に加え、公設民営保育園1園で実施し、合計10園で実施した。

【継続】

- ・人権施策庁内連絡会を1回、庁内人権問題研修推進員研修会を2回開催。
- ・職員の人権意識の醸成を図ることを目的に、階層別職員研修において講師を務めた。
- ・平和の大切さを伝えるため、なつやすみ親子ピースチャレンジや平和パネル展、終戦記念日等の黙とう及び半旗の掲揚を実施。
- ・企業人権教育研修会や公民館人権教育講座を開催。
- ・成人式の出席者に対して人権啓発冊子を配布。
- ・広報あさかやホームページを活用して啓発記事を掲載。
- ・小中学生に人権作文への応募の呼びかけを行い、人権作文集「たいよう」を作成。
- ・朝霞市人権教育推進協議会へ補助金を交付し、人権教育・啓発事業の支援を実施。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価委員会】人権教育・啓発運動のポイントが、性的マイノリティに対する差別の解消に偏り過ぎていないか。子どもの人権など広範囲の市民に関係あるテーマをもっと扱うようにすべきではないか。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

指標1については、徐々にコロナ禍以前の状況に戻りつつあり、研修会等を開催しているが、目標は下回った。
しかし、人権教室を公設公営保育園9園と公設民営保育園1園の合計10園で実施できたことによりめざす姿に近づいている。
市民一人一人の人権意識や人権感覚が高まり、差別のない社会を実現するために、今後も複雑、多様化する人権問題に関して、市民や企業に対し講演会や研修会などの学習機会を提供するとともに、啓発・周知の取組を進めていく。

【外的要因】

・令和5年度より多くの講演会や研修会を開催できた。しかしながら、コロナ禍以前と比べ研修会等の開催回数がまだ少ないことや、インターネットなどの各種メディアを活用して自分自身で情報を得ることができることから、目標値を下回ったと考えられる。

4 必 要 性

1 2 3 ④ … 社会的なニーズは増加傾向にある

・すべての人々の人権が尊重され、平和で豊かな社会を実現するためには、市民一人一人の人権尊重意識の醸成を図ることは必要不可欠であり、人権尊重社会を望む市民の願いは変わる事はなく、様々な人権問題が生じている状況からもニーズは高まっていくものと考えられる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	教育指導支援事業【再掲】	-	-	-	継続
2	特別支援教育事業【再掲】	-	-	-	継続
3	人権教育振興事業【再掲】	-	-	-	継続
4	人権啓発推進事業	6,449	6,527	8,293	継続
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		6,449	6,527	8,293	

総コスト（事業費＋人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
6,449	6,527	8,293

6 現状と課題の分析

・大規模な災害の発生や感染症の拡大など様々な要因による社会状況等の変化により、人々の意識が大きく変わるような状況があり、インターネットやSNSによる人権侵害事案の増加をはじめとして、人権問題は複雑化、多様化する傾向にある。

・課題としては、市民や職員の人権意識を高めていくため、複雑化、多様化する人権問題に対して、創意工夫した人権教育、啓発活動を継続的に行っていく必要がある。

7 今後の展開

・人権教育については、児童、生徒、教職員の人権意識を向上させるとともに、人権問題の正しい認識と正しい理解を深めるよう教育指導を充実させる。また、講演会や研修会を実施し、市民への学習機会の提供を行い、より効果的な実施手法の中で、多くの市民に人権に関する関心と正しい知識が得られるよう人権教育を推進する。

・人権啓発活動については、人権施策を実施する関係部署との連携を図るとともに、新たな人権問題に対する正しい認識と理解を深めるため、市職員への研修等の充実を図る。また、市民に対しては、より身近な人権課題についての情報提供や啓発活動を工夫し、推進を図る必要がある。

8 行政と市民の役割分担

（市）人権教育については、学校の教育活動を通じて、豊かな人権感覚を育成できる教育活動を推進する。また、人権啓発事業については、市民や職員の人権意識を高めていくための事業等を実施する。

（市民）人権啓発活動において人権擁護委員との協働を行う。

9 所管部の総括

・市民一人一人の人権意識を高め、差別のない社会の実現に近づけるために、既存の事業を着実に実施していく。

・複雑かつ多様化する人権問題については、職員への研修に取り入れるとともに、市民に対して正しい認識と理解を深めるための情報提供や啓発活動の推進を図る。

612 問題解決に向けた支援体制の充実



担当課	人権庶務課
関連課	地域づくり支援課、生涯学習・スポーツ課

目 指 す 姿

複雑、多様化する人権問題の解決のために、個々のケースごとのきめ細やかな支援を実現する庁内関係各課の横断的な対応と、国や県をはじめとする関係機関や民間団体等との緊密な連携が確立されている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P142》



指標 1

人権施策や人権問題に関する関係機関との連携件数（件）

人権施策庁内連絡会、庁内人権問題研修推進員研修会の開催や国、県などの関係機関の会議等に参加した件数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
7	9	12	13

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

・令和6年6月5日からこども人権相談事業（こども・ほっとそうだん）を開始した（年度内97日の開催見込み）。

【継続】

- ・人権相談を実施した。（年度内12回開催）
- ・法律相談を実施した。（年度内101日の開催見込）
- ・行政相談を実施した。（年度内19日の開催見込）
- ・人権施策庁内連絡会を実施した。（年度内1回開催）
- ・庁内人権問題研修推進員研修会を実施した。（年度内2回開催）
- ・国、県などの関係機関の会議等に参加した。（年度内9回参加）

2 審議会等第三者機関の評価・意見

・該当なし

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

・指標1について、国、県などの関係機関の会議等がコロナ禍以前と同程度に開催されているため、連携件数も増えている。
また、令和6年6月5日から「こども・ほっとそうだん」を開設し、身近な人にも相談できずにいるこどもたちやその保護者等の悩みごと等に対し、解決に向けた支援を行った。
引き続き、関係機関の会議等へ参加し、職員や相談員のスキルアップの向上に努めていく。

【外的要因】

・7月31日豪雨の対応のため、国の会議に出席できなかったことから、目標を下回った。

4 必 要 性

1 2 3 ④ … 社会的なニーズは増加傾向にある

・人権に関する相談は、法的な問題に発展することも想定される。また、大規模な災害の発生や感染症の拡大など様々な要因による社会状況等の変化により、インターネットやSNSによる人権侵害事案の増加をはじめとして、複雑化、多様化する人権問題に対して行政への支援を求めるケースが多くなっていくものと考えられる。今後も問題の解決に向け、相談者に寄り添った対応に努めていく必要がある。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	人権啓発推進事業【再掲】	-	-	-	継続
2	人権教育振興事業【再掲】	-	-	-	継続
3	市民相談事業	7,511	7,365	7,561	継続
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		7,511	7,365	7,561	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 7,511	R5年度 7,365	R6年度(見込み) 7,561
------------------------------	---------------	---------------	--------------------

6 現状と課題の分析

- ・人権に関わる相談については、内容が複雑化しているケースが想定され、担当課だけの対応では困難な状況も考えられるため、人権施策の課題について共有している。
- ・人権相談の相談員や担当職員については、国、県などが開催する会議や研修会に参加し、人権問題の現状を情報収集することで相談業務に活かすことができるよう取り組んでいる。
- ・複雑化、多様化する相談に対し、適切な対応を行うことができるような支援体制の構築が課題と考える。

7 今後の展開

- ・問題解決に向けた支援体制を充実させるため、人権施策庁内連絡会の構成部署間で各部署における人権施策の課題を把握し、効果的な支援体制の方法を検討していく必要がある。
- ・複雑化、多様化する相談に対し、相談者の主訴を理解し、解決へ導くことができるようにするために職員や相談員のスキルアップのほか、関係する民間団体との連携を視野に入れることも必要と考える。

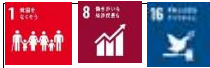
8 行政と市民の役割分担

- ・人権相談日以外に市民からの相談があった場合には、まずは、相談内容を傾聴し、さいたま地方法務局での常設人権相談への案内や他部署へ繋ぐ等、適切に対応を行う。

9 所管部の総括

- ・市民が抱える日常生活における問題やトラブルの解決支援を確実に行うため、人権相談や法律相談などの窓口の周知に努める。
- ・複雑化、多様化する人権問題の解決のために、引き続き、庁内関係各課の連携強化を行うとともに、職員や相談員のスキルアップに努める。

622 男女平等が実感できる生活の実現



担当課 人権庶務課
関連課 —

目 指 す 姿

市民 1 人 1 人が、性別に関わりなく、その個性と能力を発揮することができ、男女平等が実感できる生活が実現している。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P144》



指 標 1

配偶者等から暴力を受けた場合に誰かに相談する割合（％）

配偶者等から暴力を受けた場合に誰かに相談する割合

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
—	—	集計中	80

指 標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

- ・女性総合相談の相談時間の拡大及び相談方法の変更（相談時間：午前 1 0 時～午後 3 時を午前 1 0 時～午後 4 時に変更、相談方法：面接相談に電話相談を追加）
- ・困難な問題を抱える女性への支援を検討する場として、支援調整会議を設置

【継続】

- ・男女平等推進審議会にて関連施策を評価し、年次報告書を作成・公表
- ・女性総合相談及びDV相談の実施・周知
- ・女性に対する暴力をなくす運動期間などでの暴力防止に向けた情報提供や啓発事業の実施
- ・女性が活躍できる環境整備に向けた取組の周知・啓発

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【男女平等推進審議会】DV相談や女性総合相談などの相談内容を分析し傾向を把握するとともに、相談対応に活かしていく必要があると考える。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- ・指標については、5 年ごとの市民意識調査で進捗状況を把握しているが、平成 2 6 年度調査（5 9 . 4 %）と令和元年度調査（5 8 . 3 %）を比較するとほぼ横ばい状態
- ・配偶者やパートナー等からの暴力の根絶などを図るため、DV相談及び女性総合相談を実施するとともに、国や県の研修等に参加し相談体制の充実を図っている。また、市内公共施設にポスターを掲示するなどして、様々な相談窓口について、広く周知を行っている。
- ・「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の施行に伴い、様々な相談に対応できるよう相談体制の整備を図っている。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 3 ④ … 社会的なニーズは増加傾向にある

・ジェンダー・ギャップ指数（GGI）の現状（1 1 8 位／1 4 6 カ国）などから、今後も男女平等を推進していく必要がある。また、本年度から「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行され、複雑化・複合化する問題の解決に向けて、関係機関と連携していく必要が高まっている。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	男女平等相談事業	16,197	14,214	14,508	継続
2	女性センター管理事業【再掲】	－	－	－	継続
3	男女平等推進事業【再掲】	－	－	－	継続
4	男女平等推進行動計画策定事業【再掲】	－	－	－	継続
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		16,197	14,214	14,508	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 16,197	R5年度 14,214	R6年度(見込み) 14,508
------------------------------	----------------	----------------	---------------------

6 現状と課題の分析

・前年度と比較すると、DV相談の件数は減少傾向、女性総合相談の件数は増加傾向だが、増減理由の詳細な分析は難しいため、潜在的な相談ニーズも考慮し、相談窓口を広く周知し、認知度を高めることが重要である。

・ジェンダー・ギャップ指数（GGI）の現状（118位/146カ国）などから、女性の活躍推進と合わせて、男女平等を推進していく必要がある。

7 今後の展開

・相談者からの相談内容は複雑化・複合化しているため、相談者が抱える問題の解決に向けて、相談内容の分析や傾向を踏まえ関係機関等との緊密な連携や、相談員のスキルアップを図っていく。

・男女平等を推進するため、市が率先してポジティブ・アクションに取り組むとともに、関連する情報の提供、周知・啓発等を行っていく。

8 行政と市民の役割分担

（市）DV相談及び女性総合相談の実施。相談窓口の周知や、ポジティブ・アクションなど女性の社会的地位向上のための推進や情報発信など、男女平等が実感できる生活の実現に向けた取組を実施

（市民）男女平等推進事業企画運営協力員、男女平等推進情報企画編集協力員、あさか女と男セミナー企画運営協力員への参加や、女性センター登録団体での活動のほか、広報掲載記事やセミナーなどの企画運営

9 所管部の総括

・男女平等の意識が一人ひとりに浸透し、誰もがその個性と能力を十分に発揮することができるよう、相談体制の充実を図る。また、女性の職業生活における活躍の推進等、様々な周知・啓発を行い、男女平等が実感できる生活の実現に向けた取組を推進していく。

653 公共施設の効果的・効率的な管理運営



担当課 財産管理課
関連課 政策企画課、内間木支所、朝霞台出張所、朝霞駅前出張所、保育課

目 指 す 姿

市の公共施設が安全に利用でき、必要とされるサービスが必要なだけ提供できている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P150》

指標 1

維持管理費の削減率（％）

公共施設の維持管理費について、令和２年度の実績値に対し、新手法等の導入により削減した割合

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
18.6	36.9	38.8	-5.0

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

- ・公共施設等マネジメント実施計画に基づく本庁舎の長寿命化改修工事の基本設計を行った。
- ・令和６年度は当初予算で５千万円、９月補正で１億円を基金へ積み立てた。
- ・基金を充当した事業として、令和６年度は、仲町市民センター大規模改修工事等、６事業を対象とした。
- ・電気契約の見直しや照明の調光機能を活用して、電気料金の削減に取り組んだ。

【継続】

- ・公共施設等マネジメント実施計画（第２期）の策定作業を行った。
- ・公有財産台帳及び固定資産台帳の更新を行ったほか、台帳の活用について、先進市への視察・調査等を行った。
- ・施設管理者向けに建物維持管理マニュアル説明会を実施したほか、施設管理者が実施した施設点検結果について取りまとめを行った。
- ・公共施設の管理運営を行う公益財団法人朝霞市文化・スポーツ振興公社に補助金を交付し、市民のニーズにあったサービスが提供されるよう、必要な支援を行った。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

- ・公共施設について、持続可能な在り方を考えると、新しくするばかりではなく、既存の建物をどう利用し続けられるものにするか、という感覚で考える機会を作ること必要ではないか。
- （外部評価委員会（第８回）令和６年１２月２０日実施）

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- ・電力料金等が高騰していることなどを踏まえ、令和６年７月に東京電力エナジーパートナーとの契約内容を見直し、電気料金の削減に努めた。
- ・本庁舎において休憩時間の消灯を実施、エレベーターの稼働について閉庁時間は別館エレベーターに加え、令和６年度から本館エレベーターの１基も停止し、節電に努めた。
- ・改修工事を実施する際、ユニバーサルデザインや長寿命化を意識した整備を行い、環境に配慮した省エネルギーな施設の整備に努めた。

【外的要因】

該当なし

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

社会保障費の増加や、公共施設に充てる費用が減少する中、持続可能な公共施設とするために、維持管理費の縮減を進める必要がある。
光熱水費の負担軽減のため、安定かつ安価な契約手法や使用方法の見直し等について検討が必要である。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費＋人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	営繕行政事業	37,797	38,703	32,588	継続
2	公有財産管理事業	6,801	8,457	7,352	継続
3	公用車管理事業	22,240	24,042	21,363	継続
4	庁舎管理事業	151,662	112,897	89,205	継続
5	庁舎施設改修事業	26,349	78,850	124,692	継続
6	庁用備品管理事業	3,451	4,851	4,532	継続
7	内間木支所管理事業	10,340	12,769	8,692	継続
8	朝霞台出張所管理事業	25,627	25,609	25,271	継続
9	朝霞駅前出張所管理事業	21,964	22,363	23,277	継続
10	政策総務事務事業【再掲】	—	—	—	継続
11	文化・スポーツ振興公社運営支援事業	161,960	166,561	172,183	継続
12	公共施設マネジメント基金積立事業	551,258	700,862	154,752	継続
13	内間木支所施設改修事業	—	—	7,307	継続
14	保育園施設管理事業【再掲】	—	—	—	継続
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		1,019,449	1,195,964	671,214	

総コスト（事業費＋人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 1,019,449	R5年度 1,195,964	R6年度(見込み) 671,214
------------------------------	-------------------	-------------------	----------------------

6 現状と課題の分析

- ・市民が安全に公共施設を利用できるよう、朝霞市公共施設等マネジメント実施計画に基づき、施設の保全・更新、経費の縮減に取り組む必要がある。
- ・計画の実施には、財政的な裏づけが必要であり、公共施設マネジメント基金の運用状況や、市全体の財政状況と整合を図りながら施策を進める必要がある。
- ・近年、社会情勢の変化に伴う、電力供給価格等の変動が大きいことから、変動の注視に努める必要がある。

7 今後の展開

- ・公共施設等マネジメント実施計画に沿って、公共施設の安全性を確保しながら計画的な管理を行うために、施設の長寿命化、維持管理費の縮減、改修時期の平準化などに努めていく必要がある。
- ・業務委託や指定管理者制度の活用に当たっては、より効果的かつ効率的に施設の設置目的を達成できる方法を検討していく。

8 行政と市民の役割分担

- （市）公共施設の管理運営についての適切な取組。取組状況、課題等の市民への周知
- （市民）公共施設の管理運営についての問題意識の共有

9 所管部の総括

- ・公共施設の効果的な管理運営には、市民の理解が欠かせないことから、事業内容の丁寧な周知が必要である。
- ・公共施設等マネジメント実施計画に基づいた改修等を推進するために、庁内の横断的な調整と併せて、公共施設マネジメント基金の有効な運用が必要である。
- ・公共施設等マネジメント実施計画(第2期)策定では、1期の課題を踏まえ、より実効性の高い計画とする必要がある。

質問 番号	総合計画コード 項目等	委員からの質問	担当課	担当課からの回答	資料 請求	請求する 資料の内容	委員名
1	111 防災対策の推進	・指標1の備蓄食料確保について、市としてどういう状況の場合に、どういう人に対して、どういう支援・配給を行うのかを明確にし、もっと周知する必要があると思いますが、こういったアピール方法を考えていますか。	危機管理室	備蓄食料を含めた防災に関する啓発については、ホームページやハザードマップ、防災展等で実施していますが、今年度は防災フェアで備蓄食料に関する啓発を実施する計画となっています。	-		緑川委員
2	111 防災対策の推進	「個別避難計画作成支援者に対する謝金を創設」とありますが、どのようなものなのか具体的に教えてください。	危機管理室	避難行動要支援者台帳の作成を補助していただけた場合に、1件の作成補助につき7,000円の謝金をお支払いするものです。	-		吉田委員
3	113 消防体制の充実	・昨年度の委員会で「予備自衛官のような体制を消防団でも考えた方が良いのでは。」との意見が出ましたが、そういった事も含め消防団に協力する人を増やすような取り組みは考えていますか。 ・現在の消防団の名称を地域名に変更することは出来ないのですか。 (例)第1分団⇒膝折分団	危機管理室	消防団の啓発、団員募集については、出初め式や防災展、防災フェアでの活動等を通して実施していきます。 体制の変更や分団の名称変更等は、消防団本部とも相談しながら、調査研究していきます。	-		緑川委員
4	121 防犯のまちづくりの 推進	・市民アンケートに道路照明灯の設置を望む声が多く出ています。毎年、道路照明灯の予算を組み定期的・計画的な設置ができていますのでしょうか。また、資料では総コストが年々減少していますが、令和6年度は約2,700万円 で道路照明灯の設置ができるのでしょうか。	道路整備課	令和3年度から道路照明灯の維持管理については、既存の照明灯をLEDに変えることによる電気料削減分で賄うESCO事業により、事業者に委託しており、その中で、年10箇所程度、照明灯を設置しているところです。今後につきましても皆様から道路照明灯の設置の要望がありましたら、順次対応していきます。	-		中屋委員
5	121 防犯のまちづくりの 推進	防犯パトロールカーの運行回数・時間帯を教えてください。	危機管理室	青色防犯パトロールカーの運行回数・時間帯については、市役所の開庁日の午後2時から午後10時まで運行しており、令和6年度は243回の運行実績となっています。	-		吉田委員
6	122 消費者の自立支援の 充実	・「7 今後の展開」「9 所管部の総括」ともに「消費生活相談員のスキルアップ」との記載がありますが、スキルアップのためにどのような手段をとっているのですか。	地域づくり支援課	国民生活センター、埼玉県、日本消費者協会などが実施する研修に参加し、知識蓄積と相談技能向上を図っています。	-		緑川委員
7	122 消費者の自立支援の 充実	消費生活センターへの相談は、休日や夜間などのイレギュラーな開設日を設ける試みはされているのでしょうか。	地域づくり支援課	国民生活センターや埼玉県消費生活支援センターなどにおいて、休日に相談窓口が設けられていることもあり、現状、市で休日等に相談窓口を設ける予定はありません。	-		吉田委員

質問 番号	総合計画コード 項目等	委員からの質問	担当課	担当課からの回答	資料 請求	請求する 資料の内容	委員名
8	232 自立のためのサービ スの確立	今回の議論の中で一番コストをかけている介護保険給付事業ですが、R4から毎年6%～7%上昇が続けています。この理由は高齢者の増加と考えますが、その他にも理由はあるのでしょうか？ また上昇は今後も続くものと予想しますが、何年でピークアウトするのか、その時の額はどのくらいと見積もっているのでしょうか？	長寿はつらつ課	介護保険給付費が増加している理由は、そのほとんどが高齢者人口の増加によるものですが、介護保険の報酬改定に伴い事業者への報酬単価が増加したことも一部要因となっています。 また、国立社会保障・人口問題研究所の推計によりますと、日本全体における高齢者人口は令和22年(2040年)から令和25年(2043年)にかけてピークを迎えると予想されていますが、同研究所の本市に対する予測では、令和32年にかけても増加し続ける予測となっています。 なお、本市の介護給付費については、現時点では令和22年度の見込額となりますが、約117億円となると予測しています。	あり	介護給付費事業の内訳詳細	山崎委員
9	234 地域包括ケアシステム の推進	・「5 施策構成事務事業の優先度評価」の地域ケア会議運営事業について、コストの内訳を教えてください。	長寿はつらつ課	令和6年度の事業費は、医師・歯科医師などへのアドバイザー謝金のほか郵便料と地域包括支援センターへの運営委託料が含まれています。 内訳は、報償費1,320千円、役務費22千円、委託料5,040千円のほか、係員4名分の職員人件費6,342千円の合計12,724千円となります。	あり	地域ケア会議運営事業のコストの内訳がわかる資料	緑川委員
10	313 質の高い教育を支える教育環境の整備充 実	・「4 必要性」に「特認校制度は第五中学校の活性化のために継続する必要がある」との記載がありますが、非常に違和感があります。 ①特認校制度は生徒(中学生)の為の制度ではないのですか。 ②なぜ第五中学校を活性化させる必要があるのですか。	教育管理課	特認校制度は、小規模の学校で学びたい等の理由から、地域の指定された学校ではなく、市内で最も生徒数が少ない朝霞第五中学校への入学を希望する児童・生徒のための制度です。 一般的に、小規模校では、生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすい一方で、集団の中で、多様な考え方に触れたり、切磋琢磨する機会が少なくなりやすいとされています。朝霞第五中学校の活性化は、少人数の利点を活かしつつ、欠点を補い、生徒の成長に資するための方策の一つと認識しています。	-		緑川委員
11	321 生涯学習活動の推進	居場所提供型の放課後子ども教室の概要を教えてください。 また、生涯学習という観点でこの教室で今後何か行なっていく計画はあるのでしょうか。	生涯学習・スポーツ課	・居場所提供型の放課後子ども教室は、児童が放課後や長期休業期間中に学校施設等を利用して過ごすことができる事業です。 ・令和7年度から第六小学校及び第八小学校で開始し、利用時間は放課後から午後5時(冬季期間中は、午後4時30分)まで利用ができ、一日当たりの定員は、各校100人です。 ・今後は地域の方との交流等を検討していく予定ですが、実施時期や詳細内容は未定です。	-		吉田委員

質問 番号	総合計画コード 項目等	委員からの質問	担当課	担当課からの回答	資料 請求	請求する 資料の内容	委員名
12	521 やさしさに配慮した 道づくり	・市民アンケートに数多くの歩道整備の要望が出ていま す。防犯のまちづくりの推進と同様、総コストが年々減少 していますが、多くの市民の声から老朽化した道路・歩道 の調査や改修工事を進めることはできるのでしょうか。	道路整備課	歩道整備や老朽化した道路の改修などについては、計画を策定し、優先順位をつけて実 施しているところです。 しかしながらご指摘の通り、充てられる予算も限られており、すべてに対応していくこと は難しいことから、改めて、市内の道路状況を確認し、より危険な箇所等を的確に把握し たうえで、そうした場所を優先的に対応していくことで考えています。また財源の確保に ついては、国庫補助金の有効活用など、引き続き検討していきたいと思います。	-		中屋委員
13	521 やさしさに配慮した 道づくり	・以前、「朝霞駅・市役所間」の一方通行試行があったと思 いますが、その後の検証や計画等はどのようになっていますか。また、市民アンケートに数多く要望のある道路歩 道の整備について、交通量を勘案して一方通行道を増や し、安心できる歩道を作れないでしょうか。	まちづくり推 進課	朝霞駅南口の駅前通りについては、令和4年11月に地元自治会・商店会長から提出さ れた要望書の内容を実現するため、令和5年7月に地元自治会・商店会、関係行政機関、 埼玉大学、交通事業者などで構成する「朝霞駅南口周辺地区交通安全対策協議会」を設 置し、ワークショップ、交差点ハンプの社会実験、地元との意見交換会などを経て、令和7 年3月に基本構想を策定しました。 今後においても本協議会の枠組みを生かし、地元の皆様と意見交換を行いながら、交 通安全対策を推進していきます。 また、他の路線における一方通行化については、地元住民のご理解・ご協力が不可欠と なることから、朝霞駅南口駅前通りのように、地元で合意形成がなされた場合には具体 的な検討を行うことが可能となります。	-		中屋委員
14	523 良好な交通環境づく り	市内循環バスの年間利用者は、ここ3年で約38万人と なっており、R7の目標人数32万人を超えた良好な水準 にあります。一方で、バス運行事業者には経費の助成を 行っており、運行事業者が営業的に自走出来ない状況 であると読み取れます。そこで、営業的に自走するために 必要な年間利用者数をご回答ください。	まちづくり推 進課	市内循環バスの利用人数については、コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に 大きく減少したものの、コロナの終息以降は増加傾向にあり、令和5年度の利用実績は3 86,520人となりました。 また、市内循環バスの運行については、運行経費から運賃収入を差しひいた赤字分を補 填しており、令和5年度の補償額は72,586,120円、収支率は41.6パーセントとなっ ています。仮に黒字運行となると、現時点における単価での概算となりますが、約2倍から 3倍の利用者数が必要となると想定しています。	-		山崎委員
15	523 良好な交通環境づく り	「既存バス路線の維持に向けて注力していくことが重要 となっている」とあり、そのためには「運転手不足の解消」 だったり、「赤字を補助すること」だったり、バスには複 数の課題があると理解しています。そうであれば、ライド シェアを出来るようにしてバスに頼らない交通環境づく りというのも一案と考えますが、市としてライドシェアの 交通機関に対する認識をご回答ください。	まちづくり推 進課	日本版ライドシェアについては、バスやタクシーなどによる公共交通が十分に提供され ていない地域において、タクシー会社の管理の下で、自家用車・一般ドライバーを活用し た運送サービスで、地域住民の移動の足の確保につながるものであると認識していま す。 その一方で、運転する方がタクシーとは異なり、第二種運転免許を所有し、専門的な知 識や技術を所有しているわけではないため、安全性に関する懸念があること、既存のタク シー会社やバス会社の収益性が低下し、経営を圧迫するなどの可能性も考えられること から、慎重な検討が必要であると考えています。	-		山崎委員
16	551 上水道の整備・充実	上水道の基幹管路の耐震化率はR6年度で59.2%との ことですが、100%完了予定は何年でしょうか？また、 課題として工事費用の高騰化を上げており、安価な管種 を取り入れられるか研究する必要があるとのことですが、研究のための費用は計上されているのかと、誰がど う判断するのかご回答ください。	水道施設課	令和6年度末現在の基幹管路の耐震化率は、58.8パーセントです。耐震化事業につい ては、平成23年に策定した「朝霞市水道事業耐震化計画」に基づき、事業を行っていま す。計画期間は平成24年度から令和13年度までの20年間とし、計画期間内の完了を目 指し取り組んでいます。また、安価な管種の検討については、軽量で耐震性や耐久性に優 れていると言われているポリエチレン管について、導入実績のある水道事業体や日本水 道協会などの意見を踏まえ、検討したいと考えています。	-		山崎委員

質問番号	総合計画コード 項目等	委員からの質問	担当課	担当課からの回答	資料 請求	請求する 資料の内容	委員名
17	552 公共下水道の整備	八潮市で起きた下水道の老朽化を起因とした大規模な道路陥没事故があり、下水道で不具合が起きると想定外の被害を生むことが認識されました。朝霞市での下水が原因での道路陥没などの類似事象の有無と、下水道の耐用年数に近いものは下水道全体の長さの何%程度あるのかご回答ください。	下水道施設課	市内において、下水道管の破損に起因する、同様の道路陥没事象は確認されていません。 市内の下水道管路の総延長は、令和6年度末時点で約446キロメートルあり、そのうち耐用年数を超えた管路は約20キロメートル、割合にして約4パーセント程度です。なお、下水道管の耐用年数は50年となっています。	-		山崎委員
18	622 男女平等が実感できる生活の実現	①「1 実施内容」が新規も継続も女性に対する事業ばかりですが、これで男女平等と言えるのですか。 ②男女にあてはまらない方への支援は、どのように行っているのですか。	人権庶務課	①男女平等の推進については、女性が活躍できる法整備は進んでいるものの、性別による固定的な役割分業意識やそれに基づく社会慣行など依然として根強く存在していること、女性センターの相談業務において女性への暴力に関する様々な相談が寄せられ、引き続き支援が必要な女性がいることなどが課題と認識していますので、女性支援はこれまでの基本的な方針を継続して取り組んでいきたいと考えています。 一方で、女性センターに寄せられる御意見などからも、男性に対する支援の必要性とその重要性が高まっていることを認識しています。令和6年度には、女性センターの名称について、今後の検討の参考とするため、男女平等推進審議会において御意見を伺ったほか、あさか女と男セミナーでは「男性の生きづらさと男女共同参画」をテーマとして講演を開催するなどしています。 今後も、事業に関する評価や皆様からの御意見、社会情勢なども踏まえながら取り組んでいきたいと考えています。 ②多様な性のあり方についての理解を広めるための啓発の推進に向けて、セミナーやパネル展の開催、リーフレットの作成・配布などに取り組んでいるほか、LGBTQ等の当事者への配慮に関する取組として、令和5年度より「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」を開始するとともに、全庁に対してLGBTQ等の当事者の生きづらさを理解し事務事業を行う上での配慮を呼びかけるなどしています。	-		緑川委員

委員の関心・興味があるテーマやキーワード ※ 会議の中で話題として取り上げる可能性があります。

テーマ・キーワード	委員名
街灯の設置	中屋委員
歩道の整備	中屋委員、緑川委員
防犯カメラの設置	吉田委員
大雨への対策	吉田委員
安心安全な歩道整備	中屋委員
自転車の交通ルール周知	吉田委員
インフラ整備	山崎委員

		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度 見込	令和 2 2 年度 見込
介護給付	居宅介護	3,252,595,982	3,518,418,545	3,807,713,405	5,249,689,000
	地域密着型介護	879,266,459	903,206,511	954,488,206	1,770,469,000
	施設介護	2,255,230,535	2,324,168,057	2,283,461,846	3,806,604,000
	居宅介護計画	368,247,102	380,656,203	408,801,069	584,445,000
	住宅改修	15,491,095	17,410,928	13,835,691	28,808,000
	福祉用具	7,805,292	8,737,423	10,642,504	11,549,000
介護予防	介護予防	128,185,519	128,948,913	131,868,922	179,973,000
	地域密着型介護予防	13,381,506	14,767,679	11,448,792	18,699,000
	介護予防計画	25,269,735	26,475,088	29,966,376	34,423,000
	住宅改修	10,809,762	9,030,754	8,442,877	10,394,000
	福祉用具	1,974,827	2,562,420	2,979,236	3,091,000
合計		6,958,257,814	7,334,382,521	7,663,648,924	11,698,144,000

備考 1 令和 6 年度については、令和 7 年 4 月 3 0 日現在の数値となります。

2 令和 2 2 年度については、第 9 期朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画掲載の数値となります。

○地域ケア会議運営事業 内訳

単位：千円

		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度 見込	備考
事業費	報償費	1,020	350	1,320	医師等会議出席者謝金
	役務費	—	—	22	会議資料郵便代
	委託料	2,880	2,880	5,040	地域包括支援センター業務委託料
人件費		7,020	6,324	6,342	
合計		10,920	9,554	12,724	

令和6年度 第2回市政モニターアンケート 集計結果



© 朝霞市ぽぽたん

朝霞市 市政情報課

※構成比率は、回答者数を基数として百分率(%)で表示しています。百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の場合は、構成比率の合計が100%を超える場合があります。

※回答者数よりも回答数が多い場合があります。

※自由記述の表現はできる限り原文のまま記載していますが、一部表現を修正しているところがあります。

●テーマ “暮らしつづけたいまち”って、どのようなまちを想像しますか？

第5次朝霞市総合計画では、市の将来像(ビジョン)を「私が 暮らしつづけたいまち 朝霞」とし、一人一人が「暮らしつづけたい」と思えるまちを目指して、市では次の4つの基本概念(コンセプト)に基づいた施策に取り組んでいます。

そこで、皆さんの暮らしの中で以下の4つのコンセプトが実感できているかをお聞きし、このアンケートの結果と市が実施した施策とを継続して比較していくことで、今後のまちづくりに役立てていきたいと考えています。

安全・安心なまち
問4～問14

子育てがしやすいまち
問15～問20

つながりのある元気なまち
問21～問32

自然・環境に恵まれたまち
問33～問41

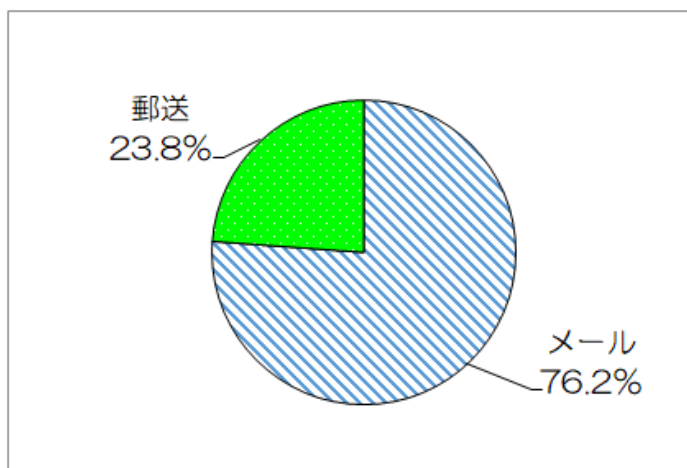
●実施期間 令和7年1月20日(月)から令和7年2月5日(水)まで

●調査対象者 朝霞市市政モニター 419名

●回答者数 260名(回答率 62.1%)

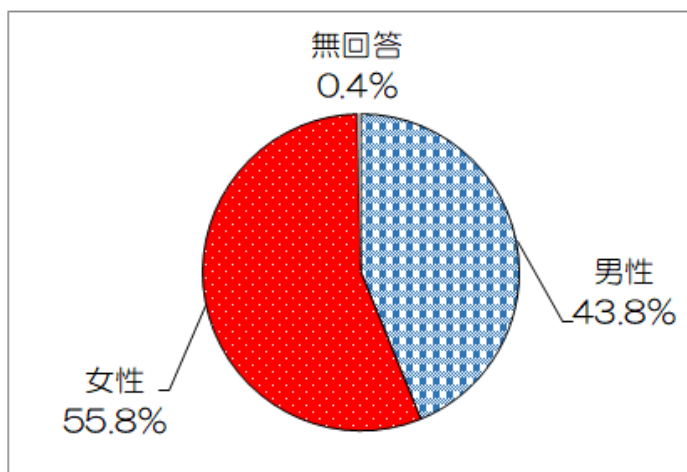
●回答方法

回答方法	人数	構成比(%)
郵送	62	23.8
メール	198	76.2



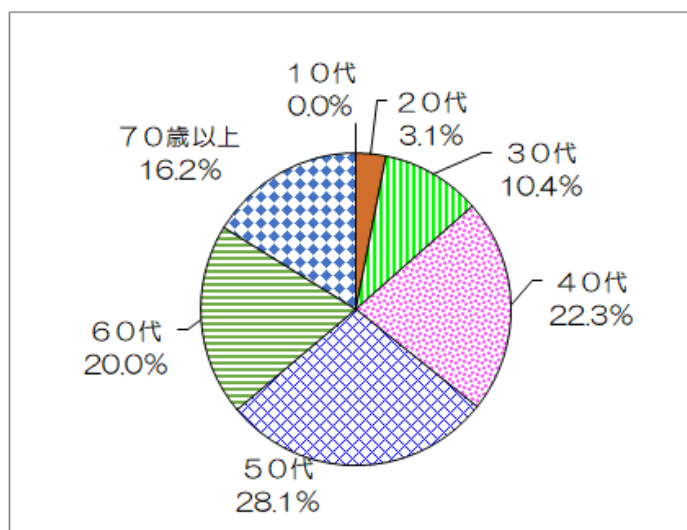
問1. あなたの性別を教えてください。

性別	人数	構成比(%)
男性	114	43.8
女性	145	55.8
無回答	1	0.4



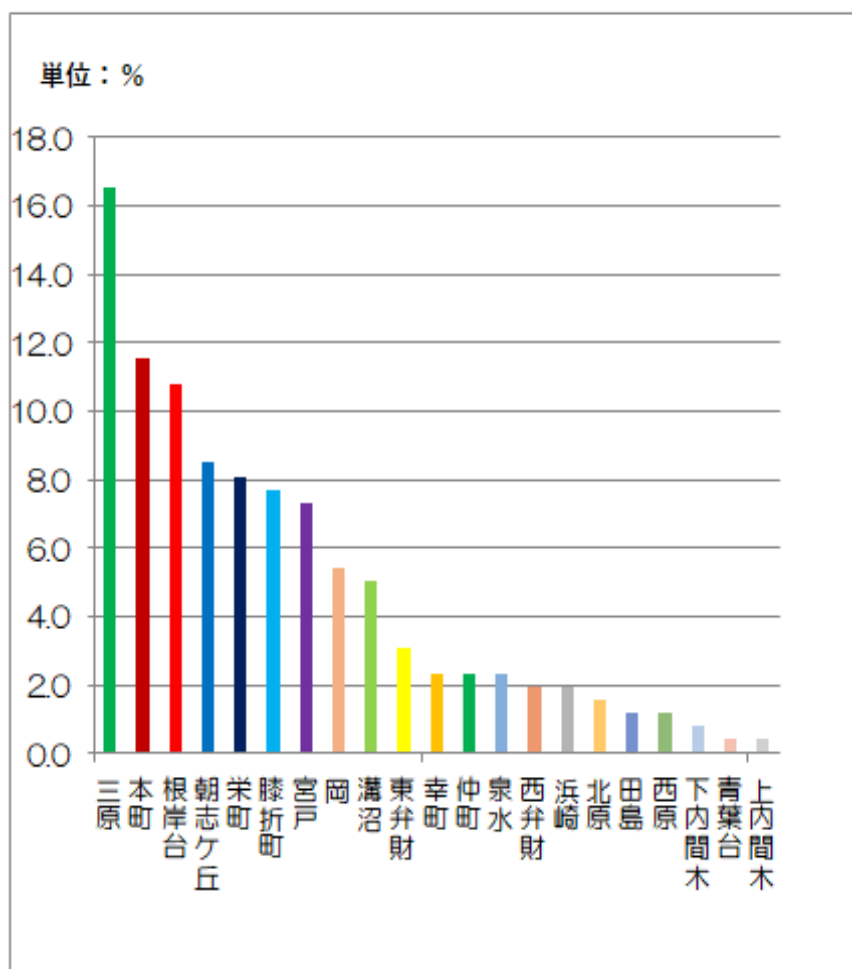
問2. あなたの年齢を教えてください。

年代	人数	構成比(%)
10代	0	0.0
20代	8	3.1
30代	27	10.4
40代	58	22.3
50代	73	28.1
60代	52	20.0
70歳以上	42	16.2



問3. お住まいの地域を教えてください。

地域	人数	構成比(%)
三原	43	16.5
本町	30	11.5
根岸台	28	10.8
朝志ヶ丘	22	8.5
栄町	21	8.1
膝折町	20	7.7
宮戸	19	7.3
岡	14	5.4
溝沼	13	5.0
東弁財	8	3.1
幸町	6	2.3
仲町	6	2.3
泉水	6	2.3
西弁財	5	1.9
浜崎	5	1.9
北原	4	1.5
田島	3	1.2
西原	3	1.2
下内間木	2	0.8
青葉台	1	0.4
上内間木	1	0.4



安全・安心なまち(問4～問14)

問4.『誰もが歩きやすい歩道の整備や生活道路の安全確保』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・通学路や交差点の安全対策
- ・道路照明灯の設置 ・幹線道路網の整備 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	10	3.8
どちらかといえば満足	70	26.9
どちらかといえば不満	92	35.4
不満	79	30.4
わからない	8	3.1
無回答	1	0.4



スムーズ横断歩道の設置



市道20号線 歩道築造工事
(根岸台二丁目交差点 付近)

問5.『ユニバーサルデザインに配慮した公共施設の整備』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・公共施設の改修(トイレ洋式化、オストメイト設備の設置、段差解消、授乳室の設置、点字付案内板の設置)など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	17	6.5
どちらかといえば満足	114	43.8
どちらかといえば不満	51	19.6
不満	28	10.8
わからない	50	19.2



図書館本館改修工事での点字付案内板設置

問6.『地震災害時の避難路や緊急輸送路となる幹線道路の整備』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・緊急輸送路(国道254号)につながる観音通線の整備 ・落橋防止対策
- ・北朝霞駅、朝霞台駅、朝霞駅前広場の維持管理 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	14	5.4
どちらかといえば満足	82	31.5
どちらかといえば不満	66	25.4
不満	26	10.0
わからない	72	27.7



整備後の観音通線

問7.『集中豪雨などによる浸水被害の軽減対策』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・雨水管や道路側溝の整備 ・止水板設置への補助
- ・浸水を防ぐための排水機場の維持管理
- ・洪水及び土砂災害ハザードマップの作成 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	13	5.0
どちらかといえば満足	79	30.4
どちらかといえば不満	76	29.2
不満	32	12.3
わからない	60	23.1



雨水管布設工事



浜崎排水機場

問8.『上下水道などのインフラ、公共施設などの計画的な耐震化・老朽化対策』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・橋梁の落橋防止対策 ・導水管、配水管、給水管、消火栓の維持
- ・武道館耐震等改修工事 ・下水道管の老朽化対策 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	15	5.8
どちらかといえば満足	92	35.4
どちらかといえば不満	50	19.2
不満	17	6.5
わからない	86	33.1



水道管耐震化工事



武道館耐震等改修工事

問9.『防災、減災のための自助、共助、公助による地域防災計画の推進』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・町内会等での防災訓練実施
- ・災害用備蓄食料の整備 ・防災フェアの開催
- ・避難所用資機材の整備 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	11	4.2
どちらかといえば満足	81	31.2
どちらかといえば不満	67	25.8
不満	14	5.4
わからない	87	33.5



防災フェア



避難所開設のイメージ

問 10.『市民・地域の主体的な防犯・防災活動や交通安全活動などの支援』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・防犯パトロールの実施 ・交通安全運動による啓発
- ・防犯カメラ設置への支援 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	19	7.3
どちらかといえば満足	109	41.9
どちらかといえば不満	65	25.0
不満	23	8.8
わからない	44	16.9



防犯パトロール



交通安全教室

問 11.『警察や消防などの関係機関、地域の事業者との連携』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・警察との連携による青色防犯パトロールカー巡回 ・防火水槽、車両の維持管理
- ・朝霞警察署や埼玉県南西部消防局との連携 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	22	8.5
どちらかといえば満足	107	41.2
どちらかといえば不満	32	12.3
不満	22	8.5
わからない	77	29.6



朝霞市消防団
第5分団

問 12.『社会的弱者といわれる子ども、高齢者、障害のある人、低所得者などが地域で自立した生活を営むために必要な支援』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・地域包括支援センターでの総合相談、情報提供 ・手話通訳者の派遣
- ・子育て支援センターでの子育て相談、情報提供 ・生活困窮世帯の中・高校生を対象とした学習支援 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	12	4.6
どちらかといえば満足	78	30.0
どちらかといえば不満	47	18.1
不満	19	7.3
わからない	104	40.0



障害者芸術体験教室

問 13.『市民が安心して暮らせるための社会保障制度の適正な運営』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・介護保険による介護サービスの給付
- ・特定健康診査、特定保健指導の実施 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	24	9.2
どちらかといえば満足	97	37.3
どちらかといえば不満	46	17.7
不満	16	6.2
わからない	77	29.6

問 14.「安全・安心なまち」(問4～13)について、御意見などがありましたら、記入してください。

- 北朝霞駅前(ニンジンモニュメントがある方)にイスを設置するのはいいと思いますが、イスに座ったり、イスの周辺で相変わらず喫煙する方がいて不快です。(20代 男性)
- 道が広くなったり街灯が増えた道もありますが、わたしの住んでいる近くではまだ狭くて暗い道が多いです。その道を広がって歩く学生もいるため、危険だと感じることがあります。(20代 女性)
- 朝志ヶ丘の辺の歩道が狭すぎてベビーカーが走りづらい。いつか事故が発生してもおかしく無いと思います。あと朝霞台駅周辺の道路も建物もボロボロ。禁煙地区にも関わらずタバコを吸っているおじさんが毎日います。喫煙の罰則強化やパトロールするようお願いします。(30代 男性)
- こどもの医療費の無償化、教育費の補助、公園の整備、保健センターの改築、雨水の改修、古家の取り壊し、通学路の安全対策。(30代 男性)
- 歩道整備や生活道路の安全確保については、現時点で危険性がある、もしくは整備の必要がある箇所がどれくらいあり、いつまでに改善していく予定なのかをわかりやすく提示してほしいです。東弁財、溝沼、泉水あたりを主な生活圏としていますが、街灯が少ないため暗く、歩道も狭いので道路整備基本計画の遂行に期待します。公共施設やインフラの防災対策、更新工事などは積極的に行ってほしいです。これについても工事が必要な数と完了した数を提示してほしいです。防犯パトロールについてはボランティアや青色パトカーでは少し心もとないので、赤いランプの本物パトカーの巡回を増やしてほしいです。(30代 男性)
- ・歩道の整備について、朝霞駅～市役所間の道は(難しいとは思うが)歩道を確保してほしい。
・防災情報に日常生活で触れる機会がないため、いざという時にどうすればよいかわからないと思う。(30代 男性)
- 参考画像を貼っていただいているが、場所の分からない場所が多数を占めており、参考にならなかった。設問の取り組みに関して、日々の中で特に感じることはないものが多く、判断出来なかった。(30代 男性)
- 居住地域では、道路もボコボコで道は曲りくねり歩道と車道は路側帯での区分けのみが多いです。車椅子やベビーカー利用者や、小さな子ども連れで歩くには危険を感じることも多く、とても暮らしやすい街並みとは思えません。駅や市役所前のメインストリートばかりに注力して、見栄っ張りの中身の無いハリボテの市政だと思います。(30代 女性)

- 八潮市での陥没事件を受け、市民生活への不安が増しました。下水管など地下での事は全く目に入らず、わからないので、どうか税金をしっかりとけて、点検修理していただきたいと思います。防犯パトロールの方や防犯カーは日々、お見かけし、地域のこどもたちの安全を見守っていただいていることに感謝です。こどもを一人歩きさせたくはありませんが、事情により、そうせざるを得ない事もあるため、安心感につながります。いつもありがとうございます。(30代 女性)
- 生活圏内で歩道が狭い道が多いため歩いていて怖いと思うことがある。(30代 女性)
- 防犯、防災についての取り組みをよく知らないことがわかりました。広報など、興味をもって見てみようと思いました。(30代 女性)
- ・UR 浜崎団地側の公道が凹凸でベビーカーでは歩きにくい。
・アンジュこども園側の歩道が狭い、歩道の傾斜がありベビーカーで歩きにくい。
・横断歩道の少しの段差でもベビーカーがスムーズに歩けない。(30代 女性)
- ずっと遊具が修理がされない公園があります。(黄色いテープが貼られたまま)良いところだけピックアップされてやってるアピールをされても、と正直思いました。車がカーブミラーに突っ込んで曲がってしまい、修理されるかと思いきやかなり長い間修理がされず、ヒヤヒヤしながら車を運転していた道路もあります。そういうスピード感はゆるめなのでしょうか。(30代 女性)
- 歩道がない。歩道が狭い。(30代 女性)
- わからないばかりですみません。色々な対応をされていること本アンケートにて知りました。引き続きお願いします。最近よくイベントやってるなとは思ってます。(30代 女性)
- 宮戸に住んでいますが、浄水場裏の道路はとても狭く、自転車の逆走は日常茶飯事です。また信号のない横断歩道では止まらない車も多く、なかなか子連れで安心して歩ける環境ではないと感じています。北朝霞駅付近に比べると、朝霞駅方面は遊歩道の整備やバリアフリー化などが進んでおり、羨ましく思います。北朝霞駅のエレベーターもいつ利用できるかと完成を待ち侘びています。(30代 女性)
- 交通量が多いのに歩道が確保されていない道路や、街灯が少なく夜間かなり暗い道路が生活圏に多くあります。市でどの程度把握されているのか不明ですが、少しずつでも毎年予算化し、通学路を優先して改善してほしいです。インフラの老朽化対策や浸水被害の対策は、どのような計画なのかを目にする機会がなく、実感がありません。社会保障制度や支援の制度は、困っている方がアクセスしやすいよう、とにかくわかりやすく常に発信し続けることを希望します。(30代 女性)
- 問 7、8、9、11 について、現状を把握できていないので判断ができない。(30代 女性)
- 問 4 幹線道路の歩道が無いまたは狭い所が多いので、整備してほしいと思います。(40代 男性)
- 朝霞駅前からの二本松通りの道路が危険すぎる。早急に対応してください。(40代 男性)
- 取り組みについて、もっと一般の市民に知ってもらえるように。普通に生活していると知らない事が多くあると思います。(40代 男性)
- とりあえず日々の生活の中では、歩道の狭さを感じるが多いです。なかなか改善も難しいとは思ってますが。(40代 男性)
- 朝霞はかなり安全・安心なまちだと思っていますが、今後どんどん外国人が増えていった時、今の治安を保てるのか懸念しています。(40代 男性)
- 宮戸橋通りを見て安全・安心と思う住民は居ないと思う。(40代 男性)

- 自転車道がとりあえず作りましたのような中途半端なものになっており、結局は歩道を自転車が走行して危険な状態になっている。交差点の拡張工事が用地取得で進んでおらず、いつまでも整備が進まない。通学路の信号機(押しボタン)が変わらないようで、変わらないと考えている車は変わっても気付かず通過、歩行者は最初から諦めて信号無視するため危険。近くに大きい交差点があるのでそこと連動するような運用にするなど何かしら対策をしてもらいたい。ルールを守っている小学生の前で起こっている事象であり、放置すれば教育上もよくないと感じる。(40代 男性)
- 道路や広場の整備が不十分に感じる。特に朝霞台駅周辺の整備が朝霞駅に比べると遅れている。ウォーカブルなまちを標榜しているが、駅周辺ですら歩道上の側溝の蓋に隙間があり、躓きそうになるし上を歩くと音がする。車道と歩道の段差も大きい。これで歩くことを推奨する街といえるか。歩道上の側溝が存在している理由がいまいちわからないので無くしてほしい。また、車道の端に土がたまり雑草が生い茂っている部分がある。自転車で車道の端を走行していると危険を覚えるので、春秋など定期的に土を取り除く作業を行ってほしい。水害に関しては黒目川通りの水道橋付近の交差点が昨年大雨で水没し、車が2台ほど突っ込み立往生していた。周辺から流れ込む雨水がここに集中しないようにバイパスなどを作るとともに、大雨時水没注意などの看板を付けられないか。また、三原のあたりも水没していた。新座市との境目なのでどちらが対策するかという話になるのかもしれないが、県に間に入ってもらうなどして水害対策を進めてほしい。(40代 男性)
- 取り組みの成果が分からないというのが正直なところです。(40代 男性)
- 道路交通法の改定に伴い自転車の走行についてのルールが変わりましたが道が狭く、実際の運用にギャップがあります。一朝一夕に対応は難しいと思いますが事故を起こさないような取り組みを市民と一緒に考えていってほしいです。(40代 男性)
- 朝霞台駅前のユニバーサルデザインが遅れている。(車椅子やベビーカーで生活に、難がある) また、駅前の自転車、自動車が危険。(マナー啓蒙、信号無い交差点でのバンプ設置など危険の除去をお願いしたい)(40代 男性)
- 道路(特に歩道)のガタつき、老朽がひどく市内を自転車で走っていて(通勤路のため週5日、往復利用)で1ヶ月で2回もパンクしてしまったり、同僚が自転車チェーンが外れてしまったりするのを見て、これがベビーカーや車椅子ならばもっと不便さを感じていると思います。体に弱いところがある人ほど道路のガタつき、段差に生活の不便さを感じていると思います。歩道も含め(市役所前の通りだけでなく、他の場所も)整備していただきたいです。また、街灯が少なく、暗くて見えにくい、危ないなど感じる場所があります。(40代 女性)
- 歩道・道路の整備は、住民のニーズに全く追いついていない。橋・歩道橋も老朽化が著しく、利用をためらうことが多い。問5については、まずは市役所のトイレを改修してほしい。今時、和式トイレって…驚きを通り越してショックでした。市民はもちろん、市役所職員の皆様に対し、あまりにもひどいと思います。また「共助」が、町内会・自治会組織に偏っている現状は、今後維持ができません。マンション・アパート住まいの方等、未加入の市民へはどう対応するのでしょうか。町内会の防犯パトロールは、防犯とは関係ない時間に行っており、有効とは思えません。「防犯意識」のためだけだとすれば、役員の負担が重すぎます。(40代 女性)
- 歩道の整備が人口増加に対して全く追いついていない。例えば、市役所から本町隧道までの区間、溝沼のマルエツから塩味病院～南朝霞公民館～消防署までの区間、東朝霞保育園前、根岸台4丁目7～8あたり(根岸台幼稚園～第4分団区間)、根岸台4丁目2号(カインズ～第4分団区間)など、車の往来が多く、歩行者や自転車の通行量も多い道路を通行する際は、常にヒヤヒヤする。安心してベビーカーを押して歩けるよう拡幅、車は20キロ規制やガードレール設置等、早急に対策に取り組むをお願い申し上げます。上記区間で、実際に車との接触事故も起きています。(40代 女性)

- 道が狭い。(40代 女性)
- ・宮戸、朝志ヶ丘のあたりの道路、歩道が狭すぎる。すれちがうことができない。
・地域防災計画について取り組み内容が届いていない。(40代 女性)
- 歩道がない、もしくは狭い場所があり、危険。2024 年夏に朝霞 3 中第 2 グラウンド横の道路が冠水して、怖い思いをした。(40代 女性)
- 雨の日に車道の水はけが非常に悪く、歩道を歩いていても車が通るたびに水がかかる。朝志ヶ丘流通センターの通り、アコレ前の通り、北朝霞公民館の前からイイダにかけて。北朝霞公民館をなぜ建て替えなかったのか疑問に思う。新しくして、災害があったときに利用できる施設にするといい。(40代 女性)
- もっと広報活動をしてほしい。何をどうしたか、広く市民に知らせる手段があまりない。朝霞駅南口のロータリーをもっと改善してほしい。迎いの乗用車の列でバスの通行の妨げになっていて危険。(40代 女性)
- 八潮市の陥没事故のニュースを見て、朝霞市は大丈夫なのだろうかと不安になりました。早急に点検をお願いしたく思います。(40代 女性)
- 歩道内の起伏が激しいところも多く、三原地区に市のバスが通っていないのが不満です。(40代 女性)
- 公共の道路に関しては、整備されているところとそうでない場所の差が激し過ぎます。不公平と感じます。市で取り組まれている防犯、防災対策は目にした事がないので分かりません。(40代 女性)
- いつまでも進まない浄水場西の交差点付近の工事。死亡事故も起きている、こども達が通学路として多く通る交差点です。右左折が多く、日常的にドキッとする場面に遭遇します。これの、どこが安全ですか？角の焼肉店側から浄水場側へ渡る際は死角になる為、本当に危ないです。一刻も早くなんとかしていただきたいです。北朝霞駅から浄水場へ向かう道、路上駐車が多く自転車通行帯が塞がれており、自転車が車道側へ飛び出して通行する羽目になり、とても危険です。市役所近辺ばかり整備して「安心安全なまち」をうたうのですか？北朝霞・朝霞台側は蚊帳の外？イルミネーションより先にやる事ありますよね？(40代 女性)
- ・歩道が整備されていても、一時停止などを怠って突っ込んでくる自転車がいたら歩きにくく危ない。車同様、自転車を使う人にルールを学ばせる機会を作るべき。
・今は癌を患いながらも働く社会になってきている。難病患者(癌など)に対する給付支援にももっと力を入れてほしい。(ウィッグ代の補助など)(40代 女性)
- 場所によって道路照明灯が少ないと感じることがある。(40代 女性)
- 乳児を育てていますが、駅や施設での授乳やおむつ替えスペースがなく困ることがあります。(40代 女性)
- 志木市との境目近くに住む者です。学校、駅、医療機関、公共施設が集中する中心部は、上記施設の充実や改善が図られていると感じます。朝霞市末端のエリアは、道路も薄暗く路上整備が不十分な箇所が多いです。朝霞市の志木駅付近は、新座市や志木市の志木駅周辺環境に比べて、人や車の往来も多いに関わらず、環境整備に劣ると感じます。犯罪面ではそれが利点につながるのか、マンション内への不法侵入や周辺での騒音・落書きなども近年発生し、治安の悪化に繋がっていて心配です。人口集中エリア、利用者多数施設が優先になるのは理解しますが、居住エリアの差が無い、朝霞市民全体のバランスの取れた安心・安全をご検討いただきたいです。(40代 女性)
- 歩道の整備をもっとすすめてほしい。(40代 女性)

- 歩いていると夜は暗くて怖い道、車に乗っていると狭くてガードレールや対向車にぶつかりそうな道、川が増水すると車が通れなくなる橋など、まだまだ安全ではない場所もたくさん思い浮かんでしまうのが正直なところです。(40代 女性)
- 六道地蔵からスシローまでの道の歩道が狭く、通学路なども車の運転手頼みのところが多い。ここで車が突っ込んできたら逃げ場がないと思う箇所が減ってほしい。新しく建った家が道路のギリギリまであったりするとガッカリする。区画整理するのは大変だと思うが何か良い方法はないものかと思っている。小学校のセキュリティが甘く、誰でも入り放題なのが怖い。(40代 女性)
- 通学路で、道が狭いのにスピードを出し過ぎている車がいるのが心配です。スピードを下げ通るように、何かしらの対策をしてほしい。(40代 女性)
- 一部道路を除いてとにかく歩道が狭いという印象です。その狭い歩道も側溝の段差で自転車が通るには不安があり、車道に自転車がでてきて車が詰まる、と言う場面を幾度となく見えています。交通安全、それを実現する道づくりにも力を入れていただきたいです。(40代 女性)
- 歩道が狭い場所が多く、何度か怖い思いをしました。歩道、自転車用、車道と分かれている道を増やしてほしいです。街灯が少なく、夜道も怖いです。こどもの塾の帰り等、このご時世なので住宅街でも、もっと街灯を増やしてほしいです。(40代 女性)
- ・城山通りに自転車専用レーンができたが、無理やり設けた感じがして逆に危ない。安全に走れる気がしない。
・夜間街灯が不十分な地域がある。
・無灯火の自転車の取り締まりをしてほしい。(40代 女性)
- 道路の段差が転倒につながる。ゲリラ豪雨の排水による床上浸水は下水道老朽化対策。北朝霞交番の警察官が不在。(50代 男性)
- 内間木橋がなくなったことによる避難道整備は着実に進んでおり、市(道路整備課)には感謝している。しかし、国道 254 号への枝道＝生活道路の整備は計画すらなされておらず、県(県土整備)には憤りを感じる。(50代 男性)
- ・近年人口及び商業施設の増加によって幹線道路でない道路の交通量が増えており、信号機、横断歩道の設置をしたほうがよいと思われる部分が多々あります。
・第一種住居専用地域内など店舗などの少ない住宅地の街灯を増やしたほうがよいと思われます。(50代 男性)
- 自転車のマナーが酷い。逆走、歩道走行(歩道走行の逆走も)。特にアシスト付きの自転車が凄い速度で走行している。ルールを知らない者が多いと思われ何らかの対策が必要。雨水対策として大雨でマンホールから水が噴き出ていることもあり、これも対策を講じないとここ数年の雨の対応は必要不可欠と思われる。(50代 男性)
- 幅員のある車道では、車いすや足の不自由な方が往来しやすい歩道などの整備を進めてほしいと思います。また、花壇やフラワーボックスが設置してある場所には、きちんと管理する(世話をする)組織作りなど、彩のある綺麗な歩道空間を確保し、震災時の避難路としても安心・安全に歩ける道の整備を進めていただきたいと思います。(50代 男性)
- 自然災害が甚大化、頻繁化しているので、想定外とならないよう短いスパンで対策の更新を検討してほしい。(50代 男性)
- 歩道の整備、防犯対策、防犯カメラ設置を早急をお願いしたい。(50代 男性)
- 歩道が斜めで歩き難いと感じます。実際荷物カートを持つ高齢者が車道を歩く姿を何度も見かけます。(本町 2 丁目から溝沼 6 丁目の交差点に向う道路)(50代 男性)

- 朝霞駅から志木駅につながる幹線道路の歩道確保が遅れている。(50代 男性)
- 根岸台地区の歩道橋の整備や通学路の拡張がまだまだ不十分に感じる。駅前や人口の多い地区の街灯に比べて郊外の街灯や防犯カメラ等は不十分に感じる。根岸台地区の水害対策には不安がある。様々な施策を実施されているのは知っておりますが、上記のように郊外に対するスピード感が遅いように感じております。優先順位があるのでしょうか、特にこどもの安全、防犯対策は、人目の少ない地域や暗い場所への対処をお願いしたいと思います。(50代 男性)
- こどもが五小に通っていますが、二本松通りのガードレールが無い箇所が多い、五小からホンダに通じる歩道は朝霞台駅方面に向かう自転車が猛スピードで歩道を走っているためこども達が本当に危険です。いつか人身事故があると思いますので要対策です。(50代 男性)
- まちの安全に関して、概ね不満はございません。これからの視点は、将来世代の皆様がいかに快適に過ごせるかだと思います。若い方からのご意見をしっかりと検討して行く事が重要かと思ひます。みんなでよりよきまちを目指して行きたいと思ひます。(50代 男性)
- 急速に進む市街化に対し、道路における安全、具体的には街灯、カーブミラー、こどもの飛び出しの注意喚起や路上凹凸による減速誘導など、旧来のままにされており、結果不足しているところが見られる。今回の設問について、認識していないその取り組みのものが多かった。これら、取り組みを明確に市民に発信する、伝える取り組みを行うことで、有事の際にはその取り組みも生かされるだろうし市民の市政に対する満足度も向上すると考えられる。(50代 男性)
- いろいろな取り組みをしていただいているのですが、実際、目にする機会がないので実感がわきません。いざという時にありがたく思うとは思ひます。安心安全なまちづくりでは、私の住む地域、岡は後回しのイメージがあります。栄えていないので仕方ないでしょうが。(50代 男性)
- 費用対効果の基準がわかりませんので、評価出来ない項目が多くなりました。(50代 男性)
- 「安全・安心」という言葉はどここの行政においても、やたら使用されていて特徴がありません。多くの住民が多種多様に求めるものが違うので対応に苦慮していることと思ひます。もっと朝霞市ならではの特色がある施策を展開してほしいと思ひます。NHK で放映されるような取り組みを！(50代 男性)
- 歩道の整備がまず不満。幅の狭い歩道に自転車が我が物顔に乗り入れし、お散歩カートと鉢合わせするなど、歩道の整備が不十分なら自転車を追い出し、歩行者とお散歩カートやベビーカーを優先にしてほしい。また、市の予算が不足するなら、100 戸以上の大型マンションが企画される際、周辺の建物含めて再開発と一体化、周辺部に車道・歩道の拡幅工事など指導すべき。大型マンションの企画で、車、人の往来が不便にならないようにきちんと指導してほしい。最近、カーナビの進化なのか、今まで車の往来が少なかった脇道でも車の往来が増えている。公共施設、マンションや大型アパートの企画があれば、歩道や道路の拡幅や様々な設備の検討を必ずしてほしい。(50代 男性)
- 防犯カメラが少ない、狭い道や行き止まり歩道無しやいきなり歩道が無くなり反対側に渡れないなどが多い、駅や市役所の近くばかりよくなっている気がする。(50代 男性)
- 普段生活をしている中で朝霞市の具体的な取り組みを知る機会がない。(50代 女性)
- 歩きやすい歩道について、朝霞市の歩道は歩きにくいです。道が狭いところも車が多く、通学路になっていても歩道が狭すぎると思ひます。歩道が突然なくなって歩くところなくなるような場所も多々あります。これは昔からのことで一向に改善されることがありません。朝霞の道路はシンボルロードだけではありません。(50代 女性)
- 歩道のない公道に面した土地に家を新築する時は、必ず歩道をつくっていただきたいです。(50代 女性)

- 問 4 について…三原地区について、車の交通量が多く自転車と歩行者が危ない思いをしている。問 7 について…避難訓練を実施してほしい。(50代 女性)
- 武道館耐震工事、水道管工事等、工事をしている場面に出会えばやっているのだとわかりますが、公共施設等には出向いてみないとわからない。また、生活している上で、パトロールの方々にも出会わないですし、各取り組み内容にふれて、こういうことに取り組んでいるのだとわかりました。(50代 女性)
- 防犯パトロール、防犯カメラ設置の強化をお願いしたいです。(50代 女性)
- 根岸台あたりは道路が曲がりくねって細い。災害時に不安です。(50代 女性)
- 朝霞駅南口付近も最近夜間はよく分からない人が叫んでいたり、たむろしていたりしていることも多いので、交番の前に立つなど警察に働きかけてほしいです。(50代 女性)
- さいか幼稚園前に何十年たっても信号機が設置されない。歩道橋を渡る人は皆無。「平場の月」公開でいわゆる聖地巡礼者も増えると思います。歩行者と住民の安全を真剣に考えて、実態に沿った既設インフラの改善を行ってください。(50代 女性)
- 現状把握が出来ていない質問が多いので回答が難しいです。何処がどのように整備されて改善されているかをもっと広報で周知されていれば印象に残っていて判断できたかも知れませんが。介護については、NHK の番組でヘルパーさんが圧倒的に不足していて必要な所にも派遣してもらえずシステムが破綻している現状を見ました。市としての現状と取り組みを知りたいと思いました。(50代 女性)
- 「どちらかといえば不満」と回答させていただいた背景ですが、市内住宅街などで、夜道が暗い箇所が多く、昨今の犯罪傾向等を考えますと、不安に思うことがございます。特に子育て家庭では、暗くなってから帰路につくこどもが心配です。光熱費等の課題はあるかと思いますが、人感センサー等活用することでコストの工夫をしながら、街灯の設置箇所を増やしていただけると良いなあと思います。(50代 女性)
- 上内間木では、大型トラックが細い道でもたくさん通るためか、道路に穴の空いた箇所が複数あります。また、道路に不法投棄も多くあります。ごみ拾いをして、綺麗にする努力もしていますが、拾ったゴミの処理は大変です。自分で処理できない大きなゴミや分別できないゴミは、放置するしかありません。内間木公園の周りも草だらけで、散歩をしても嫌な気持ちになります。雨がたくさん降るとすぐに水が溢れますが、側溝の掃除はしてもらえないのでしょうか？ 個人でするには、蓋が大変重く、掃除したとして、そのゴミやド口はどうやって処理すれば良いのか分かりません。(50代 女性)
- インフラや公共施設の耐震化・老朽化対策について、上下水道などのインフラや公共施設の耐震化・老朽化対策を進めるため、市役所の改築が必要ではないでしょうか。また、小・中学校の設備については、修理や改善を最優先で進めてほしいです。警察・消防・地域事業者との連携について、普段接点の少ない警察や消防、地域の事業者と市民のつながりを深めるために、広報で活動内容を報告したり、朝霞駅前で PR 活動を行うのはいかがでしょうか。これにより、朝霞市民が「安全・安心なまちづくり」について考えるきっかけになるとと思います。また、その場で「安全・安心なまち」に関するアンケートを実施し、市民の意見を集めることで、今後の対策をより具体的に検討できるようになるとと思います。(50代 女性)
- こどもや、お年寄りなどが安心して生活できる地域であることが、大切だと思います。特に高齢者が増え、買い物や、病院の通院など、困っている人達が増えているのではないのでしょうか。(50代 女性)
- 三原 2 丁目ですが、道路の穴ボコが気になります、高齢者が多くて自転車に乗るお年寄りをいっぱい見かけ、危ないなと人事ながら思います。(50代 女性)

- 昨年 7 月末の水害時に、すぐに家を訪問して下さり、迅速な対応をとって下さいまして、ありがとうございました。(50代 女性)
- 昨年 7 月末に起きた集中豪雨にて、低地でもないにも関わらず、市内のあちこちで冠水が発生した際は、地域として有事の備えが不十分に感じました。自治会ありきの防災対策ではなく、市民センターで地域住民を集めての泊まりを想定した住民避難運営体験、防災炊き出し訓練、また情報発信として、季節に応じた防災、風水害や冠水時に備える市の取り組みを紹介いただきたいです。(50代 女性)
- 小中学生の通学路であろう道(車通りの激しいような道)にガードレールがないところがあり、ちょっと危ないと思う時がある。(50代 女性)
- 大雨のたびに交差点が沼のように水がたまり、保育園帰りの母子や自転車に乗ってきた学生や大人が困る様子が何度も見受けられる。また近くのアパートのペットボトルやダンボールゴミが流され、水がひいた後も排水口のようなところが塞がれたままになっている。敷地外へそういった物が流れ出ないようにしなくてはならない決まりのようなものはないのかと思っている。(50代 女性)
- 外国から移住してくる方が増えてきています。言葉が通じないので、意思の疎通が難しく、不安を感じる事があります。(50代 女性)
- 個人所有かもしれませんが、木が育ちすぎて交通の妨げになっている場所が散見されます。行政からの指導をお願いしたい。(50代 女性)
- 抜け道となっている道路をこどもが、スケボーをして遊び、猛スピードで頭から突っ込むので、危ないと感じているが、区域の学校(朝霞 4 小)の教頭に話したら、警察に言ってくれと相手にされない。こどもの親は、見て見ぬふり。道路であって、スケボー場ではない。早い時は、朝 6 時代から奇声をあげながら遊びだす。近隣の土地に勝手に入る、ゴミを投げ捨ててくる、住宅地なのに、非常識な態度ばかり。これでは、こども達を見守る気持ちもなくなる。現にこども達を見守る人がいなくなってる。これは、問題と思う。(50代 女性)
- 今回写真などで確認できて、さまざまな対策がされているんだと思いました。(50代 女性)
- シェアサイクルポートが増えて使いやすくなった反面、自転車で安心して走れる道が少ないので、改善していただきたいです。(50代 女性)
- 正直なところ、自分がかかわっていないところに関しては全く分かりませんでした。参考にならず申し訳ありません。東京から朝霞に引っ越してきてから 8 年ほどになります。初めはなんて暗い街なんだろうと感じました。それは今でも変わりません。都心に比べると圧倒的に歩道の電灯が少なくて夜は怖いです。予算がないのでしょうか…。明るくすると防犯対策にもなりますので良いと思うのですが。歩道に関しては、こんなところを小学生が通学路で通るのか！と思う箇所があります。ガードレールもなくてただ道路が緑色になっているところは特に低学年のこどもたちには危険すぎると思います。せめてガードレールか縁石がほしいところです。でもこれも予算なのかしら…と思いますが、安全を守るのが市の役割であれば、特にこどもたちのために行うことなので、優先的に行ったらどうかと思います。(50代 女性)
- 活動状況が伝わってこない。(60代 男性)
- 問9、13の具体的事例不明。問9の写真上の訓練の実施と市民への公表。問 11 の朝霞駐屯地と連携した首都直下地震を対象とした訓練の実施。(写真上訓練等)(60代 男性)
- 当方の住む自治体は、町内会などとあまり連携しておらず、災害が起きてしまった時のことを考えると不安です。先ずはご近所づきあいからつながりの輪を広めて行けたら良いのかと思います。防犯、防災の意識も高まるのではないのでしょうか。(60代 男性)

- 1. 土木工事等は見ない事が多く、一部の地域で変わったのかわからない。質問の内容がすごく曖昧でわからない、あるいは選択しにくい。
2. 選択で普通(可もなく不可もない)選択がほしい。(60代 男性)
- 犯罪抑止力を高めるために、防犯カメラを増設してほしい。(60代 男性)
- 何か他の市町村と同じことをしている感じがします。朝霞市の独自色をもっと出してほしい。例えば横断歩道の両端に(夜わたる人が見にくいことがあるので)どのような服装でもわかるように照らすように真下に向けた街灯の設置。避難場所におけるプライバシーの保護や環境にもっと積極性があるとよい。例えば、間仕切りではなく、女性やこども・幼児などに配慮した空間の設置や、給湯やトイレの工夫。つまり、既存の体育館や公民館などに雑魚寝するようなものではなく、そもそも避難施設にもなる建物(太陽光設備を備えた公民館や複合施設)をつくる。歩道がない道路の対策や自転車道の整備等。歩行者にも交通ルールをわかってもらえるようなイベントなどの周知の徹底。暗い道がないように太陽光発電(蓄電池)設備を充実させ、その電力を利用した街灯を設置。(60代 男性)
- 質問の趣旨にはずれるかもしれませんが、車道と歩道の段差をできるだけ、なくしてほしいと思います。(60代 男性)
- 防犯パトロールを担う方々が高齢化しており、心配しています。町内には若い方々も在住していますが、バトンタッチがうまくいっていないのではないのでしょうか。町内会で担えることに限界があることを見通したまちづくりをお願いしたいところです。(60代 男性)
- 車と歩行者の完全分離を進めて、交通事故対策を徹底してほしい。(60代 男性)
- 実施しているのかも知らない。知らなかったです。(60代 女性)
- 根岸台 7 丁目の交差点から朝霞駅に向かう道路は、車の通りが(最近特に)激しいが歩道がなく歩きにくい道であると思います。(60代 女性)
- 第 2 小学校入口付近、中央通りなど道路が狭く、車も自転車も通行が怖いです。また、電信柱が多く道幅を狭くしているように日々感じます。(60代 女性)
- 特定健康診査の項目を増やしてほしい。近くの歩道橋老朽化にしてもすぐに修理せず、「待ち」と言われたので、逆に現状を見てもらいたい。(60代 女性)
- 朝霞市で行われている「安心・安全なまち」作りの取り組みすべてを把握しているわけではありませんが、市の取り組みはとても評価をしています。足りない部分も時間をかけて取り組んでいてください。(60代 女性)
- 歩道と車道との境ががたがたで自転車や歩行中でもよろけてしまう。道路のかけを直してほしい。街灯が少なく、真っ暗なところが多すぎる。(60代 女性)
- 外国人の方には、朝霞で生活するルールがどれくらい伝わっているのか。少し不安です。(60代 女性)
- 歩いているとき、すぐ近くに自動車が走っているような場所が多くあるので、安心して歩けるようになると良い。自転車にも安心して乗れるような道路が増えれば良い。駅周辺以外では暗い場所も多いので、明るくして防犯カメラを多く設置してほしい。全国的にインフラ設備の老朽化が報道されているので、朝霞市は安心できるという情報があれば良いと思う。(60代 女性)
- 防災、地震などの避難、支援物資の受け取り方など、広報あさかとは別に最新の別冊子があると、何をすべきか、心がければ良いのか、実際 被災した場合の行動について、など明確にわかるものがあると、ありがたいです。ゴミの分別の一覧表みたいなものでも助かります。(60代 女性)

- 歩道が狭いので歩きづらい。(60代 女性)
- 街灯が少なく、暗い道路が多い気がする。塾帰り等、送迎できない環境の子達もいると思うので、住宅街の街灯を見直してほしい。(60代 女性)
- 空き家や雑草に覆われている場所を見かけます。そこには不法投棄されているごみが目立ちます。町内の人がきれいにしている、通り道にポイ捨てを何とも思わない人の存在には憤りを感じます。綺麗にすることで防犯に繋がっていると思います。モラルの問題ですが、意識に問いかけるアクションが起こせないのでしょうか。(60代 女性)
- 歩道が狭い上、自転車が歩道を走行するので、歩行中、危険を感じる箇所があります。公共施設は緊急時の避難場所にもなるので、全ての公共施設にユニバーサルデザイントイレの設置が望まれます。(60代 女性)
- 市役所の周辺、駅周辺は、色々整備されて快適な環境と思います。そこから離れた地域では、なかなか安全、安心なまちとはいえない環境(歩道やインフラ整備)に感じます。(60代 女性)
- 継続的に改善されていくと思いますが、歩道について思うところがあります。ガードレールがある歩道の場合、極端に幅が狭い。歩行者での対面で行き合うのが精一杯で、自転車では不可の場所が目につく。途中から無くなる。無くなった先は車道で地面に歩道の線もない。剥き出しで歩くのが怖い。(60代 女性)
- 危険運転をする自転車が多いため歩道を自転車と歩行者で分けてほしいです。(60代 女性)
- 車椅子で通行するのには危険な場所があったり、信号も横断歩道もない所の歩道橋が障害者には通行出来なかったりする場所がある。安心安全に通行出来るよう、最優先に改修をしてほしい。(60代 女性)
- 日頃、目にしない取り組みも多く回答に窮しました。身近なところでは、街灯が少なく安全に不安があります。また、舗装道路に凹凸が多く、雨量が多いと、水溜りで歩行困難な場所もあり、気になっています。(60代 女性)
- 防災意識を徹底する。(60代 女性)
- 夜の街灯をもう少し明るくしてほしい。(60代 女性)
- 本アンケートに掲載されている写真を掲示することで市民の意識をあげることができるのでは？(60代 女性)
- 八潮市の陥没のようにならないように、下水管の点検をお願いしたいです。(60代)
- 朝の交通整理。自転車運転が危険。警察官を朝だけでも立って指導をお願いします。(70歳以上 男性)
- 朝霞も大変暮らしやすくなりました。しかし、歩道が所々切れている所などがあり、散歩に少々不便を感じています。車が怖い。(70歳以上 男性)
- 防犯カメラの設置支援強化が必要。(70歳以上 男性)
- バス停近くには、夜間照明灯の設置及び防犯カメラの設置をしてもらいたい。(70歳以上 男性)
- 幸町、膝折町の境がよくわからない。(国道254付近の電柱に住所登録の番号板がない)(70歳以上 男性)
- 上下水道のインフラは計画をもってされているのでしょうか？(70歳以上 男性)

- 朝霞駅前交番の担当はいつもパソコンばかり見ており、前のロータリーなどをあまり見ていない。交番の前に立ったりして、安心なまちに活躍してほしい。また、駅前ロータリーの横断歩道の手前にパトカーを停めて、取り締まりをしているが、歩道前に立って指導するように、朝霞警察に市議会より意見してほしい。(70歳以上 男性)
- 信号の無い交差点での小学校児童等、登下校時の交通指導を担当していますが、道路に横断歩道があると明記してあり、速度を落とすべきところを 30km/hを超えるスピードで突っ込んでくる車が時折あります。運転席を見ると真っ直ぐ前だけを見ているのがわかります。私の「横断中」の旗など眼中に無いように見えます。車のナンバーを控える間もありません。もっと明確な大きな標識が必要と感じています。比較的幅のある歩道を自転車が猛スピードで走っていることが有ります。中高生が主だと見られますが、学校教育で安全を守るよう徹底させてはどうでしょうか。(70歳以上 男性)
- 「ウォーカブル推進」坂が多い地形、計画性のないまちづくりの名残で、他の都市に比べても歩きにくいまちといえる。喫緊の改善を強く望みたい。
 1. 歩道・幅員が狭く、かつ、電柱や道路標識、金属ポール等が、さらに邪魔をしている。
 - ・近年、歩行者保護のための金属ポールが増設されている。有効性は認めるが、やたらに本数が多かったり、設置基準がわかりづらい。街の景観を著しく落としている。見直しが必要。
 - ・道路排水溝カバーや端部の傾斜、凹凸が多く、健常者でも歩きにくい所が多く、危険。
 2. 標識等。
 - ・道路名や、住居地図表示が少なく、スマホ等が無いと、目的地を探すのが難しい。特に、三原、朝霞駅周辺は入り組んでいたり、行き止まり道路が多い。
 - ・多くの外国人居住者がいるが、表示数が少なく、また、わかりにくいものもある。
 例) O' Bridge(膝折町内の大橋)…聞かれても通じない。O-hashi Bridge と表示では。歩きやすいまちは、街づくりの基本。市民参加で生活道路をチェックし、不具合の洗い出し、改善策を検討するプロジェクトを進めてはいかがでしょうか。市民の関心度も高まると思う。
(70歳以上 男性)
- 朝霞台駅と北朝霞駅のホームドア設置が望まれる。(70歳以上 男性)
- 防犯カメラの設置数がとても少ないと感じています。また夜間の照明も少ないため、子どもや女性が夜歩く時など不安だろうと感じています。インフラ整備はどの自治体でも喫緊の課題と思います。予算との兼ね合いと思いますが、事故が起きると取り返しがつかない事態につながる事もあり住民側からすればリスクは最小限にしてほしいといった気持ちです。
(70歳以上 男性)
- 町内会活動が停滞しており、地域の防災体制ができていない。弱者救済は一部の方の努力でなされているが、町内会等の地域活動にはなっていない。大雨時の内水による冠水の多発。(末無川交差点及び膝折市民センター駐車場からの雨水でセンター横の道路)(70歳以上 男性)
- 「どちらかといえば不満」や「わからない」を選択する理由として、情報交換する集まりが減り、1人よがりの考えになっているためだと思う。(70歳以上 女性)
- 大きい道路は整備ができていますが、下の方の道はかなりでこぼこしており安全とは言えない。防犯の青パトはよく見かけるが…(70歳以上 女性)
- 問 4 周辺の市町村に比べて歩道が片側にしかないところが多い。
- 問 5 中央公民館女子トイレ和式は高齢者に使いにくい。洋式は一箇所しかない。
- 問 6 台坂下の歩道橋は、相当錆が出ていて床も沈む。
- 問 8 根岸台は、昨年、道路が 1m 冠水し車が廃車になったところがある。
- 問 9 町内会の役員のみ訓練を行ったが町内会での活動はない。
- 問 10 町内会で防犯カメラ設置を依頼したが、安全な地域と断られた。
- 問 12 民生委員がいらない場所がある。(70歳以上 女性)

- 朝霞は坂が多く、また、細い道路も多く、歩きにくい。また、自転車専用道路もあるが、途中で無くなっていたり、歩道も狭かったりしている。お店が近くに無く自転車を使用しているが危ないと思う事がある。高齢者が多くなっていると思う。また、お一人様も増えていると思う。成年後見制度の話を聞いた事があるが、まだそれに該当しないとそれ以上の話しが出来ない。東京都の区の中に終活の相談を受けてくれて支援をしている所もある。自分自身の事を自分で相談したいと思っている人も多いと思うので、相談窓口が出来るといいと思う。(70歳以上 女性)
- 歩道がないところが多いのが残念です。(70歳以上 女性)
- 脇道の狭さ、車と人、自転車の往来、雨の日など傘をさすと車とぶつかる。何の整備もしないまま、自転車道を青い色に引いたのにはびっくり。街路樹の整備でも、囲いから出ないようにした方が良くないでしょうか？ただやるのではなく、安全、使いやすさ等を考えてからやってほしいです。(70歳以上 女性)

子育てがしやすいまち(問15～問20)

問 15.『妊娠から出産・子育てと、ライフスタイルに合せた支援体制とサービスの充実』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な内容>

- ・子育て世代包括支援センターでの保健師などによる母子手帳交付
- ・子育て支援センターの運営 ・多子世帯の保育料や学校給食費の軽減 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	21	8.1
どちらかといえば満足	88	33.8
どちらかといえば不満	30	11.5
不満	16	6.2
わからない	105	40.4



子育て世代
包括支援センター



さくら
子育て支援センター

問 16.『全ての子どもが健やかに成長できる地域の環境づくりの推進』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・公園及び児童遊園地の遊具等の点検・更新 ・児童館の運営
- ・冒険遊び場づくり事業(プレーパーク) ・校舎の増改築 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	33	12.7
どちらかといえば満足	113	43.5
どちらかといえば不満	31	11.9
不満	24	9.2
わからない	58	22.3
無回答	1	0.4



島の上公園の遊具更新



冒険遊び場づくり事業
(プレーパーク)

問 17.『急激な社会の変化に対応するための教職員の資質向上や教育内容の充実』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な内容>

- ・教職員資質向上のための各種研修の実施 ・教育用ICT機器の整備・活用
- ・関係機関や外部・地域と連携した体験的な学習活動の充実 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	14	5.4
どちらかといえば満足	58	22.3
どちらかといえば不満	31	11.9
不満	23	8.8
わからない	134	51.5



研究開発学校指定研究発表会

問 18.『虐待やいじめ、不登校等の問題を解決するための、子どもの個性と人権を尊重した教育の推進』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・心と生活アンケート、いじめ防止月間(10・11 月)の実施
- ・いじめ不登校対策会議、要保護児童対策地域協議会の実施
- ・子ども相談室やさわやか相談室、家庭児童相談室、こども・ほっとそだんの設置による児童生徒、保護者の相談体制の充実 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	8	3.1
どちらかといえば満足	74	28.5
どちらかといえば不満	30	11.5
不満	18	6.9
わからない	130	50.0



いじめ不登校対策会議

問 19.『障害のある人となない人がともに学ぶことのできる教育制度を踏まえた、一人一人の障害等に応じた教育の充実』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・就学相談の充実 ・特別支援学級や通級指導教室(情緒・発達障害、難聴・言語)の設置
- ・特別支援学級補助員の配置 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	12	4.6
どちらかといえば満足	62	23.8
どちらかといえば不満	28	10.8
不満	12	4.6
わからない	145	55.8
無回答	1	0.4



小学校特別支援学級

問 20.「子育てがしやすいまち」(問15～19)について、御意見などがありましたら、記入してください。

- 東京都のように給食無料化や公立学校学費補助金制度の導入をお願いします。納税主力である中間層の子育て世帯への支援が薄すぎる。(30代 男性)
- 黒目川の整備は、県だが、桜を植樹して。(30代 男性)
- こどもがいないのでこれらの行政サービス等を利用しないため「わからない」の回答が多くなってしまいました。すいません。ただ、こどもたちが公園で賑やかに遊んでいるのを見るので、こういった環境が維持されることを願います。教育用 ICT 機器の整備とありますが、紙と鉛筆のほうが暗記効果が良いとも聞きますので、ICT 推進はほどほどに、アナログとデジタルの良いところを織り交ぜた教育が良いかと思います。いじめに関して主な取り組みは被害者支援ばかりですが、加害者への罰則強化を同時にすべきです。警察や司法が介入しやすくするべきです。(30代 男性)

- 設問の取り組みに関して、日々の中で特に感じることはないものが多く、判断出来なかった。(30代 男性)
- 学校給食無償化はありがたいですが、それによるのか理由はよくわかりませんが、学校給食の品数が減っていることが心配です。給食を楽しみに通っている子や、給食で1日の栄養を補っている子もいらっしゃると思うので、減らさず、充実した給食を提供していただきたいです。多子全家庭を対象にしてくださるのはありがたいですが、その分品数が減るならば、給食費の支払いが難しいご家庭を無償化にさせていただく方が良いのかもしれません。(30代 女性)
- 学童の保留者が多く、特に3年生になると放課後や長期休暇中のこどもの居場所がなくなってしまうのが非常に困る。児童館ではトラブルが多いと聞いているため長期休暇中は親が仕事から帰るまでこどもが朝から一人で家にいることになり事故や防犯面でとても心配している。長期休暇中でも教員は出勤しているのだから教室を一部屋でもいいから学童用に開放してこどもが安全に過ごせる場所を確保してほしい。そもそも学童の運営内容にも不満を抱えている親が多くいることを市は認識してほしい。夏季休暇中は熱射病の心配から一歩も外に出ない日がほとんどだと聞く。そうであれば体育館を使えるようにするなど工夫してほしい。こどもの体力低下が問題と認識しているのならばそのような取り組みを市が率先して行うべきではないのか。学童の保留問題と運営内容の改善に市はもっと積極的に取り組んでほしい。(30代 女性)
- 学童保育の不足は早急に取り組んでもらいたい。(30代 女性)
- なかよしばあくの利用システムで予約しないと使えない日が多くて利用しづらい。(30代 女性)
- 多子世帯への支援の前にまず第一子からの支援の方が急務なのでは？東京都は第一子から保育料無料がスタートするのが羨ましくて、正直、引越してもいいかもと考えるほどです。(周りの30代前後の多くがそのように話しています)月5万円以上も保育園に支払いながら2人目の妊娠など到底考えられません。(30代 女性)
- ・和光市のように、産前産後ケアを作してほしい。産前産後ケアをしてお母さんがイキイキできるような施設がほしい。こどもが産まれて、子育て支援センターに行く歳頃までの施設や集まれる場所がほしい。
 ・根岸台7丁目あたりに小中学校作ってほしい。駅近で便利だが、小中学校へ通学距離を考えると不便。和光市の下新倉小学校のように、一体となった施設を作ってほしい。
 ・保育園がボロボロで建替してほしい。築年からして耐震性も怪しく思う。保育園建替しなかったり、小学校も古いままで、そういう意味で朝霞は子育て世帯に力入れてないな、って残念に思う。
 ・学童の施設もかなり古く、綺麗で容量も十分な学童を作ってほしい。
 ・共働きの世帯が増えている昨今、小学校を朝7時からとか早く開校してほしい。小1の壁、何とかして。
 ・朝霞駅周辺にわびあのような施設を作ってほしい。朝霞台駅南西に子育て支援施設できるようだが、朝霞駅周辺にもわびあのような施設が必要だと思う。(30代 女性)
- 外観を見る限りですが、市内の公立小中学校の建物自体の老朽化が気になります。建替や修繕など適正に予算が投下されていますでしょうか。教職員の資質向上を目的とした各種研修は、多忙を極める教職員の方々の負担が増すことのないよう、現場が必要としている研修なのか、乖離がないようにしていただきたいです。(30代 女性)
- 耳鼻科や小児科など、病院から少し遠いところに住居があると、バスも限られていて通院が大変だった。病院の数が増えたらありがたい。(30代 女性)
- 子育てをしていないので、ほとんどの設問は判断ができなかった。近所公園があるが、遊具は適切に補修されていると思う。(30代 女性)

- 給食を全ての学校で作って提供してほしい。配送 NG が学校によって差異があるのは本当に不公平。同じ市内なのに差があるのはありえない。(40代 男性)
- 物価の高騰などで、以前は感じなかった不満などありますが、利用できるサービスなどもっと分かりやすく知ることができれば、多くの人が利用できるんじゃないかなと思います。(40代 男性)
- 公園の管理方法、何か問題が生じた際の連絡先を明記してもらいたい。各公園には防犯カメラを設置して安全を確保してほしい。大人がルールを守らず飲酒、喫煙、ボール遊び(禁止と明記されている)を行っているため、こどもたちが安心して遊べていない。個人での注意は問題を大きくする傾向があり、管理者などから注意喚起、見回りをして安心してこども達が遊べる環境を構築してもらいたい。(40代 男性)
- ・行政手続きは速やかに、どんどん電子化に切り替えていくのが良いと思います。
・いじめられる側だけでなくいじめる側のケア、対応が必要だと思います。(40代 男性)
- 朝霞市は地理的に子育て層に人気の街だと思う。更に子育てに手厚い市町村として、力を入れてもらいたい。(40代 男性)
- 問 19 について、支援学級や通級教室を担当する先生方、支援員の方々の専門性の資質について、充分といえるでしょうか？様々な情報を簡単に調べることができるようになった今、現場には、それ以上の知識や経験のある方が必要に思います。先生方は、日々、研修などを積まれているのでしょうか？現状で充実していると思わず、日々向上していただきたいです。教育は、時代の流れやこどもたちの実態によって変わっていくものです。支援級の先生方には、専門性を向上させていただきたいと思います。特別支援学校との教員間交流や療育機関で行っていることを見学したり勉強会をしていただくなどのことが必要だと感じます。(40代 女性)
- 子育て支援センターまで遠い場所に住んでいる親御さんが、赤ちゃん・幼児を連れて行くのは大変だろうなと思っています。週 1、月 1 でも出張相談のような形で近くに来てくれれば、少しは楽になるのではないのでしょうか。(40代 女性)
- 安心して歩ける街に。早急に取り組みをお願いいたします。公園を増やしてほしい。人口増に対して公園が増えていない。(県内人口増加率3位です。)公園は未来を担うこどものためのみならず、火災時利用のため、(火事の延焼防止等)減災のため、温暖化防止のため等多機能を有します。畑が宅地に変わりゆくスピードが驚異的な速さですので、早急かつ継続的に公園新設や都市緑化の取り組みをお願いいたします。すぐに取り組める方策として、児童遊園地の公園恒久化をお願いいたします。理由は、住宅街の中の貴重なオアシスが地主の方へ返還されると、狭小住宅がたてこみ、環境悪化のケースが多いことから市で買い取りを検討されてはいかがでしょうか。(40代 女性)
- 保育園が不足していて希望通りにいかない。こどもの人数と各事業所が一致していない。(40代 女性)
- 問 17. 18 についての意見です。学校の先生は個々の状況に合った対応をしてくださっていると思います。ただ、クラスに不登校の生徒がいても、元気なのか…など簡単な会話もない、とこどもから聞いています。こどもとしては、同じクラスメイトなのに、知らないことばかりでさみしい、と話しています。個人情報など様々な制限はあるとは思いますが、クラスがまとまり、不登校の生徒がいつ登校してもいい雰囲気を作られるといいと思います。(40代 女性)
- 岡地区に児童館、学習塾を誘致してほしいです。(40代 女性)
- 高校生以降、手当や医療費補助が無くなるが、大学もお金がかかるので、手当を継続してほしい。(40代 女性)

- 先日第二子を出産したが、母子手帳発行後の10万円給付等、数年前よりも金銭的給付が増えていてとても助かった。何も支援がないと子育てを歓迎されている気持ちがないので、所得制限なしのわかりやすい支援が多いと、朝霞市で子育てをしていくモチベーションになる。今後も支援を引き続きしてくださると助かります。公園の維持について、蜂の駆除がなされない等、部分的に気になることはある。(40代 女性)
- 例えば、マームガーデン葉山リゾートの様な施設を作る、または利用するための補助金を出してほしい。朝霞の森にトイレを設置してほしい。朝霞市博物館をもっと利用したくなるような施設にしてほしい。カフェの併設をしてほしい。(40代 女性)
- 近隣の市と比べて、まだまだ取り組みが不十分で遅いと思います。また、市の学校全体の課題を各学校だけで対応しているのは無理があると思います。もっとデジタル推進や学童だけでなく、いじめや学級崩壊が起こりそうな小さな芽の早期対応など、多くの問題に対して市で共有して後手後手にならないように、市が率先して引っ張ってほしいです。(40代 女性)
- 小学校に関してはマンモス校が多く、学区の見直しなど検討して頂きバランスを考慮して頂きたいです。校舎も経年劣化を感じますし、良い環境とは程遠いと思います。(40代 女性)
- こどもの健診は保健センターまで行かなくてはならず、遠くてとても不便でした。(40代 女性)
- 外で思いっきり遊べる場所が少ないと思う。車や人通りの多いところや狭い路地でのキャッチボールなどは危ないので、もっと遊べる場所を増やすべき。(40代 女性)
- 住宅街の中に寂れた公園があり、そこで遊んでいる子を見たことがない。そういった公園の遊具は恐らくメンテナンスもされていないだろうと、心配に思うことがある。(40代 女性)
- 子育て中はメンタルも、体力もとても消費するので、相談出来る場があることがとても支えになります。支援センターを数箇所利用していますが、特になかよしぱあくという場に助けられているママさん達、お子さん達が多くいると感じます。なかよしぱあくのような運営スタイルが必要とされている支援センターだと感じます。(40代 女性)
- 問17について、児童を指導するレベルにない教員が在籍していたため、学習習得度に差があった学校がありました。学校の問題と捉え、早急に対策を取られた事は素晴らしいと思っておりますが、そもそも臨時教員を自転車操業のように、補充しなくてはならない体制に問題があるのではないかと感じます。ゆとりある教員配置、待遇についてご検討いただきたい。被害者になるのはこども達です。(40代 女性)
- 以前、子育て支援センターでミルクのお湯を頂けなかった事があったので改善して頂きたいと思いました。児童館はどこも利用しやすく感じます。(40代 女性)
- こどもが幼稚園に入るまで、地域のつながりを持つことができず孤独を感じたので、気軽に参加できるイベントなど、何かしら地域の方とつながりを持てる機会があれば良かったと思う。1人目の時は児童館に行くのもハードルが高く感じていました。今はよく児童館を利用しています。(40代 女性)
- ・公園の遊びに制限がかかりすぎてこどもたちが何もできない。ボール遊びや水遊び、花火ができる場所を作ってほしい。
・小学校の総合の授業で、朝霞のにんじんを扱う時間があるが、最近では若い人たちだけでなく中年層ですら朝霞=にんじんの印象はなくなっているのでは、無理に取り上げる必要はないと思う。
・小学校の先生がこども同士の本当にささいな争いやトラブルにも仲裁に入ってしまう。親からのクレームを恐れているのかもしれないが、こどもの成長のうえでこども達だけで解決する力も養わせてほしい。(40代 女性)

- 色々と設備が整っているのは朝霞駅近辺で、朝霞台の方は殆ど何も無い。同じ税金を払っているのに、朝霞駅近辺は恵まれています。不公平感があります。むしろ、朝霞市よりも志木市、新座市の設備を利用することの方が多いです。(40代 女性)
- 近年、のどかだった地域らしさが失われてきており、ダンプカーの横行や砂利、残土置き場など、こどもが成長できる環境整備には程遠い。(50代 男性)
- 発達障害にしても、人により様々な症状があり、対応される方も大変かと思います。いろいろな経験を持つ方などが、いろいろな支援をサポートできるよう、意見交換などが行える場があると良いかと思います。(50代 男性)
- 学童保育など、周辺 3 市に比べて遅れている感じが否めない。朝霞は中間層が多いと思うので、その層に厚い施策を希望する。(50代 男性)
- 支援対象の子などへ配慮しすぎて、一般家庭や健常児を蔑ろにしないようにしてほしい。(50代 男性)
- 教職員の質の向上と言いますが、実際、職員の熱意次第になっているように感じます。その熱意のある教職員の方々の負担を減らすことが一層の質的向上につながるのではないのでしょうか？あれもやれ、これもやれ、この講習を受けろと押し付け過ぎな感じがしております。給料をアップし、教職員の人員数を増やすことが急務のように思います。同じことが、福祉介護の面でも言えることではないのでしょうか？(50代 男性)
- 給食無償化を随時行ってほしい。(50代 男性)
- 温かさある手厚い市政の実現に向けて行く事がベストですが、財源も大切な要素です。あらためて、多方面で節減出来る市運営を考える良い機会と思います。(50代 男性)
- こどもの数の増加に対し、保育施設の拡充が追いついていない。保育園、学童保育、ランドセル市民センターの活用などがあるが、必要としているこどもやその親にとっては、距離、時間、使い勝手など、全体で見て不足と感じる。例えば、学童保育の定員数の補足としては、そのまま小学校の放課後スペースを活用することで、通学期、長期休みの際、ともに場所の確保としては活躍するだろう。対応する人間の確保の捻出は別のアイデアが必要だが、主任は専任が必要だが、不足分を、例えば在宅勤務の保護者を学校で勤務させる体制を整え、交代制で主任者のフォローするなど。在宅勤務者にとっても、光熱費の削減にもなり、保護者同士のコミュニケーションも総合的にはプラスに作用するとうかがえる。広い目で見れば環境にも優れる。既存施設の活用は比較的早い対応を実施できる期待感がある。(50代 男性)
- 接する機会が少ないのであまり実感がありませんが、子育てしやすいまちの前に子育てする親の教育が必要ではないのでしょうか？(50代 男性)
- 外国籍のこどもの教育費を何処まで面倒見なければいけないか、普段そのような議論は多くないのでしょうか？ヘイトスピーチではありません。今まで引き継いできた日本人としての享受です。外国人との区別です。(50代 男性)
- 私の息子が学校行く際に、他の地域含めてマンションや宅地造成が多い時期で、結局小学校で十分なサポートがされないと、他地域の私立中学に行くことにした。本当に支援が足りていると認識されているのか不満である。(50代 男性)
- 子育てのみでなく高齢者なども一緒に面倒を見ればよいと思う。(50代 男性)
- 乳幼児、児童、学生を育てている当事者でないので日々の生活の中で感じることはない。(50代 女性)
- 障害を持った児童支援者に対してのスキルアップを望みます。(50代 女性)

- 子育てが終わっていて回答ができません。今、子育て中の方の意見をまとめてあげてください。子育て支援センターがスーパーの近くにあると、利用しやすいかなと思います。(50代 女性)
- 朝霞市に保育園が増えたことには満足しています。また、広い公園がいくつもあり、子育てしやすい環境であると感じています。ただし、小・中学校の教員が不足している問題は解決していないことが心配です。今の先生は授業の他に事務仕事が多すぎます。親の署名が必要な書類の作成と回収を事務局で対応するようにしたり、学級便りを毎月発行するのをやめるなど、事務仕事を極力減らして、こどもと向き合う時間をできるだけ多くしていただきたいです。(50代 女性)
- 保護者が孤立せずに、相談しやすいことが大切だと思います。(50代 女性)
- 不登校対策が子育てするのに大切だと思うので各学校に不登校教室等を考えてみたらと思います。(50代 女性)
- 多様性が言われる中で、今もなお、特殊学級といったあえて、健常者と教室を分けたクラス編成は必要なのか疑問に思います。健常者と障害者が同じ空間にいるからこそその気づき、視点、発想を学校という教育の場だからこそ、共生を育め、そこで多様性の土台を作ることが世界に遅れを取る多様性やジェンダーの向上につながるのではないかと思います。(50代 女性)
- 色々な所で、協力したいと思える状況になっていない。子育てもしにくい朝霞市になった。(50代 女性)
- 息子が小さいときは支援センターなど活用しました。児童館も近くにできて安心して活用できます。(50代 女性)
- 該当しないと全く情報が伝わらない。見えない。(60代 男性)
- 問 17 の教育用ICT機器の整備・活用の ICT とは。設問する方はわかっているかもしれませんが、ICT の意味がわかりません(60代 男性)
- 子育ての世代のみならず、介護の必要な方やその家族が住みやすいまちづくりが子育てしやすいまちづくりと両輪であるべきと考えます。両者が一体となって日常使用できる施設やその環境を充実させる工夫が必要ではないでしょうか。高齢者も普段から参加して幼児を見守る保育施設のような施設の設置。縦割りにならず横の連携を強めた複合体の構築。市内のお店(スーパーも含む)に積極的に参加してもらい、食品のロス・日用品のロス・衣服のロス等を減らすようにその販促(場所・コーナー)施設を充実させるまちづくりこそ、子育てしやすいまちになり、市民全体が住みやすいまちになるので。(60代 男性)
- 朝霞市は東京都に接し、通勤、通学又は買い物にも便利なので、子育て世代のニーズをもっと把握して、朝霞市独自の子育て施策を講じてはいかがでしょうか。(60代 男性)
- こどもがいないのでわかりません。しかし、子育てしやすいまちづくりはとても大切な観点と思っています。一般論になってしまいましたが、教職員の働き方改革などを進めていただきたいところです。(60代 男性)
- 問 16 に対しては、どちらかと言えば市役所のある朝霞の方が優遇されている様に見えます。私の住んでいる朝霞台・北朝霞の方は見受けられない。(60代 女性)
- 発達障害児童への家庭→学校→たとえば学童との連携プレーをしてほしい。1 人の子をなるべくたくさんの方の目で見れるような。(60代 女性)
- 校舎の古さ、つくり、教室の数や広さは学校による差があると聞きます。増改築の優先順位は本当に正しいのですか。一番新しい十小を改築するのは本当ですか？(60代)

- 成人で障害のある人の就労については、制度については家族に障害者がいるので少し分かりますが、児童・生徒が利用できる(受け入れ)施設や情報があまり分らない。こどもがいる、いないに関わらず、いろいろな情報が、いろいろな年代の市民に分かるようにすることが全ての市民に安心安全に生活できることにつながっていくと思う。(60代 女性)
- 子育てに対する支援があるが、この物価高の現状も考えて児童手当を思い切って1桁上げてもいいのではないのでしょうか。こどもも作らない、一人っ子しか作らないでは、未来の日本が心配。近所に4人お子さんを持っているご家族がいますが、生活(米代)が大変という声を聞いています。こういう家庭こそ支援が必要ではないのでしょうか。(60代 女性)
- 時代の変化なのか、人としての道徳観が薄れてきているかと思います。自分の行動を想像して行えなくなってしまういませんか。目に見える対応より、心の対応が育っていくことが大切ではないのでしょうか。誰もが、目の前の人の存在を尊重できる人を育てる大きな人の輪を創れるのが行政の力かと思います。(60代 女性)
- 保育室、園庭に監視カメラの設置をお願いします。(70歳以上 男性)
- 自助、共助、公助についてお互いの考え行動を大切にする感覚が薄れてきている感じです。(70歳以上 男性)
- いじめや虐待に厳格に対処する社会へしたい。(70歳以上 男性)
- こどもが少ないのでしょうか。児童遊園地等を利用しているお子様が少ないように感じます。(70歳以上 男性)
- 不登校のこどもたちはなんとかみんなと一緒に学べるように指導してほしい！(70歳以上 男性)
- 少子化が進んでいる現在、子育てをしているお父さん、お母さんを応援したくなるのは当然です。しかしながら、自転車の前後にこどもを乗せて歩道のない車道を走っている姿を頻繁に目撃しますが、万が一を考えるとぞっとするばかりです。早急に何とかしなければ朝霞市が情報だねにならないのかといつも思っています。(70歳以上 男性)
- 子育て支援をするボランティアや、その団体も多く、貢献されている。とはいえ、各々の横のネットワークが殆どなく、点の活動である。もっと有効に機能できるような仕組み作りの必要性を痛感している。(70歳以上 男性)
- 公園のベンチ等が老朽化しており、事故防止の観点からも修繕などをお願いします。(70歳以上 男性)
- 朝霞は近隣の市町村に比較して「子育てがしやすい町」とは思いますが、最近の東京都から次々と発信される子育て対策からすると朝霞市(埼玉県)の内容は残念ながら乏しいと感じています。(70歳以上 男性)
- モラルの低下、いじめ・ハラスメントの蔓延等、単にいじめの問題だけでなく、今日日本人として考えなければならない問題を多く抱えていると思う。市だけの問題ではないが、これらの問題を解決するような仕組みを構築していく必要があると思う。(70歳以上 男性)
- こどもが大きいので現状はわからないが、私のこども達が小さい頃より充実していると思う(こども30代)。手当や病院にかかる費用を負担しているのは、とても良いことだと思います。(70歳以上 女性)
- 今は周辺に該当するこどもたちがいないので意見があまりありませんが、以前、ファミリーサポートに登録してあって、他市では障害のある子たちを専門に預かったりお世話していました。ファミリーサポートはなぜなくなったのでしょうか。(70歳以上 女性)

つながりのある元気なまち(問21～問32)

問 21.『自治会やボランティアなどコミュニティ活動の活性化と連携の促進による住民の地域意識の醸成』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・自治会・町内会への運営支援
- ・コミュニティセンター・市民センター等の維持管理 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	15	5.8
どちらかといえば満足	101	38.8
どちらかといえば不満	42	16.2
不満	17	6.5
わからない	83	31.9
無回答	2	0.8



コミュニティセンター

問 22.『生涯学習に対する市民の関心の高まりに対するスポーツや芸術文化などの活動支援及び学び合いによるまちづくりの推進』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・講座情報などの学習機会情報の提供 ・市民スポーツ祭、文化祭の開催
- ・公民館、図書館、博物館、総合体育館など学びの場の提供 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	31	11.9
どちらかといえば満足	135	51.9
どちらかといえば不満	41	15.8
不満	13	5.0
わからない	40	15.4



市民スポーツ祭



文化祭

問 23.『NPOなど市民活動団体への支援』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・市民活動団体への運営支援 ・あさか市民活動ガイドブックの発行
- ・市民活動パネル展や地域デビュー支援セミナーの開催 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	17	6.5
どちらかといえば満足	90	34.6
どちらかといえば不満	20	7.7
不満	12	4.6
わからない	119	45.8
無回答	2	0.8



地域デビュー支援セミナー



市民活動支援ステーション・
シニア活動センター

問 24.『多文化共生の考えのもと、お互いを理解しあうためのコミュニケーションの促進』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・小中学校給食での外国料理の提供
- ・多文化共生の情報発信(給食で提供した外国料理と文化の紹介など)
- ・外国語版市民ハンドブック
(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語)の作成 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	19	7.3
どちらかといえば満足	91	35.0
どちらかといえば不満	22	8.5
不満	12	4.6
わからない	116	44.6



ドイツ料理
(カレーブルスト)



市民ハンドブック
(ポルトガル語)

問 25.『コミュニティバス運行や路線バスとの連携による公共交通ネットワークの充実』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・市内循環バス「わくわく号」の運行・シェアサイクルの本格実施
- ・鉄道事業者への各種要望の実施 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	33	12.7
どちらかといえば満足	113	43.5
どちらかといえば不満	49	18.8
不満	42	16.2
わからない	22	8.5
無回答	1	0.4



市内循環バス「わくわく号」



シェアサイクル

問 26.『高齢者の豊富な知識や経験の活用、学習活動・就業への支援』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・シニアクラブ等の運営支援 ・シルバー人材センターへの補助
- ・シニア活動センター事業の実施 ・生涯学習ボランティアバンク事業の実施
- ・地元企業と就労希望者のマッチング等高齢者の就労支援 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	17	6.5
どちらかといえば満足	85	32.7
どちらかといえば不満	31	11.9
不満	11	4.2
わからない	114	43.8
無回答	2	0.8



シニアスポーツフェスティバル



生涯学習
ボランティアバンク事業

問 27.『いつまでも、住み慣れた地域で暮らし続けるための福祉サービスの質の向上』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・ひとり暮らしの高齢者などへの緊急通報システムの貸出し
- ・配食や新聞配達による安否確認 ・安心見守り連絡カードの配付
- ・徘徊高齢者等見守りシールの配付 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	16	6.2
どちらかといえば満足	72	27.7
どちらかといえば不満	32	12.3
不満	14	5.4
わからない	126	48.5



緊急通報システム・安心見守りシステム

問 28.『健康づくりの取組の充実』について、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・がん検診、30代のヘルスチェック、歯科健診などの実施
- ・健康づくりに関する講座や意見交換会の開催
- ・健康マイレージ事業によるウォーキングの促進 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	36	13.8
どちらかといえば満足	112	43.1
どちらかといえば不満	37	14.2
不満	19	7.3
わからない	55	21.2
無回答	1	0.4



健康づくり教室



ウォーキング

問 29.『消費者ニーズに対応できる商業の振興、商店街の活性化』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・商店街活性化活動の支援
- ・商工会との連携・支援 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	19	7.3
どちらかといえば満足	86	33.1
どちらかといえば不満	47	18.1
不満	21	8.1
わからない	85	32.7
無回答	2	0.8



あさか商工まつり

問 30.『起業家や中小企業への効果的な支援』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・起業に関するセミナーや中小企業診断士による起業家育成相談の実施
- ・起業家及び中小企業向け融資に伴う利子補助の実施 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	6	2.3
どちらかといえば満足	51	19.6
どちらかといえば不満	27	10.4
不満	9	3.5
わからない	166	63.8
無回答	1	0.4



創業支援セミナー

問 31.『雇用機会の創出と労働環境の充実の支援』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・就職希望者のスキルアップ等を目的とした就職支援セミナーの開催
- ・ハローワーク朝霞などと共催した合同就職面接会の開催
- ・就職支援相談の実施 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	9	3.5
どちらかといえば満足	63	24.2
どちらかといえば不満	29	11.2
不満	12	4.6
わからない	143	55.0
無回答	4	1.5



就職支援セミナー

問 32.「つながりのある元気なまち」(問21～31)について、御意見などがありましたら、記入してください。

- 朝霞台駅周辺が地味すぎる。中核拠点として志木のマルイや富士見のららぽーとと同じレベルの商業施設がないといけないと思います。あと、わくわく号の本数が少ない。(30代 男性)
- 朝霞市の TV ドラマが、制作するとのことですが、もっと地元の PR をしたら良い。(30代 男性)

- 生涯学習に関することや講座情報について公民館に聞きに行った際、詳しいことはパンフレットを見てください、と案内された。公民館の受付の方が様々な講座情報などに詳しい必要はないと思いますが、パンフレットを渡すだけではなく、どれくらいの数の講座があり、どの程度、どこで活動されているのかなど、少し具体的な案内があると良かったと思います。日本人が外国の文化を知ることが多文化共生と呼んでいるように感じるが多々あり、少し違和感があります。もちろんそれも重要なのですが、日本における多文化共生に必要なのは、日本に住む外国人に日本の文化やルール、マナーを教えることです。日本のルールがあり、その上で他の文化を織り交ぜていくことが多文化共生です。そういったことに日本の行政がどれくらいお金と時間を使っているのかはわかりませんが、他の文化を受け入れるばかりでは日本の文化が失われてしまいます。わくわくバスは良いのですが、本数が増えるとありがたいです。シェアサイクルは整備不良のものが多く印象があり利用しなくなりました。軽トラで回収しているのを見ましたが、地元の自転車屋さんに協力してもらうなどして、回収せずともある程度整備が行き届くようにしたら良いかも？商店街活性化や商工会の盛り上がりなどは朝霞駅～朝霞市役所あたりのエリアだけのように感じます。北朝霞、朝霞台周辺はそのような盛り上げをしようと考えていないような気がします。街の外れに位置しているから仕方ないんですかね。(30代 男性)
- 他の取り組みに比べて、若い単身者が地域コミュニティと繋がるための施策が薄いと感じています。興味のある地域のイベントなどを通知、参加を呼び掛けるアプリやサービスがあるといいのではないのでしょうか。(30代 女性)
- 赤字だからと、わくわく号の路線縮小をした一方で、町内アンケートでは圧倒的に不要との声が多かったわくわくワゴンを運行した意義が見出せません。(30代 女性)
- 学校給食で多国籍料理を提供してくださることはとても嬉しいです。子どもたちもよくわからないカタカナのメニューを言いながら、家庭ではなかなか味わうことのできない料理に、美味しかったーや口に合わなかったーなど、感想を言っており、多様な食文化に触れる経験ができるのは有り難いです。(30代 女性)
- シェアサイクル活用しています。本当にありがたいです。ただ、返却場所が埋まっている事が多く、混み合う時間帯は神経を使います。自治体というよりサービス会社に伝えるべきだとは思いますが、ユーザーの返却ニーズがどれくらいあるかわかるような仕組みにしないと、最適配置を検討できないように思いますがいかがでしょうか。朝霞の商店街は近年活気があって素晴らしいです。街を盛り上げていただき感謝です。(30代 女性)
- 生涯学習については催し物も多く、講座への参加などさせていただいています。市として引き続き積極的に後押ししたいです。市内循環バスの取り組みも、路線バスの運転手不足や高齢化社会を見越して必要なことだと思いました。(30代 女性)
- 問 29 に関連して、農業祭の出店(農協など)を毎年楽しみにしています。地元の産業に貢献できる機会でもあるので、今後も継続してほしいです。(30代 女性)
- 問 25、市内循環バスをなるべく維持してもらいたいです。(40代 男性)
- わくわく号を増便してほしい。少なすぎる。(40代 男性)
- 朝霞台に東洋大学の学生が戻ってきたが、学生が魅力を感じるようなお店はあまりなく、通過するだけになっている。周辺の地主や事業者と協力して、学生が利用したくなるお店を作り、活気のある街にしてほしい。もちろん学生以外にも魅力的なお店もできてほしい。また、朝霞台駅の全面改修と駅ビル計画が進むと思われるので、市としても全面的に協力してよい商業施設・駅周辺環境を作してほしい。朝霞台駅の改修と合わせて、北朝霞駅の改札に向かう階段を無くせる・無くせないならなるべく減らす・エスカレーターをつけるなど、朝霞台と北朝霞の間の乗り換えがよりスムーズになるようにしてほしい。(40代 男性)

- 朝霞台と朝霞両駅の活性化が必要。(40代 男性)
- 少子化を防ぐために、まずは納税を適正にしているいわゆる現役世代への支援や、多文化の前にまずは日本国民に向けた支援を充実させるべき。住民税、所得税が累進課税で取られているのに、高齢者ばかりが公共施設を利用し優遇される状況を作り出すべきではない。(40代 男性)
- 自治会・ボランティア・生涯学習・市民活動…いずれにおいても高齢者に偏り過ぎているように感じる。「世代問わず」の取り組みと、高齢者向けの取り組みは分けて考えていくべきなのではないでしょうか。(40代 女性)
- 学校の給食で外国料理の提供はいいと思う。メニューを見て食べたいと思わない。こどもにも不評。米中心の和食を増やした方が良くと思う。(40代 女性)
- バスの本数が少なすぎる。(40代 女性)
- ・バスは本当に本数が少なく利用しにくい。(宮戸地区)
・先日の図書館のアンケートもですが、高齢者でもなく子育て世帯でもない、どこにも属さない世帯は、色々な施設やセミナー等利用しにくい。(日程や時間等)(40代 女性)
- 道の駅のような施設を作って全世代の雇用を増やしてほしい。公民館での料理教室を増やしてほしい。(40代 女性)
- カインズが朝霞市にあるのはありがたいです。その他、新座市のようにロジャースや ok ストアなど大型のディスカウントスーパーが朝霞市にもあると嬉しく思います。(40代 女性)
- 三原地区にも市内循環バスがほしいです。健康診断が 30 代だけではなく、45 歳や 50 歳など、節目の年の方も対象にしてもいいのにとおもいます。(40代 女性)
- 『消費者ニーズに対応できる商業の振興、商店街の活性化』の取り組みについては、乗降客が多い朝霞台・北朝霞の駅ビルや活性化が進むことを期待します。(40代 女性)
- 分からない内容が多かったです。わくわく号は、利用したくても本数が少なすぎて、乗車する機会が全くないです。(40代 女性)
- 我が家は加入していませんが、町内会の必要性を感じません。集金ばかりされると聞きます。退会したいと言ったら断られたと聞きました。こどもの健診と同様にがん検診も保健センターでの開催。行きたくても行けない人がいると思います。がん検診が抽選制で、こどもの体調不良等で当日行けなくなった場合でもその年はもう当選済みという事で以降は応募出来ず。(40代 女性)
- ・コミュニティバスの本数、路線をもう少し増やしてほしい。
・一人暮らしだけではなく、日中ひとりになる高齢者の支援にも取り組んでほしい。
・こどもへの支援だけではなく、支援が必要な高齢者への対策も必要と思う。(40代 女性)
- 学校給食で異文化を学ぶ機会があるのは良い事だと思う。わくわく号は、もう少し本数があると助かりますが…。(40代 女性)
- シェアサイクルの自転車でこどもも一緒に乗せられたら利用したい場面が多々あります。ママチャリの追加導入も、検討できないものでしょうか。(40代 女性)
- 就業や企業、シニア対策、今の自分に接点が無いものについては、今は詳しく分からない事が多いです。でもこの先、いざ自分がそういった対応が必要になった時、窓口はどこで何を進めたら良いのか等、困らずにスムーズに問い合わせができるようになっていけば良いと思います。(40代 女性)

- コミュニティバス、置き去りにされている地域がある。そういった地域は、他にも置き去りにされている傾向がある。(40代 女性)
- 私はがん検診など利用していますが、周囲の人は知らない人も多いので、自分から情報を知ろうとしないと分からないのかな？と思いました。もう少し分かりやすく周知した方が良いと思います。(40代 女性)
- 地域のつながりが、ゆるくても広がればいいなと思います。昨年から、自然関係のボランティアに参加していますが、そこで出会った人達とのつながりで、世界が広がりましたし、朝霞市のいろんな地域の方と話せることも楽しいです。知り合いが増えて、年配の方から知恵や知識を聞けると勉強になります。世代間交流ができると、いい刺激になっていいのではと思います。朝霞がいいまちになればいいなと思いますし、そのために活動したいと思っています。(40代 女性)
- 町内会に加入していますが、きれいなまちづくり運動以外で関わりはほぼありません。近所の飲食店に町内会名義でボトルキープされていたなど会計に不信感があります。(40代 女性)
- ・わくわく号の本数が少ない。
・朝霞駅周辺の商店街で機能していない店舗などは、格安で貸し出すなどして若い人たちのビジネスチャンスになるような取り組みをしたほうが良いと思う。(40代 女性)
- コミュニティバスの本数の少なさ、料金の高さを改善してほしいです。(50代 男性)
- 私がこどもの頃は、商店街が元気だった。今こそ、日曜日には駅周辺を歩行者天国に。(50代 男性)
- 商店街の活性化や中小企業の支援など、なかなか成果が見えてこないものかと思います。もっと市域の市全体で取り組んでいることを PR し、朝霞市で働きたいと思ってもらえる若者を増やすような工夫を考えてもらえたらと思います。(50代 男性)
- 色々やるより何かに絞って、特徴のある市政にした方が市民の認識や外へのアピールに繋がり、結果として市民が誇れる市になるのでは。(50代 男性)
- 平日、仕事している者には、参加できないことばかりです。(50代 男性)
- 20 年以上住んでいますが、町内会や自治会への参加を誘われたり、勧められたことはありません。積極的な地域活動による地域のつながりが「つながりのあるまち」になるのでは？と思います。(50代 男性)
- 多少料金が高くなったとしても、わくわく号の運用便数を増やしてほしい。市民会館の建て替え。スポーツに対するハード面では手厚いが、文化に対するハード面が手薄に感じます。確かに、文化施設(いわゆる箱もの)のほうが予算が必要かもしれませんが、市民会館は古過ぎます…。(50代 男性)
- 市民センター(大規模収容人数)で、一般市民に向けた無料講演会を、もっと開催して頂けると嬉しいです。(50代 男性)
- ボランティア、NPO、シルバー人材と、急増するこどもへの対応は、働く家庭のこどもの保育という観点で、組み合わせることができるのではないだろうか。朝霞市は都内に通勤通学する人の帰るだけの街になりやすい。文化でも経済でも、朝霞市を目指してくる市外の人を増やすことで、街の魅力は向上すると考える。朝霞ブランド、食一など、面白い取り組みもあるが、朝霞市旧来のものが生かされるような形を前提とした商用施設の誘致。例えば、東地区から内間木にかけての開発エリアに、アウトドアブランドと組んだバーベキューやキャンプを中心としたアドベンチャーエリアを作るなど。その近隣に誘致した商用施設での、朝霞ブランドや近隣地域の有名品の展開。(50代 男性)

- 友好的なつながりは歓迎しますが、昭和の中学の部活のようなわけの分からない苦痛なつながりは遠慮します。これからもっと高齢社会になっていくので、元気な方は仕事する機会があってもよいと思う。(50代 男性)
- どれもこれも、税金が必要ですね。不必要なもののカットができるのでしょうか？(50代 男性)
- 大学の整備に応じて、東武や JR に対して朝霞と朝霞台、北朝霞と新座、西浦和の中間駅を企画してもらうなどして、列車と大型のバスに再編して、運行時間も利用率、またお年寄り等が乗車した乗車マナーが微妙(お年寄りが順番をぬかす、お年寄りに席を譲らない)なわくわく号など廃止された方がいいのではないかと？わくわく号の運行は、朝霞市の恥だと思います。(50代 男性)
- 朝霞市は狭いから巡回バスはハイエース位の電気自動車で無料にするか自動運転のバスを取り入れると良い。市役所の駐車場は無料にしてほしいが、無理なら商店街の空いているスペースに無料駐車場を作り、区画をある程度整理して駅に行く通りなどをもっと太く通りやすくしないとダメ。(50代 男性)
- 知らないことばかりで答えられない。(50代 女性)
- 多文化共生について、外国語パンフレットだけでなく何か人の手で支援できたらと思う。急激に外国人が増えているように思うが、道の歩き方や夜間黒目川で騒いでいたりするので、生活面で指導できるようにしてほしい。(50代 女性)
- 問 24 について…外国料理を提供するお祭りを行ってほしい。
問 22 について…スポーツ大会、文化祭の案内をもっとわかりやすくしてほしい。もっと参加型にしてほしい。(50代 女性)
- 自身には関わりがないのでわからないとしか答えようがない。広報紙には、講座情報、スポーツ大会等、開催のお知らせは載っているのを目にはとまります。(50代 女性)
- 検診等、抽選で出来なかった人は次回、優先で出来る様なシステムがあるといいと思います。(50代 女性)
- 多文化共生について 学校給食だけではなく地域を含めたものがあるといいと思う。健康づくりの取り組みをスーパーなどにポスターで貼り出すくらい宣伝してはどうか。高齢者による介護が増えてきているなかどのような支援がされているのかとても気になります。(50代 女性)
- わくわく号の本数を増やしてほしい。(50代 女性)
- 持ち家でなく、町内会に入らないことにした後、各町内会がどのような取り組みをしているのか、どんな行事があるのか等を知る機会がない(知る方法がわからない)。また、市内にどのような町内会があるかもわからないので、広報などで PR していただいても良いのではないかと思います。(50代 女性)
- 带状疱疹の予防接種代金に補助をお願いします。(50代 女性)
- お年寄りの事を考えたら地域のバスの運行をあと少し増やすべきかと。(50代 女性)
- シニア向けの駐輪場がほしい。駅周辺の地下駐輪場にエレベーターがほしい。(50代 女性)
- わくわく号はたまに利用しており、便利でよいと思います。市の無料がん検診を、受けたことがあります。そのときはまるまる無料でしたが、自己負担ありでもよいので、補助がある検診がもっとあると嬉しいです。(50代 女性)
- 和光市総合児童センターの音楽スタジオ(時間により中高生以外でも利用可能)、加須市の市民向けクライミング施設、足立区ギャラクシティの児童向けプログラミング教室・デジタルミュージ

ック部がとても羨ましく、朝霞にも上記のような施設や教室があれば良いのと思います。
(50代 女性)

- シェアする自転車はとても良いと思います。使ったことはないけれど、息子達はたまに使っているそうで、便利だと言っていました。その他の問いはわかりませんでした。(50代 女性)
- 該当しないと伝わらない。見えない。(60代 男性)
- 全般的に具体的な取り組みが不明。(60代 男性)
- 「これまでやってきたことをそのまま続けています。」になっているようです。市民の誰もが参加したいと思うイベントをもっと身近に体験できるように、場所や時期も含め柔軟に考える必要があるのではないのでしょうか。また、海外の方も多くいらっしゃるようなので、その国の文化を市民に知ってもらえるイベントを大々的に開催するなど、住民の融和が図れる工夫をもっとしてはどうでしょうか。(60代 男性)
- 町内会の役員の皆様は、本当に頑張っておられると思っています。わくわく号などは時々見かけますが、乗ったことはありません。緊急通報システムなどは、もっと広く広報してほしいことの一つです。(60代 男性)
- 老若男女にすべていろいろな情報が発信されることを願います。まだまだ分からないことが多い。(60代 女性)
- 60代、70代、定年退職した方たちが家に閉じこもらず、出かける場所、働ける場所がたくさんあると良いと思います。(60代 女性)
- いろいろな取り組みがありますが、参加者を考えて、土・日に開催になりますが、仕事のため、土日は参加できなくて諦めることがあります。内容によっては、土・日以外や夜間の開催など考えていただくと参加しやすい。個人的な意見で申し訳ありません。(60代 女性)
- 朝志ヶ丘も昔はそれなりの商店街だったと思う。夕方になると賑わっていた。小売店の人達の生活の支援を考えると商店街の維持は厳しいと思う。元気な街？生活が豊か⇔それなりの生活費が必要と思うと日本は貧しい国のように思える。(税金・年金・介護保険・消費税・教育費・国が市民からお金を取りすぎていない)(60代 女性)
- コロナの流行をはさんで、人の交流の質が変化したようにも思います。内向きになりがちな人間関係を、また活発にできるよう交流の場を広げてほしいと思います。(60代 女性)
- わくわく号がワンボックスカーになり、途中のバス停で待っていると乗車できるか心配になります。駅で待っていても乗れるか心配です。免許返納する時に、移動手段が、と考える方がいて返納をやめることがあるようです。(60代 女性)
- わからない、と回答させて頂きました。多文化共生、起業、雇用につきましては、添付されているお写真から、活動の様子が伺え、朝霞市の努力に感謝です。(60代 女性)
- 情報収集の方法を多様化してほしい。(60代 女性)
- 一人暮らしをされている高齢の方は、隣近所との関わりに対して関わりやすいかどうか疑問です。日々の生活の中で、ほんの少しの事で疑問を感じた時に話せる隣人が特に必要かと思います。人の入れ替わりで隣近所でも顔がわからないのでは、事件に巻き込まれやすいのではないのでしょうか。(60代 女性)
- わくわく号について、以前は西朝霞公民館入口(西武バスバス停)前を通るバスがありました。が、おそらく西武バスが増えたことからか、廃止されました。現在は西武バスの運行がかなり減り不便になっています。その路線の復活など検討していただけないのでしょうか。(60代 女性)

- 世代間の繋がりや、それぞれ世代の持ち味を他の世代と共有、補完し合い、どの世代も元気なまちになると思います。(60代 女性)
- 興味深い取り組みもありましたが、具体的な内容が分からず、市役所 HP などにアクセスしてみます。バスなど幹線道路の交通網について、知りたいです。(60代 女性)
- シルバーセンター、まちづくり推進課の能力の向上。人を大切にする働きのある楽しい職場。常に従業員に雑な扱い。人員不足。(70歳以上 男性)
- 南口駅前通りを賑やかにしてください。(70歳以上 男性)
- お互いに手をつないで前に進む姿が薄らいできてしまったようです！(70歳以上 男性)
- 食物の物価が上昇しておりますが、商店街で特割日の宣伝をしてもらえれば良いと思います。(70歳以上 男性)
- シニアのパソコン、スマホ教室はありがたい。もう少し日数を増やせないでしょうか。こども食堂の数が少ないのではないのでしょうか。もっと増えますか。(70歳以上 男性)
- 各種スポーツの趣味を持つ人は多いと思います。用いる道具は各人が用意するとして、拘束なく順番待ちで個人が楽しむ機会を与えることは出来ないのでしょうか。(70歳以上 男性)
- 1. 自治会は災害時や、独居世帯、障害のある方たちの見守り、等々をはじめ、近隣の人たちのコミュニケーション醸成の面でも、とても重要である。加入率低下の阻止、そして向上に取り組んでほしい。
2. 自治会、警察、消防や民生児童委員との連携を強め、地域力の強化を図ってほしい。(70歳以上 男性)
- 都内(区内)から引っ越して感じたのは色んな活動(スポーツや趣味など)の勧誘活動の少なさです。やはり朝霞市単独では小さいなと感じています。少なくとも 4 市が連携して活動をしていく方向が望ましいと感じます。(70歳以上 男性)
- 市として諸施策は実施していると思うが、実際に活動すべき町内会等のエリア組織が十分な活動を実施しておらず、尻きれトンボ状態と思う。また一部の人、一部のエリアだけの活動で朝霞全体の活動にはなっていない。高齢者の運転免許返上を推進しているが、わくわく号は運行本数は少ない等の問題がある。(70歳以上 男性)
- 自治会や会合は辞める人が多い。昔ほど街そのものに愛情を持っている人が少なくなったと思う。(70歳以上 女性)
- 带状疱疹予防接種の助成金額を増やしてほしい。公共施設の改修工事について、施設を利用して健康や体力維持を目指し活動をしているサークルの実施場所が失われています。(中央コミュニティセンター)工事の期間中に、安価で利用できる場所を仮設でも良いので作って頂きたいと思います。(70歳以上 女性)
- 関わってないものが多いので分からないが多くなってしまいました。コミュニティバスの運用に関しては町内会から要望を入れ、今年から始まったようですが、利用者にとってどこまで便利かはこれからの課題かと思います。(70歳以上 女性)
- まだ活用した事が無いので分かりません。(70歳以上 女性)
- 参加したいものもあるのですが、そこまで行く手段がないです。(70歳以上 女性)
- 随分色々な取り組みがされていますがそれに関する情報は、広報に載っているのでしょうか。わくわく号も以前は利用していましたが、便が激少し、時間が合わなくなり等で使用できなくなり

ました。統計を取って減らしたのか、聞きたいです。(70歳以上 女性)

自然・環境に恵まれたまち(問33～問41)

問 33.『自然と調和した適正な土地利用の促進』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・緑を生かし育むシンボルロードの維持管理 ・都市公園の維持管理
- ・ふれあい花壇(わくわくどーむ前)の草花の植栽 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	57	21.9
どちらかといえば満足	130	50.0
どちらかといえば不満	30	11.5
不満	23	8.8
わからない	20	7.7



シンボルロード



ふれあい花壇
(わくわくどーむ前)

問 34.『市民との協働による河川環境や樹林地、湧水、公園緑地などの保全・活用』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・里山保全活動 ・都市公園の清掃、除草
- ・川の国応援団による黒目川など河川の美化活動 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	46	17.7
どちらかといえば満足	140	53.8
どちらかといえば不満	24	9.2
不満	17	6.5
わからない	33	12.7



里山保全活動

問 35.『地域の特色を生かした美しい景観の保全・創出』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・景観計画に基づく届出制度を活用した景観づくり
- ・道路の植栽帯の除草、剪定
- ・景観重点地区の指定による規制強化 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	50	19.2
どちらかといえば満足	103	39.6
どちらかといえば不満	33	12.7
不満	26	10.0
わからない	48	18.5



公園通りの並木道

問 36.『環境保全のための活動の支援、環境にやさしいまちづくり』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・きれいなまちづくり運動の実施
- ・不法投棄監視パトロールの実施 ・美化ポスターの募集 など



きれいなまちづくり運動



美化ポスター展示

問 37.『循環型社会の構築に向けた市民と行政が一体となった取組の推進』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・リサイクルショップの運営及びリサイクル家具類の販売
- ・ごみの減量等に関する情報の発信
- ・住宅用太陽光発電設備設置の推進 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	29	11.2
どちらかといえば満足	113	43.5
どちらかといえば不満	43	16.5
不満	15	5.8
わからない	60	23.1



リサイクルショップ

問 38.『朝霞のあゆみを後世に伝えていくための地域の歴史や伝統文化の継承・保護』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・埋蔵文化財確認調査や発掘調査の実施
- ・博物館での企画展開催
- ・重要文化財「旧高橋家住宅」の管理 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	37	14.2
どちらかといえば満足	123	47.3
どちらかといえば不満	24	9.2
不満	16	6.2
わからない	59	22.7
無回答	1	0.4



博物館 企画展の様子



国指定重要文化財
「旧高橋家住宅」

問 39.『恵まれた自然や環境を生かした朝霞独自の文化の継承・創出・育成』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・指定文化財の新規指定・保護
- ・芸術文化展や市民芸能まつりの実施 など

回答内容	人数	構成比(%)
満足	33	12.7
どちらかといえば満足	115	44.2
どちらかといえば不満	23	8.8
不満	12	4.6
わからない	77	29.6



市指定無形文化財
「溝沼獅子舞」



県指定史跡
「柊塚古墳」

問 40.『まちの活性化を図るため、市民と市の協力によるまちの魅力(文化・環境・ひと)の発信』の取り組みについて、日々の生活の中でどのように感じていますか。

<主な取組内容>

- ・市民まつり「彩夏祭」の開催支援
- ・市の資源等を活用したシティ・プロモーション
- ・官民連携事業「ASAKA STREET TERRACE」
- ・イルミネーション「あさか冬のあかりテラス」など



市民まつり「彩夏祭」



「ASAKA STREET TERRACE」

回答内容	人数	構成比(%)
満足	81	31.2
どちらかといえば満足	135	51.9
どちらかといえば不満	20	7.7
不満	13	5.0
わからない	10	3.8
無回答	1	0.4

問 41.「自然・環境に恵まれたまち」(問33～40)について、御意見などがありましたら、記入してください。

- 緑の多い綺麗な町だと感じています、整備してくれている方々ありがとうございます。彩夏祭やイルミネーションも楽しませていただいています。(20代 女性)
- 夏になると、道路の雑草が多すぎて歩けなくなる。(30代 男性)

- 朝霞台駅エレベーター設置工事に伴って花壇が無くなりましたが、きれいに整備されていたので残念です。わくわくどーむは立地があまり良くないので、施設や職員さんは良いのにもったいないです。わくわくバス増便をお願いします。リサイクルセンターは営業しているのかわかりづらいです。行政施設に共通することですが、どこも「なんか暗い」です。節電等もあると思いますが、利用されないのでは元も子もないので明るくなることを期待します。「まちの活性化を図るため、市民と市の協力によるまちの魅力(文化・環境・ひと)の発信」はほぼ朝霞駅～朝霞市役所エリアにしか当てはまらないように思うので、お祭りはともかくシティプロモーションはエリアを限定せずにやってもよいのでは。お祭りについては内輪で盛り上がってる感もあるので、どうかしてほしいです。(30代 男性)
- お隣の志木市と比べても、圧倒的に河岸に雑草が茂り美しいとは思えない。青葉台公園周辺もあえて自然を活かすと言えば聞こえがいいだけで、整備が今ひとつの雑木林が多く、安全面でも不安を感じます。(30代 女性)
- イルミネーションなど、綺麗な景観はこどもたちのワクワクした気持ちを盛り上げ、朝霞市が大好きになる良いきっかけになると思います。(30代 女性)
- 彩夏祭やストリートテラス、イルミネーションの取り組みは毎年家族で楽しませてもらっているため、今後もぜひ続けてもらいたい。(30代 女性)
- 以前から言っていますが、管理できないなら道路の植栽帯？は撤去していただきたいです。夏場は管理が行き届かず伸び放題、車にぶつかり嫌な思いをします。ボランティアの方がやっていますのでしょうか？人手不足なのであれば業者に依頼するなど、予算をたてほうが良いように思います。ボランティア頼りの植栽帯は管理ができないなら不要です。毎年イライラします。人が立っているかどうかの視認性も悪く、何とかしてほしいです。(30代 女性)
- 自然が沢山あって嬉しいです。中央公園前の道は、どんな季節に通っても心躍ります。(30代 女性)
- ASAKA STREET TERRACE やイルミネーションなど、楽しませていただいています。北朝霞駅方面でも似たような催しがあればいいのに、と思います。(30代 女性)
- 博物館は意欲あふれる職員の方々のご尽力の賜物と思いますが、展示や講座が充実して利用させていただいています。朝霞出身ではない住民の割合が非常に多いと推察しますので、地域の歴史を知ってもらう取り組みは大切だと思います。(30代 女性)
- 問 36 に関連して、ゴミの不法投棄がここ数年で改善したように感じます。各種活動が身を結んだからではないかと思います、ありがとうございます。問 40 に関連して、「彩夏祭」も「あさか冬のあかりテラス」も毎年楽しみにしています。(30代 女性)
- 近年、畑が減少し、宅地化が進行しています。段々とのどかな風景が減りつつあります。できる限り緑を残してほしいと思います。(40代 男性)
- もっとイベントを増やしてほしい。ストリートテラスの回数を増やすとか、フェスを開催するとか。(40代 男性)
- 駅徒歩 10 分の自宅から駅までこどもと歩いてる中で、こどもがタバコの吸い殻を数えてたら 100 本になりました。普段は気にもとめてなかったですが注意して見てみると。その他、プラごみも目につきます。地道な意識啓発くらいでしょうか。(40代 男性)
- 自然を生かそうという動きはよく見える。彩夏祭やイルミネーションも頑張って継続してほしい。(40代 男性)

- 指定された自然・環境の絶対数は多いと思えず、宅地化やマンション建設で数少ない農耕地や雑木林は消えました。シンボリックなモノの保全をもって恵まれたとするのは違うと思う。(40代 男性)
- ・”自然”を重視するあまりに整備されず雑然としているところもあります。例えば、朝霞の森は伐採しないエリアを作っていますが、握ると手が切れてしまう草が大人の背丈ほど伸びています。ケガをすることも含めての遊び、体験なのかもしれませんが、顔や目が傷ついてしまいそうで、遊びにくく、結果的に限られた場所で遊ぶことになり残念に思うことがあります。
・公園通りに関しては、良く整備されていると思います。ただ、他の通り、1つの道路をへだてると、木の根の増殖により歩道がぼこぼこしていたり、穴や凹みによるガタガタ、折れてしまいそうな木の枝が歩道に被さっていたり、歩道の植栽の枯れたものが隅に積み上がることにより歩道を狭くしてしまったりと、”自然に恵まれること”と隣り合わせにきちんと整備していくことが付きものであると感じています。また、整備されていないところ、草が多い茂っているところなどにはゴミを捨てられやすい、集まりやすいのかなとも感じ、負の循環もあるように思います。市の施設の近辺だけでなく、市及び区との境の方まで「朝霞市である」と思い、整えていただきたいです。公園通りが整備されている分、他の手入れ具合が隣接する市や区と比べて気になることが多いです。(40代 女性)
- 問 34・35 について、市による公園整備や植栽の除草は出来ていない。近くに住んでいると気になって自分で除草等をやりたくなるが、「きれいにすると市がやってくれなくなる」と言われたことがあり、1年に〇回、〇月頃に実施する等、予定を教えてほしい。旧高橋家住宅までのアクセスが悪すぎる。興味はあるが、行くことが不可能。また、博物館の企画(講座)は何度か参加させていただき、とても満足している。内容が充実しており、講師と博物館職員との連携も良いのが分かる。ただこちらもアクセスが悪いのが不満。タクシー利用しています。(40代 女性)
- 新築建売住宅は、狭小住宅が多く建て込み、地震・火事の際、延焼被害がとても心配です。新築戸建て住宅の敷地面積が改めて25坪以下にならないよう規制が必要だと考えます。ご検討のほどお願いいたします。(40代 女性)
- 黒目川の土手の道が、ガタガタ過ぎて通行しづらい。土手の草が伸びすぎていて歩行者が通れず、車道に出ないと歩けない。(40代 女性)
- 彩夏祭やイルミネーションのイベントはとてもいいと思う。朝霞らしいイベントが増えたらいいと思う。志木のカパルみたいにもっとぽぽたんを利用した方がいいと思う。(40代 女性)
- 黒目川の土手は、整備により散歩しやすくなりました。土手沿いにトイレがもう少し多くあるとよいと思います。(40代 女性)
- 朝霞浄水場前の街路樹の枝が伸びており、自転車レーンを走行する際、枝に当たる。危険で走りにくいです。(40代 女性)
- 道路脇の植え込みにゴミが散らかっている事が多い。(40代 女性)
- 楽しいイベントが多くて恵まれているな、と感じます。(40代 女性)
- 自分自身の身の回りに関する問いには答えやすいが、利用したことがない、聞いたことがあることには「わからない」という回答になってしまいました。参考になる写真があるのでイメージしやすくて良かったです。(40代 女性)
- 道路の草木ですが、剪定費用を費やしたくないのか、真夏はおそらく2メートル以上に伸びてしまっているものもあり、非常に見栄えが悪いです。きちんと維持出来ないようでしたら、草木は植えない方がいいと思います。ゴミも無造作に捨てられている様子を目にする度に、残念な気持ちになります。(40代 女性)
- 彩夏祭は熱中症との闘いです。夏休みではなく、秋に行ってほしいです。(40代 女性)

- 整備されるのは市役所近辺ばかり。近くに公園が出来たら、ゴミ置き場に不法投棄(特にお酒の瓶缶類)が増え困っています。ゴミは持ち帰るよう、全公園に大きく掲示して頂きたいです。(40代 女性)
- 植木などで道路の見通しが悪くなっている公園等がある。車両や人が通行する時の安全面を考えながら、公園等の維持管理をすべき。(例えば、車を走行中に交差点で安全確認をした時に、公園の植木で左右が確認しにくいなど)(40代 女性)
- 高橋家住宅や博物館で、朝霞や地域の歴史を見学したことがあります。これからも運営維持できるよう、頑張っていただきたいと思います。(40代 女性)
- 緑がたくさんあって好きな街並みも多いです。(40代 女性)
- 自然保護の活動に大変関心があります。朝霞市は黒目川や里山など、残されている素晴らしい自然があります。もっと市民の皆さんに朝霞市の自然の良さを感じてもらえるようにしたいです。(40代 女性)
- ・シンボルロードのイルミネーションに統一感がない。
・彩夏祭は朝霞市民が優先される部分をもっと作ってほしい。
・リサイクルショップは買取基準などが厳しいので利用していない。若い人たちがもっと気軽にこどもの古着などを出品したり購入できるようにしてほしい。(40代 女性)
- 彩夏祭の露店が少なすぎて混雑しすぎているので行列をなくしてほしい。(50代 男性)
- 貴重な朝霞の歴史を伝えるにいたっていない。市内の歴史名所をめぐる、コミュニティバスによるツアーを行ったらいかがか。その際には、歴史を研究しているサークルの方々にガイドをしていただければ。(50代 男性)
- 市政の取り組みに対して知らないことが多くあると思われます。アピールの仕方を強化してもよいのではないのでしょうか。また、高齢者等含め休憩場所(ベンチなど)を増やしてもよいのではないのでしょうか。わくわく号など市内循環バスなどもとてもよいのですが、本数が少ないのと、料金が高いと思われます。また、利用したいと思われる場所に行っていないのではないのでしょうか。(50代 男性)
- 夏の「彩夏祭」は、大変な賑わいがあり盛り上がっていますが、それ以外のイベント等はあまり人手がでていない気がします。特に朝霞市の埋蔵文化財など、どんなものが出土されているのか知らないことが多いです。朝霞市の観光の面からも、もっと PR する必要があるかと思います。(50代 男性)
- 何をもって、自然・環境に恵まれたまちなのか良くわからない。都会でありつつ、豊かな自然があるということであれば、そのギャップを大きくすることが大事であり、前者への取り組みがあってこそではないかと思います。(50代 男性)
- 個別の件ですみません。朝霞病院の敷地から道路に出てきている大きな木の枝葉が危険と感じています。敷地から枝葉が出ないように伐採を病院に指示していただけないのでしょうか。大型車の屋根に当たりそうであったり、強風で枝が折れたときに通行人や車にケガや損傷を与えないか木の下の道路を通るたびに心配になります。被害が出ないうちに対処をお願いいたします。(50代 男性)
- 活動している方に対し、感謝しています。(50代 男性)
- シンボルロード等の整備は素敵でした。が、実生活で年 1 回行くか行かないかです。毎日通勤で歩く道路の再整備はもっと市民の皆様に実生活で毎日に役立つと思いますので、細やかな面への対応にも今後期待したいと思いました。(50代 男性)

- シティプロモーションは良い取り組みだと思います。(50代 男性)
- ASAKA STREET TERRACE の開催回数を増やしてほしいです。(50代 男性)
- 環境保護と防災対策を別に考えるのではなく、同時並行(なんなら同じ担当者)が考えることが効率的に思います。(50代 男性)
- こどもが彩夏祭で踊っているが、暑さが危険な為、時期を変えてほしい。彩夏祭の夏の漢字にこだわる必要は無いと思う。死人がでてからでは遅い。(50代 男性)
- 朝霞の強みの一つである、自然と都心部へのアクセスの良さはさらにいかすことができるのではないか。自然との共生はこれからの企業誘致にもますます有利な要素であり、専門の部署、チームを市に設置してないのであれば、設置するべき。(50代 男性)
- いろいろと取り組んでいただいていてありがたいです。黒目川なんか私の小さい頃はどぶ川でしたので。ゴミはとても捨てづらい。多様なゴミを処理できるようになってもらいたい。リサイクルは思っている以上に引き取り手もないし何よりも持っていく手段が限られる場合はなんともできない。(50代 男性)
- いろいろ努力されているのかもしれませんが、アピールもアクセスも微妙。観光客含めて、「自然・環境に恵まれたまち」をアピールしたいのなら、それぞれの施設に電車でアクセスしやすいように土産物や飲食店を配置すべきだが、歩道は狭い、駅からはアクセスしにくいだと意味がないのでは？ヤオコーや東洋大が整備と同時にそれぞれの施設に歩いていっても楽しいように幅広の車道、歩道。車道が用意できないなら歩道だけでも準備し、歩道の周りに様々な施設や土産物や飲食店も配置、市民が歩いても、観光者が歩いても楽しい、自然・環境に恵まれたまちづくりをすべきでは？(50代 男性)
- 黒目側の歩道をもっと整備してほしい。信号がない所で横断するので轢きそうになる。キチンとくぐれるようにしたり、城山公園のくぐるところももう少し歩きやすくして朝霞市をぐるっと歩けるようにすると面白い。自転車も走れるとなお良い。駐車場も必要。(50代 男性)
- 都心に近いのに自然の多い朝霞市を気に入ってます。もっとアピールすれば良いのに！と思っています。(50代 女性)
- 美しい景観の保全について、駅周辺とわずマンションだらけ、ビルばかり見えるのはとても美しいとは思えません。マンションが増えればゴミも増えます。CO₂も増えます。もう少し環境を考えてほしいと思います。また、リサイクルショップは条件がうるさい割に欲しいと思うような物が売っていません。基準がよくわかりません。(50代 女性)
- 発掘調査の実施の方法を予算を含めて見直してほしいです。(50代 女性)
- 問 36 について…朝霞台駅でたばこを吸っている人がたくさんいます。たばこを吸っている人に注意するか、吸っていいところに誘導するかしてほしいです。(50代 女性)
- リサイクルショップの情報をもっと発信してほしい。シンボルロード等、いつもきれいにしていただきありがとうございます。ただ、秋から冬にかけてのいちごの落ち葉がいつまでも落ちているのが気になります。マンション建設多くないですか。(50代 女性)
- ごみの減量に関心があるので、今まで以上にごみの出し方をわかりやすく知りたい。収集する方が楽にできるような方法を発信してほしいです。(50代 女性)
- ゴミの減量は是非進めていきたいのですが、スーパーで買い物すれば増える一方です。商店街が活気づけば少し減るのかなあ、とも思います。街の景観について朝霞の東口はもう少し良くなればと思います。イルミネーションは太陽光を取り入れるなど節電されているのでしょうか。(50代 女性)

- ここ 10 年ほどですっかり朝霞の緑が減った気がする。水害に遭う可能性が高い低い土地への公共施設建設をやめてほしい。朝霞本町のマンション銀座化はストップかけてほしい。(50代 女性)
- リサイクルプラザの出品数が増えたのは嬉しいです。ネットの活用で品物の紹介をしたり回転率を上げる事が出来るのではないかと思います。(50代 女性)
- 彩夏祭はもちろん、駅前イベントやシンボルロードイベントは楽しみにしています。シンボルロードや市役所前がきれいになり、市民の憩いの場としての活用が増えているので、住みやすい環境に恵まれたまち、いつまでも住みたいまちに成長しているように感じております。(50代 女性)
- 『まちの活性化を図るため、市民と市の協力によるまちの魅力(文化・環境・ひと)の発信』については、彩夏祭をはじめ、イルミネーションイベント開催等、とても満足しています。特に彩夏祭の花火は毎年楽しみにしています。彩夏祭は朝霞市民の楽しみであり、誇りであるイベントだと感じています。(50代 女性)
- 朝霞は緑が多く、住みやすいと感じています。ぜひこの緑豊かな街を守っていきたいです。(50代 女性)
- 循環型社会の構築とありましたが、朝霞市として構築されようとしていることを知らず、注力しているようには思えなかったので、取り組みとして物足りなさを感じます。燃えるゴミの多くを占める生ごみ削減にキエーロや、LFC コンポストを市として導入、ごみ削減を積極的に行い、ごみ焼却にかかるエネルギー負荷を軽減したり、市民同士が不要になったものを譲り受けしあえるような仲介を担っていただくなど少しでも市内で循環できる仕組みを創出していただきたいです。(50代 女性)
- 黒目川沿いの遊歩道は、いつもきれいに整備されていて、気持ちがよいです。(50代 女性)
- 島の上公園の樹木が、病気等でかなり伐採されています。伐採した後、新たに植樹はされないのでしょうか。土壌がスカスカになり、将来的に地滑り等に繋がらないか不安です。(50代 女性)
- 四季を感じられる場所もあり、気持ちよく思います。もっと緑が増えても素敵かなと感じます。(50代 女性)
- 黒目川沿いの遊歩道で、何に数回除草作業をしてくださっていますが、夏場は草ボウボウで人が一人やっと通れる程度の道幅になっています。(溝沼黒目橋から泉橋の上流に向かって右岸側)改善して頂けると助かります。(50代 女性)
- 自分に関心がなさすぎるのか、朝霞市が何をやっているか全体を通してわからないことばかりでした。(50代 女性)
- 今年のイルミネーションは、素敵です。今後もクオリティーの高い物を期待しています。アサカストリートテラスのイベントも良かったです。(50代 女性)
- 自然・環境に恵まれた街になっているようには思えません。これもこれまでやってきたことをただ続けているように思います。自然を大切にしているといわれる割には、雑木林を伐採したりしてマンションなどの建設に歯止めがかかっていないようです。指定文化財の保護だけでなくPRをして見に行っていただく工夫や維持管理の財源の確保を考えた工夫。維持管理に市民が参加できたらいいですね。市民芸能祭りを市民祭りの基本にするぐらいの工夫があるととっても良いのでは。よさこいは市民祭りではないような気がいたします。(60代 男性)

- 外部から見えるところを意識している。日々暮らしている側としては、住みやすいとは言えない。特に本町地区の高層マンションの乱立には現住民の生活環境を脅かしている。日照問題、ビル風の問題は深刻な環境問題となっている。(60代 男性)
- 1.全般的に具体的な取り組みが不明。市民の目に見える形で実施すべきだと思います。
2.小中学校での教育が重要だと思います。(60代 男性)
- ゴミは大きな問題と思っています。高齢の方々をみていると、ゴミのカゴを出すだけでも大変そうです。公平性を担保するため順番に担当することになっていますが、早晚、若い方しか担当できなくなり、大きな問題となるのではないのでしょうか。また、昔から住んでいる方の多い地域では、ゴミを出す場所の確保も難しいところがあります。すでに御検討済みかとは思いますが、どのように取り組むべきかといったロードマップをお示し頂きたいものです。(60代 男性)
- 問 40 は、ありがとうございます。頑張ってください。(60代 女性)
- 畑がなくなるとすぐに宅地になってしまう。自然・環境保全にもっと力を入れてほしい。住宅を作るのであれば、空き家をもっと活用したり、畑がなくなるのなら、もっと良い活用法を考えてほしい。自然が豊かであれば人々も過ごしやすい。樹木が少なくなるのも悲しい。(60代 女性)
- 岡の城山公園は、歴史も感じられる貴重な場所でもあります。なんとなく寂れているように感じます。魅力のある憩いの場となる公園にしたら良いと思います。(60代 女性)
- 文化財・湧き水等を調べに見に行ってきたのか。どれも「えー」というもので伝えられるものではない。それに使う財源があるなら未来のこどもたちに使ってほしい。(60代 女性)
- 水路の土の部分から草や木が生えていても、そのままの状態になっているので、定期的に除草して環境を整えてほしいです。(60代 女性)
- みどりも多く大変住みやすいです。黒目川もきれいで、お散歩がたのしい。(60代 女性)
- 朝霞市の自慢できる自然は今後も守り続けてほしい。(60代 女性)
- 博物館、伝統芸能につきましても、身近に感じる機会がなく、回答を控えしました。朝霞市は、とても綺麗で、また、環境保護のための取り組みも市民の皆様の意識が高く、これも朝霞市のスタッフの皆様の呼びかけ、情報の発信力が行き届いていることをとても強く感じます。この緑豊かで、歴史、伝統のある朝霞市はとても魅力ある市です。(60代 女性)
- 毎年彩夏祭楽しみにしています。黒目川の水質も維持してほしいです。(60代 女性)
- 自然の多い街であり、伝統となりつつある祭りがあり、これから移住してくる人達が増える街だと思う。(60代 女性)
- 以前は、色々なところから富士山が見えたものです。地名にもあると思います。戦争の遺産を知る事から、残していく価値あるものに対して、無意識にゴミの不法投棄が減ることを望みます。(60代 女性)
- リサイクルがし易い取り組みが増えるとよいです。所沢市では、不要になった書籍を回収し、まとめてブックオフに売却し、収入をこども食堂に寄付する取り組みをしていると新聞で読みました。(60代 女性)
- 美化の維持と活用。(60代 女性)
- イルミネーションはきれいですが、もったいないです。ここにお金をかけすぎないで、安全・防犯・教育・福祉などに予算をまわしてほしいです。(60代)
- 城山を早く開放してください。(70歳以上 男性)

- 人に頼りがちな分野ですが、小さなことでもひとつでも自分で実施する方向で進めたいですね！(70歳以上 男性)
- 新河岸川側最後の昔の風景を市が買い取っても残すべき。場所：宮戸橋北西側(通称「ハケ」)。(70歳以上 男性)
- 柁塚古墳について、古墳の状態を保つには、立木の整備をしっかりとっていただきたい。手入れされていないように思える。(70歳以上 男性)
- 自然の中にアスファルト等で道路を作らないでほしいです。(70歳以上 男性)
- 公共道路、物を放置しない。(70歳以上 男性)
- 朝霞市民中心のリサイクル市の開催(ガレージセール)業者が目立ちすぎる。参加者の4分の1位ならどうか。(70歳以上 男性)
- 黒目川の土手沿いに桜の若木を植樹することを始めませんか。そのための有志の会を発足させても良いのではないかと思います。(70歳以上 男性)
- 安全のためにも道路にはみ出した樹木の枝や電線に設置した枝の除去を進めていただきたい。(70歳以上 男性)
- 上を望めばキリがありませんが、よく頑張っていると感じています。(70歳以上 男性)
- 一部の人、一部のエリアだけの活動になっている。
 - ・町内会活動の低迷で、きれいな町づくり運動は少数の限られた人のみの活動。
 - ・ある特定エリアだけの活動になっている。(文化財でありながら膝折協本陣は保全がなされていない。黒目川の清掃活動も一部エリアのみ。)高齢者が歩いて数分のエリアでも美しい所であれば、それで自然・環境に恵まれたまちと感じられるはずであり、そのためには、朝霞市内の道路に花を飾り、それをみんなで手入れするような街づくりをした方がよいのでは。最近の彩夏祭、イルミネーションは本当に市民の祭りなのかと思う。他のまちでもできるようなイベントではなく、同じ税金を使うならば、朝霞ならではの祭りにしてほしい。(70歳以上 男性)
- 問 33 土地利用の中で、農地が減り、マンションが建ち、空き家が増え続けるように感じています。(70歳以上 女性)
- 市役所のまわりの公園は、よく手入れされているが、膝折の公園はどこも手入れされていない。いつもゴミや枯葉が多い。(70歳以上 女性)
- 自然豊かな環境に恵まれ、日々の忙しさを忘れてしまうくらい、落ち着いた景観がとても気に入っております。(70歳以上 女性)
- 問 34 の荒川沿いを考えると、朝霞までと志木市や富士見市は相当、整備されていて市民が使えるようになっています。朝霞だけ他の機関が土手周辺を使用するようになっていて市民が使えるような工夫がありません 駐車場もないし、市民が使えるようにしてほしいです。以前あった橋が使用禁止になっていますがそれも使えるようにしてほしいです。問 35 の越戸川の和光市側は相当、整備されていて散歩道になってますが、朝霞側は道さえない場所がある状態です。ここの川沿いの整備をぜひしてほしいです。問 36 のウォーキングをしていて、ここの道路、誰が清掃するんだろうと思う場所がたびたびあります(70歳以上 女性)
- 駅周辺などは四季折々の花があり和みます。イルミネーションもとても綺麗だと思いました。(70歳以上 女性)
- 自然、文化遺産等を大切にしてほしい。樹木は切ってしまうと何十年もかかるし、もう少し、宣伝しても良いのでは。朝霞と言ったら此处とか無いから寂しいかな。(70歳以上 女性)

○市政モニターアンケートについて

問 42. 質問数は適切ですか。

回答内容	回答件数	構成比(%)
多い	32	12.3
やや多い	93	35.8
ちょうどいい	130	50.0
やや少ない	1	0.4
少ない	0	0.0
無回答	4	1.5

問 43. 質問項目は適切ですか。

回答内容	回答件数	構成比(%)
適切	64	24.6
やや適切	90	34.6
どちらでもない	76	29.2
やや不適切	20	7.7
不適切	6	2.3
無回答	4	1.5

問 44. 質問の表現は趣旨が分かる適切な表現となっていますか。

回答内容	回答件数	構成比(%)
分かりやすい	85	32.7
やや分かりやすい	47	18.1
普通	82	31.5
やや分かりづらい	33	12.7
分かりづらい	8	3.1
無回答	5	1.9

問 45. 質問の回答はしやすいものとなっていますか。

回答内容	回答件数	構成比(%)
回答しやすい	89	34.2
やや回答しやすい	48	18.5
普通	64	24.6
やや回答しづらい	36	13.8
回答しづらい	19	7.3
無回答	4	1.5

問 46. 今回のアンケートについて、レイアウト・構成・回答のしやすさなど御意見がありましたら、御記入ください。

- 政策にいかして下さい。(30代 男性)
- 質問数が多すぎる。大問の範囲が広いので自由記入欄も書きにくい。時間がかかってタイムアウトしてしまい、また回答することになった。これなら少ない質問数のアンケートを複数回やってもらったほうが回答しやすいし、回答の質も上がると思います。前回の図書館アンケートは回答しやすかったのに、なぜこれほどやりにくくなってしまったのか疑問です。(30代 男性)
- 経験のない事に対する設問が多かった。アンケートの説明文にある「皆さんが暮らしの中で以下の4つのコンセプトを実感できているかをお聞きし」という言葉からすると、経験(実感)した事があるかないか、の質問と、感じ方の質問に分けた方がいいように感じた。例えば、問 40『まちの活性化を図るため、市民と市の協力によるまちの魅力(文化・環境・ひと)の発信』の取り組みについて、利用した事があるか？yes の場合:どのように感じたか(5段階)no の場合:なぜ利用しなかったか(確認用の設問?)など。市が収集したいアンケート項目となっているか、疑問を感じた。(30代 男性)
- 今回のアンケートで初めて知った施策も多く、満足度を問う前に認知度、浸透度を問う設問があってもいいのではないかと思います。(30代 女性)
- アンケートに対する参考画像が添付されているので、わかりやすかったです。(30代 女性)
- アンケートはいつも良いのですが、結果みて残念な気持ちになります。アンケートの集計が本当に集計しただけなので。(意見も要約するわけでもなくそのまま)もう少し分析や整理があってもよいのではないかと思います。似たような意見を分類するだけで、世代ごと、立場ごとに多い意見が見えてくるかと思います。また、過去のこういう意見を基に動きがあったものも報告していただけると嬉しいです。日々、色んなこと言われて仕事にも追われて、大変だと思いますが、例えば AI につつこんで分類・分析してだけの指示でも何かしらそれらしいことを言ってくれるかなと。ご検討ください。(30代 女性)
- そもそも、そういった取り組みをされていることを存じ上げないことが多かったです。(30代 女性)
- 取り組みの例を写真でつけていたり、質問の仕方を工夫してくださっているのは感じますが、「わからない」を選ぶしかない質問が多くありました。必要としている方に取り組みが認知されているのか、取り組み内容が正しく理解されているのかなど、取り組みの目的とターゲットによって答えてほしい人も異なると思うので、すべての設問を等しく質問するのではなく、ある程度性年代別などで分けて質問・集計するのも一案かと思います。特に、外国の方や、子育て世代、障がいのある方など、市からの支援が必要な方々の意見が、このアンケートからしっかり拾うことができるのか気になりました。(30代 女性)
- 市政全体に関わる内容なのでやむを得ないのかもしれないが、質問数が多く他のアンケートより回答に時間を要した。(30代 女性)
- このままで良いと思います。(40代 男性)
- 2回に分けた方がより良い回答が得られると感じました。質問数が多いと後半の質問に対する内容が雑になると思います。(40代 男性)

- 質問項目について、利用者目線でなく、行政目線での文言となっていると感じます。また、内容についても、通常の生活の範囲で目にするものでしたら答えることもできますが、答えられない質問や判断できない質問が多いと感じます。利用者の年代をカテゴリで分けてペルソナを設定して、アンケートを対象者ごとにフォーカスして設問を絞って実施するなどの方が、施策の改善の意味では良い回答が得られるのではと思います。ただの市民の声を聴くだけの事実づくりとしてのアンケートであるのであれば、現状のままで良いとは思いますが。なお、朝霞市は環境も良く、交通の便も良いので気に入っていますし、お祭りや防犯の見回りなど、コミュニティも充実していてよい街だと考えています。(40代 男性)
- 自由記述欄に収まらないことがあるので、余白があり、ありがたいです。(40代 女性)
- 市役所の皆様方におかれましては、日々ご尽力いただきましてありがとうございます。引き続き県内人口増加率第三位の人気の街、朝霞が更なる魅力的な街となり、人が増えても、朝霞の良いところ、のんびりゆったり、自然を感じながら都市としての利便性も享受し、安心して暮らせる街でありますよう、各種取り組みをお願いいたします。特に道路整備と公園整備をお願いいたします。(40代 女性)
- わかりづらい。(40代 女性)
- 取り組みについてわからない内容が多く、「5 わからない」を選択することが多かった。(40代 女性)
- 問題点、取り組み、改善点などがもっと詳しく書かれていると良かったです。普段関わりのない分野だと知らないことが多いため、満足かそうでないかを答えづらかったです。(40代 女性)
- アンケートの回数は多くてもよいので1回の質問数を少なくしていただけるとありがたいです。例えば月に1回(年間12回)にわけて、1回10～20問くらいにする、など。(40代 女性)
- 自分自身の身の回りに関する問いには答えやすいが、利用したことがない、聞いたことがあることには「わからない」という回答になってしまいました。参考になる写真があるのでイメージしやすくて良かったです。(40代 女性)
- ちょっと数が多かったです。(40代 女性)
- 回答項目について、まあこんなものなんだろうと現状維持で納得しているから“満足”なのと、充実しているから“満足”なのと、どちらの場合もありました。どんな環境や設備も、今より改善してほしいものがほとんどだと思います。単純に“満足”という言葉では答えきれないものが多く、どの気持ちに近いかで選びました。改善に取り組むべき優先度を明確にするため、「現状に満足している」、「改善してほしい」など、回答項目の記載を工夫していただければと思いました。(40代 女性)
- 少し質問数が多く、回答するのに時間がかかってしまった。(40代 女性)
- どちらかといえば不満という項目を選んだのは、不満というよりは、もう少し改善の余地があるという表現の方が自分の気持ちに近い。わからないという答えも多かったと思いますが、あまり知らない分野だと満足も不満もないというか、答えられないという感じでした。(40代 女性)
- 質問があいまいで、わかりにくい。(40代 女性)
- 特に何もありません。駅周辺の街づくりに偏っていると思いますが、他のアンケートでも回答したようにこの中途半端なのが朝霞だと思います。ちょっと駅から離れると支援もないし、道路もボロいし、街灯も少ないし、道は狭いし、トンネルは冠水するし、中途半端だけど、もうこれでいいです。(40代 女性)

- 分かりやすく、回答しやすかった。(50代 男性)
- 適切だと思います。(50代 男性)
- 項目を1つに絞り、アンケートの回数を増やせば、より多くのコメントを期待できるのではない
か。1アンケート5分で。市内全域を生かしていただきたい。下内間木は、市民の福利厚生のもと
としてはうってつけ。シティプロモーション課には頑張ってもらいたい。最後に、朝霞水門のライ
トアップをお願いしたい。(50代 男性)
- 自身に直接該当する場合はよいのですが、そうでないものも多かったのも、大変申し訳ないで
すが、わからないという回答が多くなってしまいました。年齢、家族構成などによって質問内容
を変えてもよいのではないかと思います。(50代 男性)
- 今後もこのようなアンケートを増やし、暮らしやすい市政に役立ててもらいたいと思います。
(50代 男性)
- 一生懸命に何を書いても、勝手に、文章が変更されたり、文意までかえられたりするのでは、何
を書いても無駄だと判断し、今後は意見を書かないことにしました。新たな方向性を見いだして
もらえるのであれば、再考しますが、現状では答えるだけ無駄であると判断します。自分たちの都
合の良い意見だけ採り上げて、仲良くやっていったらいいじゃないですか。(50代 男性)
- 日々接していないことに回答するのは難しい。(50代 男性)
- 活動内容自体がわかりませんので、その活動が満足か？不満か？と聞かれても回答できないた
め、ほとんどの回答が「5 わからない」となりました。そもそも活動の認知状況が周知されてい
るか？まずはその部分の確認が必要ではないでしょうか？(50代 男性)
- 参考画像や主な事業が掲載され、分かりやすかった。(50代 男性)
- 問の一つ一つに自由意見記入欄があっても良かったかもしれませんが、全体的には答え易かつ
たです。いつも工夫していただき、気持ち良く回答できております。ありがとうございます。
(50代 男性)
- これからも宜しくお願い致します。(50代 男性)
- 事務局の皆様には感謝致します。引き続き応援したいと思います。(50代 男性)
- おそらく、市役所付近などに住んでいる人は今回のアンケートの内容の件に接する機会もある
かとは思いますが、岡に住んでいて駅にも用事がない私にはあまりピンときませんでした。
(50代 男性)
- アンケートで初めて努力がわかるような街づくりでは、質問は無意味では？今回は、登録できる
かもしれないが、前はタイムアウトで全てのデータが一度失われた。(50代 男性)
- 日常的に直接関わり合うものが少なく、知らないことも多かった。各活動をしているのでし
ょうか。教育関係も防災関係も環境保全なども見えません。市民が活動内容を知っていて初め
て答えられるようなものばかりでした。(50代 女性)
- アンケート項目を作るのも大変な作業だと思います。(50代 女性)
- 主な取り組み内容に「公共空間の利活用など」と、具体的にどこをどう利活用するようにしたの
か内容がわからないので、参考画像を増やしたり、実施したことをアピールしたら答えやすいか
も。(50代 女性)
- ご苦労様です。いつもは、アンケート用紙に記入して返送していましたが、返信用封筒が入って
いなかったのも、苦手のインターネットに調整しました。朝霞市は住みやすい街です。関係者の
皆さんのおかげです。市民一人一人の意識も大切だと思います。(50代 女性)

- 情報量が少ないので判断が難しいです。スマホで写真や動画が撮れる時代なので、市からもっと沢山のビジュアルでの発信があれば市が税金で何を行っているのかが分かって有難味も増しますし、不足している部分も分かります。そういう意味で「どう思うか」の問いには答えづらかったです。(50代 女性)
- アンケート内容が選択回答だけの場合だったら、40 問でも多いとは感じないが、文章で考えを述べる問いがある場合は、選択問題 20 問、文章回答 2 問ほどにしてほしい。(50代 女性)
- いつもご苦労さまです。(50代 女性)
- もっと自分に関係のあることだったら答えられるのですが、あまりにも知らないことばかりでした。(50代 女性)
- 質問項目についての感想なのか、質問内容、質についての感想なのかわかりにくい。(50代 女性)
- 設問が少し漠然としていているのかなと思いましたが、写真や説明文が添えてあり、おおよその設問、趣旨がわかりました。(60代 男性)
- 設問で不満か、満足、わからないの 3 択で普通(どちらでもない)もいれてください。可もなく不可もないのあります。(60代 男性)
- 各設問に写真を入れて頂いたので、イメージしやすかったです。(60代 男性)
- アンケートの項目は、3 分の 1 程度、すなわち 10 問くらいが適切ではないでしょうか。毎回感じるのですが、多すぎます。4 つのカテゴリー(安全・安心なまち、子育てがしやすいまち、つながりのある元気なまち、自然・環境に恵まれたまち)に分かれています、毎回 1 つのテーマに絞ってほしい。あれもこれも答えるとなると、回答が雑になってしまいそうです。ご検討ください。(60代 男性)
- かかわらないものはわからないし感じたこともないかな。(60代 男性)
- 今までのアンケートの中で一番回答しやすかった。アンケートのコンセプトも分かりやすかったと思います。(60代 女性)
- 市政の多方面にわたった質問が多かったため、答えられない(わからない)部分が多かったと思います。(60代 女性)
- 字が大きくて助かります。(60代 女性)
- 選択肢が満足か不満かで回答しづらかった。満足でもなく不満でもなく「普通、平均的」と感じたものは「わからない」を選択するしかなかった。(60代 女性)
- 活動されている写真が添付されていることで、活動のご様子が具体的に分かり、とてもありがたいです。また、各質問ごとに、具体例も掲げてあることで、どの点に焦点を当てれば良いのか、大変、明確でした。(60代 女性)
- 評価しているが満足ではないと感じる項目もあり、回答に悩みました。アンケート作成の困難さも感じました。(60代 女性)

- どの質問でも同じことが言えるのだが、どのように感じているかとの問いに対しては、実際そのサポートや運営、環境施設等が身近にないことと、利用をすることがないため、ほとんどが「わからない」としか回答できなかった。利用されている方の回答は、それぞれの取り組みに対して十分に支援援助がされているかといった自分がその立場で利用するうえで、満足する・していないなどの回答になるかと思えるし、このような取り組みを行っているんだと初めて知ったという人の回答では、もっといろいろな取り組みをすべきかどうかの満足度の評価でしかないかと思う。質問で得たい主旨が何なのかが私には理解しにくかった質問の構成であった。
(60代 女性)
- 参考事例の写真もあり、イメージがよくわかりました。(60代 女性)
- 設問の全てが「取り組みについて」「どのように感じていますか」との問いなので、単純に取り組みのテーマについて、実感しているかどうかを問われており、既に実施、施行され実効性が認められる施策ばかりなので、不満という回答はしづらい。何か自画自賛を肯定してもらうためのアンケートの様に思える。施策については、実施者の市として評価や費用対効果がどうなのかを明確に説明されないと「どのように感じている」と聞かれても取り組み内容についての回答は難しい。アンケート項目の具体的内容、選択肢の設定等、作成者には作り方が難しくなると思いますが、今回の内容でアンケートは集計しても意味が見いだせないのでは。
(70歳以上 男性)
- 回答欄にどちらでもないを入れてください。(70歳以上 男性)
- 今回は内容的には多岐になりましたが、項目ごとにまとめてあり、回答がスムーズにできました。(70歳以上 男性)
- わかりやすかったです。(70歳以上 男性)
- 右側の黒の四角(6ヶ)が大きすぎます。考えながら回答していると60分は短すぎます。
(70歳以上 男性)
- もっと皆さんからの意見をもらうような設問にした方がいいのでは。(70歳以上 男性)
- 一つ一つの問いの下になぜその回答にしたかの意見を入れるスペースがあった方が書きやすいです。(70歳以上 女性)

令和6年度ホームページアンケート集計結果

R7.3.31

【アンケート期間】

令和7年1月20日(月)～2月16日(日)

【アンケート内容】

“私が暮らしたつづきたいまち 朝霞”の実感は??アンケート実施中!

市では、将来像(ビジョン)を「私が暮らしたつづきたいまち 朝霞」とし、一人ひとりが「暮らしたつづきたい」と思えるまちを目指した施策に取り組んでいます。

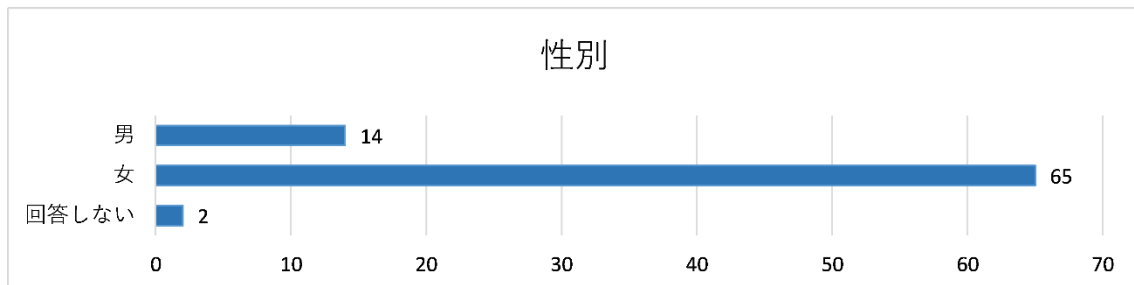
市民の皆さんの暮らしの中で、将来像の4つの基本概念(コンセプト)【安全・安心なまち】【子育てがしやすいまち】【つながりのある元気なまち】【自然・環境に恵まれたまち】が実感できているかを伺い、このアンケートの結果と市が実施した施策とを比較することで、今後のまちづくりに役立てていきたいと考えています。

アンケートへのご協力をお願いいたします!

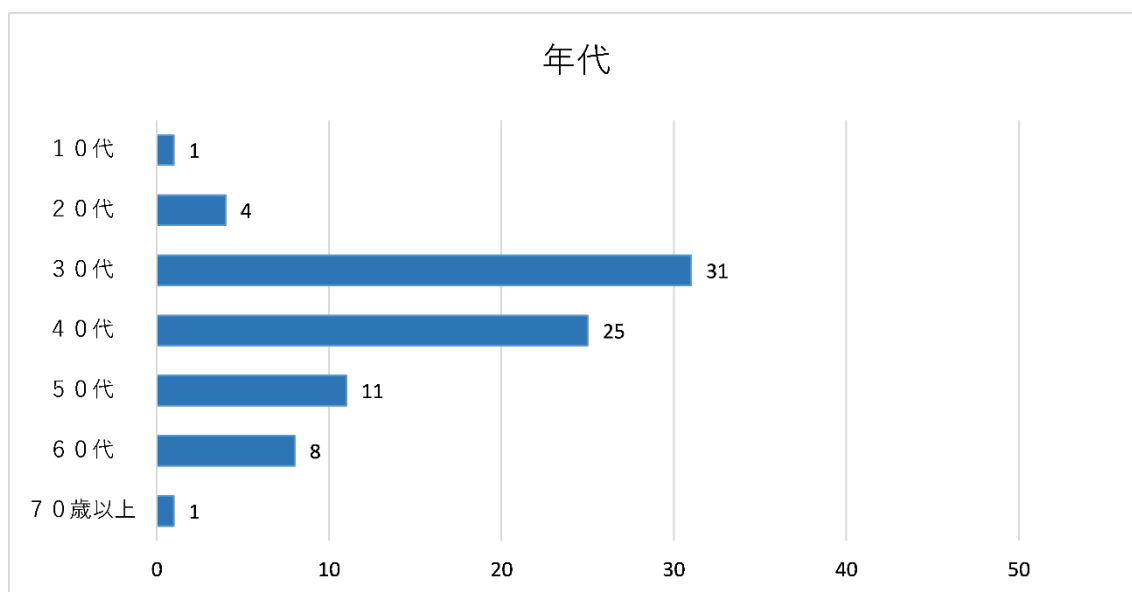
【アンケート回答】

回答数…81件

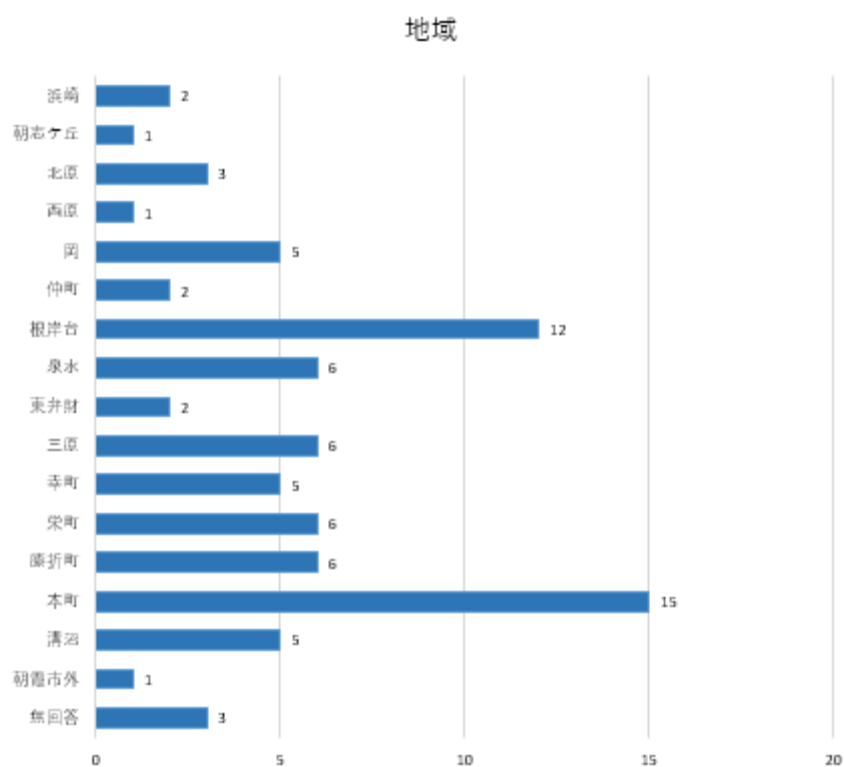
Q-1:性別(単位:人)



Q-2:年代(単位:人)

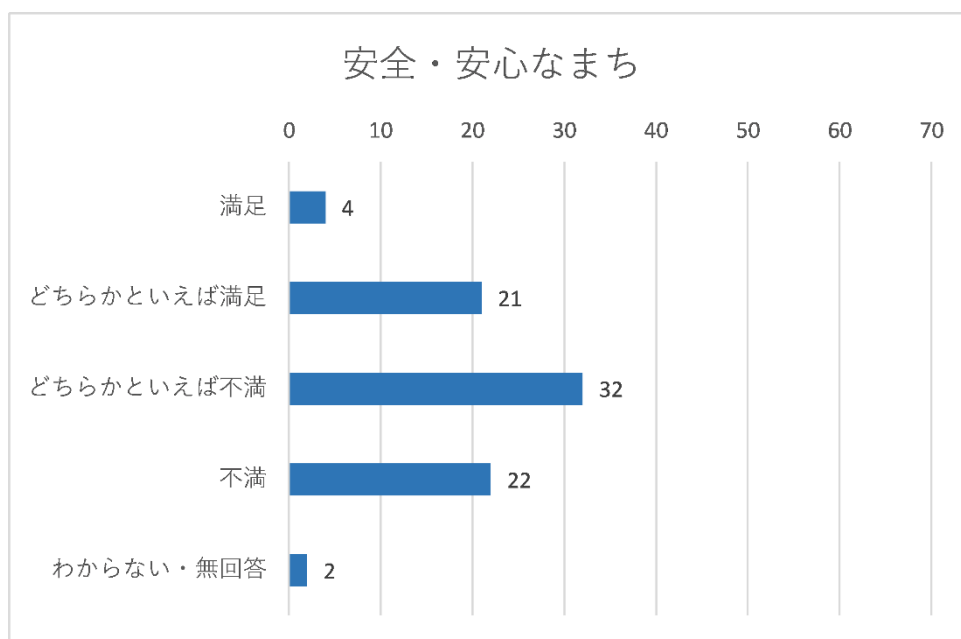


Q-3:住まい(単位:人)



安全・安心なまち

Q-4:「安全・安心なまち」の実感(単位:件)



Q-5:「安全・安心なまち」についての意見

満足

60代	女性	本町	駅近なので、安心感が他の地域よりあるかと思います。下水道管交換工事の際も夜には埋め戻し翌朝再び工事を再開するなど、夜も安全に通行する事ができ、昼間の誘導も含めて丁寧な工事だなと思いました。
40代	男性	幸町	歩道、自転車道の整備をもっとお願いします。とくに朝霞駅から市役所への道路など。

どちらかといえば満足

60代	女性	朝霞市外	根岸台隣接地に居住のため、どこに行くにも狭い坂道を通ることになり、車の運転には気を遣う。 それ以外では特に安全が脅かされることは感じないが、今回の市長選では気持ちの悪い話を、小学生を持つ親達から聞かされた。小学校前での選挙運動とは思えない言動があったようで、学校や選管から抗議や指導はなかったのか、その点も気になる。
30代	男性	幸町	大通り、住宅街含め街灯の数が圧倒的に少なく感じます。特に通学路の周りや公園の周りなどは絶極的に街灯を設置いただきたいです。

40代	女性	朝志ヶ丘	通学路の点検、補修をきちんとしてくれている。
30代	男性	北原	歩道が狭い道路がまだ多い。
60代	女性	溝沼	昨年まで岡3丁目に住んでいましたが、幹線道路に出る際に見通しが悪く、ミラーも見にくいためヒヤヒヤする事が多かったです。手押し信号でなく普通に動く信号なら良いなと思っていました。 朝夕の通学時間の旗振りの方は本当に良く見て頂いていると思います。
40代	女性	泉水	不審者に数回出くわしている。一度は後ろから羽交い締めにされ、警察のお世話になった。見回りを強化してほしい。 朝霞駅、市役所、青葉台周辺は催し物があって賑わっている。 北朝霞駅方面、弁財、三原、泉水あたりはおいてけぼりな気がする。 広い市ではないのだから、市全体が活気付くようにしてほしい。
40代	男性	溝沼	第十小学校付近の道路は狭くて車等の交通量が多く、危険を感じる事が多々ある。 特に溝沼氷川神社入口の交差点から膝折町四丁目児童遊園地への道路。
50代	男性	膝折町	県道の歩道整備が進んでいない。
30代	女性	岡	こどもが歩いている通学路は比較的車通りが少なく、安全な気がします。
40代	女性	岡	家の近くの空き地で不審者を見たことがあります。 子どもたちの通学路でもある場所なので、防犯対策をお願いします。
60代	男性	三原	道路幅が狭い箇所が多く、通行に危険を感じる。 特に夜間の犯罪防止のために照明や安全確保できる施設やシステムを確立してほしい。
40代	女性	膝折町	通学路にまだ危険な箇所があると感じていますが、ポールの設置などで少しずつ改善してきていると思います。引き続き子どもたちの安全のための配慮をお願いしたいです。
50代	女性	三原	自転車の人が歩道を走るマナーが悪いと感じます。朝霞台駅構内の通行も同じ。バス利用のマナーも低いと感じていて残念。

40代	女性	膝折町	子供の通学路に交通誘導の方が常駐されているので、安心感があります。
-----	----	-----	-----------------------------------

どちらかといえば不満

40代	女性	幸町	さいたま市から朝霞に引っ越してきて、子供の検診がさいたま市では病院も日時も選べたのに対し、朝霞市は集団検診で日程や時間も選べないことが、とても驚き、不安でした。当日少し風邪気味でも行くしかないと思いました。保健センターの窓にカーテンもなく、ほぼ裸になるのにパーテーションもなく…駐車場から中を覗き込んでいる人もいました。すぐにでも改善してほしいです。
30代	女性	栄町	ゲリラ豪雨の際に、冠水して川のようにになっている場所がいくつかあり、家になかなか帰れず怖かった。栄町一丁目付近の通りをものすごいスピードで走る車がたまに通る。
40代	女性	三原	道が狭すぎる。 詰め込みすぎ。 狭い道は一方通行か歩行者専用にしてほしい。
30代	女性	東弁財	防災フェアをやってみたいだが、お知らせがない時が多い。 たまたま行った先でやっていて良かった時が多々ある。 例えば、産業文化センターや中学校を会場としたもの。 周知してもらえれば、みんな行きたいと思ってるのに残念だ。
40代	男性	本町	登下校中における信号や横断歩道について自動車との接触に不安があります。全部への配置は困難かと思いますが、主要な交差点において委託もしくは活発なボランティア、シニア活動による見守りを期待します。
50代	女性	岡	昨夏のゲリラ豪雨で住んでいる地域では、浸水被害にあった所が多く見られた。 今後ゲリラ豪雨も恒常的に起こるのでは？と思うと、市として、何か対策が必要だと思います(下水、雨水管対策など)。
50代	女性	無回答	東弁財在住だが、歩道が少なく歩きづらい。 また東弁財は高台なので水害は心配していないが、近隣の溝沼あたりはいつも気になっている。
30代	女性	栄町	街灯が少なく、特に冬の夕方は小学生が歩いている時など見えづらく不安があります。

50代	女性	無回答	幹線道路網の整備に力を入れてほしい。 ・バス通り拡張やガードレールの設置 ・自転車専用ゾーンを拡大されましたが、学生の方などは未だ歩道を逆走されているのが目立ちます。学校で指導してほしい。 ・溝沼火の見下から溝沼坂下間の安全な歩道の確保。ガタガタで危険を感じます。 ・城山通の街灯が暗くて夕刻とても怖いです。明るくしてほしい。
50代	女性	根岸台	まだまだ狭い道路があり危険を感じる。 地下道のゴミが毎回気になります。 地下道を安全、綺麗にするにはどうしたらいいのでしょうか？
30代	女性	本町	狭い道路で車通りが多いところが多くある。また、スピードも出していたりして、歩き、自転車ともに怖いと思いながら通っている。(本町二丁目付近の二本松通り・公園通り、溝沼六丁目交差点の坂等) 青葉台付近の脇道から、市役所の方へ曲がる車が歩行者が青信号でもスピード出して曲がってきていて、止まりもしないことが何回かあるので、いつか交通事故が起きそうで怖いです。(小学生の通学路)
20代	女性	岡	朝霞駅周辺の歩行者用の道が狭い。子連れで歩くとすぐそばを車が通るのでかなり怖い。治安はそれほど問題ないかなと思う。
40代	女性	東弁財	海外の方が増えてきた感覚があります。 強盗などの話も聞きます。防犯面をもっと強化していただきたいです。防犯カメラの増設やセキュリティへの補助金など検討いただきたいです。
40代	女性	無回答	道路が狭かったり、凸凹していたりするので、子どもや老人には危ない。 また、住宅街で街灯が暗く感じる場所があり、夜道が怖く感じる。
30代	女性	根岸台	根岸台ですが、歩道が狭かったり、道が曲がりくねっていて見通しが悪かったりするため、子どもと歩くときに怖いと感じることがよくあります。新しい戸建ても多いですが、もう少し区画整理をしてほしいです。 また、小学校までが遠く、子どものみでの通学に対しても不安があります。

30代	女性	本町	車が多い通り(坂道含む・岡二丁目交差点への坂、二本松通りなど)が歩行者側の道も狭く、自転車等で通るのも困難な場合がある。 もう少し改善策などはないのでしょうか？
40代	女性	本町	六小正門前面道路にある、コンクリート製のポール状の鉄線を支えるものが数本折れた状態で放置されており、折れていないものもいつ壊れるのか通る度に不安がある。子供だけで通る可能性もあるので私有地だとしても気になる。
30代	女性	栄町	通学路なのに歩道がないところが多い。 防災フェアは、駅から近いところで年に何度か行ってほしい。
40代	女性	本町	子どもが1人で自転車で市内を走り回るようになり、心配が多いです。特に駅前。他にも多くの友だちが大人で自転車で毎日遊んでいるので、もっと安全になったら嬉しいです。 シンボルロードは犬の散歩にもとてもよく、歩く所と自転車も別れていてすごくいいと思います。
40代	女性	三原	五小前交差点の信号は、朝の通学時間だけ信号機の切り替えが早いですが、それ以外の時間はなかなか青にならない。短い道路幅なのに待機時間が長過ぎて信号無視して行く人も多い。逆に車も通行時間が長いので、赤に変わってもよく見ないで止まらない車も多いので危ない。昔のように歩行の押しボタンを押したらすぐに信号が切り替わるようにしてほしい。 三原エリアは道が狭くてコンクリートもボコボコ道が多い。 三原の商店街の道は狭いのに車の交通量が多くて子供の通学路なので、通り抜けるだけの車は禁止、速度減速など注意表示が必要。 敷地から木の枝が飛び出ている箇所があり、車などが通ると端を歩くため、子供達の顔に当たって危ない。 三原の志木へ続く旧道沿いは白のフェンスがあり、フェンス内は狭くて歩きづらいし、自転車同士はすれ違いづらいので道路に出ないといけない。

50代	女性	本町	市役所から駅に向かう道について歩道が完備されておらず、駐停車する車が歩道とおぼしき所にとまっているので車道を通らなくてはならず怖いです。また、道路や側溝のふたが綺麗ではなく転びそうになることもあります。 本町二丁目付近、市役所通りの側道の十字路で下水か何かが匂います。 避難場所が少なすぎます。例えば本町は建物だと六小と本町保育園のみ、マンションが乱立しているのにどうやって受け入れるのでしょうか。避難所に入れず自宅避難の場合、食料がいただけるのか、とても不安です。 電線が多すぎて空が綺麗でないのも残念です。
30代	女性	根岸台	自転車が使いにくい。
40代	女性	栄町	朝霞第四中学校と朝霞第八小学校の裏の道路は、四中の生徒、八小の児童以外にも朝霞高校の生徒の通学路になっていて、今の時期は16時半になると日が暮れて暗くなっているのに、街灯が少なく、さらに公園の木がうっそうと生い茂り道路側にせり出していて、街灯が隠れ、暗くなっている危険です。 車やバイクや自転車(子供の自転車を含む)もスピードを出していることも多く危険だと思います。 轢かれそうになってる子供も見たことがあります。 生い茂っている木を剪定して頂きたい他、暗く危険な道路には街灯の数を増やしていただきたいです。
20代	女性	浜崎	・朝霞第三小学校の側にある歩道橋上に木が被っていて危険と感じる。雨天・荒天の日は特に。主に小学生が通る道なので整備してほしい。 ・浜崎氷川神社側の側溝が壊れてるところがあり、危険。歩道も狭く、車通りも多いので夜間に歩行する際は特に危険だと感じる。
60代	女性	根岸台	私の住んでいるマンション隣りに賃貸ができ、歩道ができると思ってましたが、歩道の真ん中までブロックがあり歩行者が危険と思っています。 書類上どうすることも出来ないとの事で返答頂いてますが、出来上がるに従い不安で仕方ないです。
60代	女性	本町	朝霞駅や朝霞台/北朝霞駅周辺でも、安全な歩道が確保できている道が少ないと思います。

20代	女性	幸町	歩きタバコの取り締まりが甘いとおもう。警察などとの連携はもちろんだが、コンビニ各社などとも連携して喫煙者を野放しにしないようにしてほしい。また、公園での吸い殻も目立つ。その辺りもしっかりしてほしい。 シンボルロードにおいて、せっかく自転車と歩行者の道を分けているにも関わらず通行区分を守らない人多すぎる。自分が歩いても、自転車に乗っていてもこわい思いをしたことが多々ある。今一度市民に周知してほしい。
-----	----	----	--

不満

30代	女性	泉水	交差点の安全対策などして頂いているのはわかるのですが..どうしてもベビーカーなどを押していると守るはずのガードレールで余計に歩道が狭くて通れず車道を仕方なく歩くこともあります。 もう少し道幅が広くなったり自転車と歩行者を分けた道路のペイントなどが地面にあると嬉しいなと思います。
50代	女性	栄町	この1週間市長選で大変街が荒れました。各小学校に選挙法140条の2に書いてある学校や病院診療所の前でのマイクを使った選挙活動は静音にと書かれているにもかかわらず、1人の立候補者は、子供たちの前で校長先生を罵倒したり、子供たちは怖がっており、SNSに顔が写り込んでしまったり、保護者が大変不安がっていました。私もそれを報告を受けて、警察、教育委員会、選挙管理委員会にご連絡させていただきましたが、教育委員会の先生方が一生懸命文章を作ってくださいました。また、子供たちを勧誘している土曜日の現場に遭遇した際、警察も動いてくれず、非常に危険だと思いました。大体この非常事態に警察は動いても何もせず、保護者はただ反撃をされたら怖いなあ嫌だなと言う思いで何もできず。朝霞市のトップを決めるこの市長選の大事な時期に大切な子供を守ることができないなんて何をしているのかと思いました。
30代	女性	本町	実家がある上内間木地区は街灯が少なく、薄暗くなってから子どもや女性が1人で歩くには物騒です。家同士が離れていることが多く、不審者等が現れても助けてもらえそうな場所がありません。防犯カメラもない地域なので、とても不安です。 また、大型のトラックが多く、歩道や横断歩道を歩く際も怖さを感じます。

			昔から土地が低く地盤が弱いため、冠水しやすいです。避難所である内間木公民館へ行くためには、1km 以上歩かなければならず、子どもや高齢者は逃げられません。災害時は、取り残されても仕方がないと市に言われているような気持ちです。声をあげても対策はしてもらえず、駅周辺の整備ばかりです。
30代	女性	溝沼	・歩行者用信号について、青なのか赤なのか、光っているのか識別が分かり難く危ないものが結構ある。古い信号だからなのか、新しいものは照明も強く色がハッキリと区別できるけれど、古い型と思われるものは、天気の良い日などは青なのか赤なのかどちらが光っているのか本当に分からない。間違えて横断しそうになってヒヤヒヤしてしまう時もあるし、児童の通学路なので早急に改善して欲しい。 ・公園の出入口の前に横断歩道を必ず作って欲しい。児童や幼児の飛び出しを多くみる。こども達をコントロールすることは難しい。なので環境づくりや大人ができる対策として、歩行者の飛び出しの可能性をドライバーに知らせるためにも横断歩道を設置して欲しい。特に朝霞の森の税務署前の道路など。 ・朝霞台駅付近や城山通りなど、横断歩道に信号がないところ、設置して欲しい。
40代	女性	泉水	泉水坂を自転車で上っているとよく自動車に煽られます。無駄にクラクションを鳴らしたり異常に幅寄せをしてくてぶつかりそうになったこともあります。 泉水坂の歩道が狭すぎるのが根本的な原因だと思います。坂を下る際に歩道に「自転車は車道を走行してください」と看板がありますが、その様な指示をするならば自転車専用道を設けるなり、煽り運転に対して取り締まりを強化するなり対策を講じてください。本当に危険です。
30代	女性	幸町	街灯が少ないところが多いです。 大通りはもちろん、住宅街の明かりを増やしてほしい。 学校の近くの道や住宅街も暗いです。
30代	女性	三原	移動手段に自転車を利用します。 宮戸橋通りを使うことが多いですが、車道が狭くトラックの往来も多いため危険です。歩道も歩行者が多いため自転車が通れる道がありません。 通学路になっているため、子どもがぶつかってケガをしないかも心配です。

			また、宮戸橋通りの五小付近に大きな水たまりができるので雨の日は歩道に大きく水が跳ねます。 側溝も詰まっており機能していません。 通学路でもあるため、雨の日の登下校が心配です。 三原一丁目付近の生活道路でスピードを出して走行する車が多いです。 また、信号機が変わりそうなタイミングでスピードを上げて右左折する車も多いです。特に左折は見通しが悪く横断歩道の歩行者が見えてないため危険です。 どちらの道も通学路になっています。スピードが出せないよう、五小周りに設置されているスピード抑制ハンプの設置範囲を広げてほしいです。 また、五小前の歩道橋を使わない人が多く(老若男女問わず)、自転車で横切っていて危険を感じる人が多いです。 信号と横断歩道の設置を検討してもらいたいです。
30代	男性	泉水	不満どころか大いに不満。歩道が狭く子供をひとりで外出させることに不安を感じる。夜になると街灯が少ない道もあり、道路事情だけで言うと、朝霞市に住んでいて「安心・安全なまち」と感じたことは全く無い。
40代	女性	仲町	道が狭く、危険な歩道が放置されている箇所が多いです。小学生の通学路となる場所でも、自転車や自動車が優先なように感じられることばかりで恐ろしいです。市長がお住いの、溝沼ばかりが優先的に歩道が確保されていると聞きます。道路間際までマンションが建つばかりで、安全な街という印象は下がり続けています。それから彩夏祭が盛り上がるたびに、治安が悪くなっています。不動産会社の広告ばかり各所に増えて、気味が悪い。市内で露骨な不平等をし続けるのを、本当にやめてください。
30代	男性	根岸台	朝霞駅南口から市役所に至る道路が狭い。まちなかに人流や消費、投資(創業等)を呼び込み、市民が安心して過ごせるようにするには、歩行者空間を確保し、ウォークブルにすることが必要。 拡幅が難しいのであれば、歩行者専用道路とするか(せめて駅から富士見通線)、公共交通(バス)を一方通行とするなど、実証実験を行いつつ、対策(と市民の機運・理解醸成)を進めるべき。 朝霞駅東口付近の道路幅が狭く、右折専用などの整理もないため、渋滞が慢性化している。

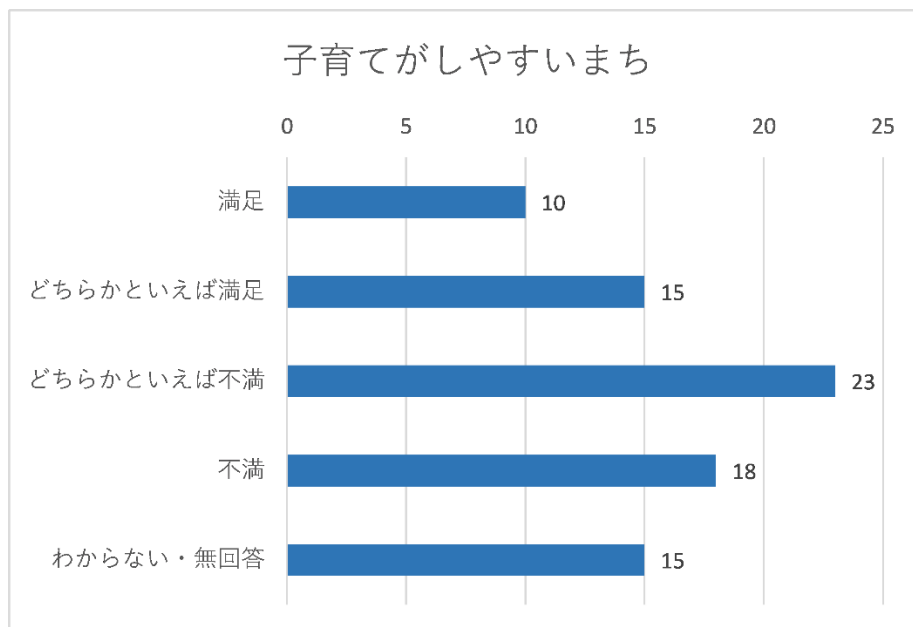
			老朽化した公共施設(市役所や図書館等、人が集まる、誘客機能を有する施設)の建て替え・再編も必要。その際、単なるハード整備ではなく、ミクストユースやまちづくり(特に駅周辺エリアのエリアマネジメント)の視点から進めるべき。
30代	女性	膝折町	道が狭く、車で通る時に歩行者とぶつかりそうになることが多い。また、ベビーカーを押しての歩道のすれ違いができず車道に出なければならず怖い思いをしている。
50代	女性	三原	三原二丁目交差点付近から第五小学校までの通学路は大変危険な道路です。もう10年以上、こちらについて意見をあげていますが、全く改善の兆しが見えません。こちらの道路に面している戸建ての建て替えの際も道路幅は広がりませんでした。新しいガードレールの設置ではなく、市が積極的に用地買収をして道路幅を広げてください。 悲しい事故が起きる前に対応してください。 まちづくりという点で、建売住宅のミニ開発を規制する法令を制定してください。密集している建物から火災発生時の危険性、日当たりや風の通りの悪さや窮屈感などの住環境の悪化。このまま行くと住みにくい、住んでいても心休まらない街になってしまいます。 渋谷区や世田谷区などは敷地面積の最低限度が定められているため、小さい戸建ては作ることができません。 市役所・青葉台公園の整備と同じように住宅街にもゆとりある街ができるように早急に制定してください。
30代	女性	本町	本町の武道館前の一本道をベビーカーでよく利用します。 ・歩道が狭い。 ・歩道が細切れでその都度段差を乗り降りする必要がある(ベビーカーだからなんとかかなっているが車椅子の方や手押し車をひいてる高齢者には厳しそう)。 ・歩道がない箇所は路側帯があるところもあるが、消えている(消してある?)ところがほとんど。 ・自転車が逆走していたり歩道をはやい速度で通行している。 等、安全とは感じられません。 以前は青葉台に住んでいて広い歩道に慣れてしまっているとはいえ、本町の歩道が整備されていないことに不安を感じます。 今はベビーカーでの通行ですが、今後子どもと安心して手を

			つないで歩けるよう少しでも整備されればと願っております。
30代	女性	泉水	●マナーの悪い朝霞市在住外国人が増えた。10年前には無かった問題。早めに対応してください。不法移民や不正生活保護受給の取り締まりをしっかりと欲しい。 ●泉水三丁目の宮戸橋通りに横断歩道を作ってください。大きなマンションに入っていく人やスーパー利用者、そろばん利用者のお子様達、皆様平気で道路を突っ切るのびっくりします。 花束が道に置かれているので死亡者も出ています。どうかよろしくお願いいたします。
30代	女性	根岸台	ベビーカーでの移動時に歩道車道の段差が大きく引っ掛かることが多い。 根岸台7丁目の子供たちの通学路にきちんとした歩道がなく、燃えるごみの日はごみがあるため車道を歩かなくてはならず交通量の多さを考えると危険。
40代	回答しない	西原	歩道が整備されていない道路が多すぎる。自転車の道交法違反(逆走、信号無視、一時停止違反)が特に朝霞台周辺で多すぎる。
70代	女性	本町	歩行者が、車のすれ違いが大変な道路で車が優先で人が避けるところを探さなくてはならない街。それに緑や畑も無くなってきて、住宅やマンションが密集していて、買い物も便利とは言えない。54年も住んで居るけれど、どんどん嫌な街になって来ました。もう少し考えて改革して欲しいと心から思っています。持主が土地を売るのは当然でしょうが、ある市は住宅を造る時に緑化を義務付けています。朝霞市は緑など植えられない程隣同士の間隔が狭いです。住みたくない街に変化してしまっています。それに隣に誰が住んで居るのかもわからない程、人々の交流がなくなって来ています。通勤に便利というだけで朝霞市に住んでいる方が多くなっているような気がします。
40代	女性	本町	狭い道が多く、街灯も暗いため防犯面で心配である。

30代	女性	泉水	主な取り組み内容のなかでも特に朝霞市の道路事情に大いに不満を持っています。とにかくシンボルロード以外の市内全域の道がどこも狭い！ 敷地いっぱいギリギリまで建てられた家や途中でパッタリ消失する歩道、元々狭い歩道のど真ん中にたてられた電柱、人がすれ違うのも難しいくらいの歩道(しかもガードレールがあり逃げ道無し)。 過去のアンケートでも朝霞市の道路事情に不満を持つ声が多いにも関わらず、本当に安心・安全なまちづくりをしようという気があるのか謎なレベルで、こんなに道路状況の悪いなか子供をひとりで遊びに行かせるのは無理です。実家は朝霞市以外の市町村ですが、放課後に子供だけで自転車に乗って遊びに行く姿をよく見ます。朝霞市では見ません。 毎年「安心・安全なまち」についてのアンケートを取るのであれば、何かしら目に見える形での改善を望みます。ここ数年朝霞に住んでいる間にも「ここに家を建てなければ道が広がるのに」という場所に多くの家が建ち、相変わらず道路が狭いまです。
30代	女性	根岸台	夏の豪雨で家の前の道路が浸水し、ひざ下まで水があった。家まで流れてこないか心配だった。 狭い道が多く、子どもを乗せて自転車で走るのが怖い。車道と歩道の段差を解消してほしい。
30代	女性	本町	歩行者が通る幅が狭いため、通るのが怖いので、道幅を広くしていただきたいです。 また、公園通りの武道館入口交差点から本町二丁目交差点までの間に、横断歩道を設置していただきたいです。(信号はなくてもよいので)
60代	女性	根岸台	学校まで歩いて30分くらいかかるのですが、歩道が整備されていけませんので車も多く危険を感じます。

子育てがしやすいまち

Q-6:「子育てがしやすいまち」の実感(単位:件)



Q-7:「子育てがしやすいまち」についての意見

満足

50代	女性	根岸台	あちこちに支援センターや児童館が沢山あっていいです。 公園も充実していますね。 ただ、素晴らしい城山公園というのがあるのに、何となくうす暗いイメージで利用者が朝霞の森より少ない。色々な森のイベントをやって朝霞の森の良さを広めたらいいかと思います。
60代	女性	溝沼	孫と児童館をよく利用します。 曜日別に各児童館を営業して下さり助かります。 おもちゃや、運動を楽しみ、安全な空間が保たれ嬉しいです。
40代	女性	膝折町	近隣他市よりも児童館や子育て支援センターが多く、充実していると感じます。大きな公園が多いのも魅力です。 一方で歩道が狭い、そもそもない、夜になると真っ暗になるなど、道路状況はまだ改善すべき点があると思います。

どちらかといえば満足

60代	女性	朝霞市外	子育て支援センターに助けられているという話しはよく聞く。 朝霞の森にも幼児連れの親子、土日にはお父さんと子どもが多く遊んでいて、この町が安全で住民に余裕があることを感じさせる。 とはいえ、子育て中の人には保育園のこと、幼稚園、学校での困りごと、子どもの発達のことなど、それぞれ抱える悩みがあるようで、あちこちから情報を仕入れ紹介することがある。若い転入者が気付きやすい相談窓口の紹介があるといいと感じる。
40代	女性	仲町	発達障害について、相談できる枠が少ないのが気になっています。
30代	女性	東弁財	どろんこで遊べる公園が少ない。プレーパークのような子供が自由に遊べる場所を増やして欲しい。 公園に自由度が少ない。例えばボール遊びや自転車などを乗り入れ禁止なところが多い。 事前遊びできる場所が増えると嬉しい。
40代	男性	本町	朝霞の森など子供たちが遊べるスポットが近隣都市よりも多く感じます。こういう広場を今後も大切に出来たらと思います。
30代	女性	膝折町	プレーパークの存在に救われています。
30代	女性	本町	公園、自然が充実しているので嬉しい。 取り組み内容とは異なるのかもしれませんが、最近本町2丁目にマンションが増えて、ただでさえマンモス校の八小がパンクしないのだろうか心配しています。保育園や小学校、児童クラブ等を考えて、マンションを建てる規制又は保育所を併設させる等条件を出したりしているのでしょうか…。
20代	女性	岡	自然が多く、子育てはしやすく感じる。学童に入りづらいと言う話を聞くのでそのあたりは心配。
30代	女性	根岸台	「安全・安心なまち」にも通じますが、学区の小学校(八小)が遠く不安です。和光市の小学校の方が近いので、そちらに越境通学はできないか、もしくは猛暑や豪雨の時だけでもスクールバスなどの運行はできないか、検討いただきたいです。
30代	女性	本町	まだ子供が1歳で保育園にも入っていないので一部分だけ

			を見ての回答になりますが、本町児童館が綺麗でおもちゃや本、イベント等活用できて満足しています。また保健センターの職員の方も丁寧で優しくちょっとしたことでも相談しやすく安心感があります。
40代	女性	本町	本町の児童館が駅前に新しく出来ありがたいが、子供だけで行くには本町児童館も溝沼児童館も少し遠いエリアに住んでいるため、市役所近くに児童館があるととってもありがたい。
40代	女性	本町	買い物行く所が少ない。 もっと家族で食べにいける場所や、ショッピングモールみたいな所ができたらいいなあと、周りの人も言ってます。
30代	女性	根岸台	児童館をよく利用しています。 みなさんいつも笑顔で接してくださり、有難いです。

どちらかといえば不満

30代	女性	栄町	子どもが生まれてすぐは子育て支援センターなどを利用して頂き、子育てしやすいまじに感じました。 しかし保育園では職員が毎年たくさん退職され、園長が途中でやめたり、不在のままの期間があったり、転園を迫られそうになった年もありました。 小学校では短期間で何人も担任がかわったり、集金は毎月現金、懇談会資料には時代錯誤な内容があったりと古い体制のままの部分になります。 学童にも育休中は預かってもらえないこともとても困っています。
40代	女性	三原	雨の日に子供から大人まで遊べる屋内遊園地、屋内遊具、沢山身体動かせる施設を作って欲しい。 ボール遊びオッケーの公園をもっと作るべき！ 公園に制限が多すぎる。 大人がタバコやジュース、食べ物のゴミを公園に捨てて公園を汚している。 高齢の方のマナーが悪すぎる(歩きタバコ、ポイ捨て)。 志木と新座はクリスマスに500円で個人宅にサンタさんが来てくれるので朝霞もやって欲しい。 東北小学校は申請なしで預かれる学童があるようです。 朝霞の学校も申請なしで気軽に預けれる学童作って下さい。 まずは朝霞第五小学校へ！！

30代	男性	幸町	不法滞在外国人の増加を防ぐような施策を実施いただきたいです。交通ルールを理解していない外国人が増えることによる治安の悪化が、子どもの安全を脅かすような未来は回避したいです。
30代	女性	三原	学童のお世話になっていますが、3年生になると入れない子も多く長期休みをどう過ごさせるべきか困っています。 高学年になっても学童に入れるようなキャパシティを用意してほしいです。もしくは長期休みのみ利用できるような、子どもの居場所事業に力を入れてください。現在の1週間午前中だけ、みたいな内容では学童の代わりになりません。不十分です。志木や新座の取り組みは進んでいてうらやましいと感じます。 また、夏休みは狭い学童の教室内で一日を過ごすことが多いようです。酷暑のため外遊びが厳しいことは理解していますが、体育館の開放はそれぞれの校長判断によって決まっていると聞きます。すべての小学校で体育館が利用できるように市から働きかけをお願いします。 また、三原地区には子供が利用できる施設が少なすぎます。図書館や児童館など、親が連れて行かなければ利用できません。 三原地区で赤ちゃんを育てるには、児童館も遠くて大変だろうなと思います。児童館は建設予定があると伺っていますが、早く満遍なくサービスが行き渡るようにしていただきたいです。
30代	男性	泉水	全体的には可もなく不可もなく。児童館や公園など遊具やおもちゃが古いことは気になる。同じ市内なのに小学校の指定持ち物などが学校によって異なるのはなぜですか。集団登校は付き添いの保護者にとって負担。
40代	女性	仲町	子ども相談室さわやか相談室は、まったく機能していないです。 都内や近隣市の取り組みと比べて、昭和感ただようこの朝霞を本気で変えようとしてほしいです。 イルミネーションがあっても「子育てしやすい」だなんて思いません。 目に見えるところにばかりお金をかけるのではなく、中身を充実させてほしいと切に願います。

50代	女性	三原	息子が中学生の時にさわやか相談室を利用している時期がありました。さわやか相談室には大変お世話になり助けられて、無事、高校・大学進学へと進むことができました。 当時と比べてもさわやか相談室の利用者数は増えていると広報で見ました。 このような施設の拡大(小学校など)や教室の充実に予算をさいていただき、親子ともに支えていただける場所であって欲しいと思います。
30代	男性	根岸台	新しく世帯向けのマンションが続々と建っているが、保育園、幼稚園の数が追いついていない。 道路整備がちゃんとされておらず、歩道がない、あるいは非常に狭いところが多く、子供を歩かせられない。
30代	男性	北原	待機児童をなくしてほしい。
40代	女性	東弁財	相談窓口は本当に周知され機能しているのか子育てしていても実感がありません。 支援センターは働いてらっしゃる方が同じ場所に長くいすぎるのは小規模のところなど私物化していてよくないと思います。
40代	女性	無回答	子どもが多いため、保育園の保活も苦労し、学童も苦労しています。 キャパにあった受け入れ態勢を築いてほしいです。
40代	女性	泉水	給食が年々質素になっていて、給食を食べたはずなのに子供がお腹を空かせて帰ってくる。 副菜がない献立や、うどんとちくわの磯辺揚げだけというときもあった。
50代	男性	膝折町	障害児、障害者施設が足りていない。
30代	女性	根岸台	待機児童の多さ。 わざわざ子育てのしやすさを掲げているわりにはどこでもやっている政策しかしていない。
30代	女性	栄町	公園の遊具に不備が多く、整備が追いついていない。 埼玉県内の他の市よりも、保育園の規定が厳しく、保護者支援の役割をあまり果たせていないと感じる。

40代	回答しない	西原	朝霞市に限らず市町村は、児童虐待と思しきケースへの対応が、警察や児相とばかり連携して『親を咎めれば行政の手柄』のような動きになっている。例えば子供の気質や発達発育が要因であったり、親の精神疾患のような、家庭の困りごとなどに寄り添って解決する姿勢が見られない。保健師や精神科医療機関などともっと連携すべき。
30代	女性	泉水	子育て支援センターや児童館、市内の保育園の充実に関してはとても感謝しており、その点では子育てしやすいと思いますが、先の項目にもあるように朝霞市の道路状況の悪さが不安要素となり、子供をひとりで遊びに行かせることができません。公園は子供の興味をそそるような楽しそうな遊具は無く、近隣の市の公園に連れて行った方が子供も喜んで遊びます。
30代	女性	本町	朝霞は共働きが多く、東京に仕事に行く人のベッドタウンでもあります。 子育て世代が引っ越して来ており、子供の人数が多いです。学童が足りていません。 小学生の居場所、遊び場も足りていません。 こんなことなら朝霞に引っ越して来なければ良かった、と人が去って行かないように対策、支援をお願いします。 学童を増やしてください。安心して働けません。
60代	女性	本町	幼児を遊ばせることのできる公園は、小規模を含めればまあまああるとおもいますが、犬や猫の糞があったり、管理は十分とはいえないと感じます。和光市などのように、朝霞市内に1か所でもいいので、こどもが転んでも怪我をしない芝生の、管理の行き届いた(犬を散歩させている飼い主が糞を放置することに注意して)、安全で安心してこどもを遊ばせることのできる公園が欲しいと思います。
30代	女性	本町	待機児童が多すぎる。保育園を増やすか、児童の受け入れ人数を増やすかしていただきたいです。

不満

30代	女性	泉水	泉水付近について、無理なこととは思いますが..近辺に支援センターも児童館もなく坂下などに行かなくてはならないため、坂上にも支援センター等があると嬉しいなと思いました、
40代	女性	幸町	さいたま市で第一子を出産し、朝霞市に引っ越してきました

			た。 第一子出産時、助産師訪問、産後ケア施設を利用してとても救われました。第一子が7ヶ月のときに朝霞に引っ越し、産後ケアの制度自体がなかったので、落胆しました…。利用できるのは助産師の方の自宅訪問が一歳までに2回のみ。 これから第二子を朝霞で出産したいと思っていますが、産後うつなどのリスクに不安を感じています。
50代	女性	栄町	子育て支援センターや児童館はよく頑張ってくださっていると思います。 しかし、市役所・教育委員会が絡む学校さわやか相談室、スクールカウンセラー、グレイゾーンの子たちの居場所づくり、子供たちの居場所づくり、そして非行に走った子の後の受け皿、そういった事は本当に何もできてません。民生の方、有償ボランティアと言いますが、結局お家に入ることが許されず、ほんとに難しい状況だと思っています。 お年寄りに関してはもう包括支援センターがずいぶん機能してきているんですから、困窮世帯や1人親の世帯の相談窓口、もっと外部の方を入れて、そこに補助金等お金を注ぎ込んで、未来の子供たちのためにお金を回すと言うことはできないのでしょうか？
30代	女性	本町	学童がどこも定員となり、小学2年生でも利用ができないと聞いています。民間業者を取り入れるなど、早急に対応してほしい。 また、小1の壁問題。育児短時間勤務は就学前で終了してしまうため、朝子どもを送り出すためには、勤務形態を変えざるを得ません。早朝の受け入れを検討してほしい。 内間木には支援センターや児童館がありません。ごく小規模の公園はありますが、人の目がなく、物騒で1人では遊ばせられない。
30代	女性	溝沼	・こどもが公園でボール遊びができない。ボール遊びも近所でできる場所がない。禁止されてるからできない。ご近所の大人の方からお叱りを受けて泣きながら帰宅することがあり、迷惑になる、仕方の無いことだ、ルールだからと説明をしましたが、子供の体や心の成長する機会を奪っていると感じて心苦しい。ボール遊びができる公園は学区外で遠いです。禁止事項、なんとかならないでしょうか。令和になり、時代も変わってきています。禁止事項を極力無くしていく取り組みを地域の皆さんとできないでしょうか。例えば、乳幼児の親

			子でのボール遊びも禁止なのですか？なぜ幼児は大人はよくて、小学生だけのボール遊びはダメなの？など小学生の我が子に説明を求められることもあります。ボール遊びに限らず、子どもたちがどの公園でも気持ちよく過ごせるような街づくりをしてあげて欲しいです。 ・子どもが行き渋りをしています。学校以外の居場所がない。フリースクールもない。自力でなんとかしなければならないというのは、本当に大変です。どうにかして欲しいです。 ・子育て相談をしても、話を聞くだけで、実際に何かサポートしてくれるわけではない。
30代	女性	幸町	支援センター、子供の室内遊び場も増やしてほしいです。小児科など病院もすくない気がします。
40代	女性	朝志ヶ丘	給食費が値上げしてるのになぜかメニューが減っていく。子供の給食のためなら支出はするので、メニューを貧相にしないでほしい。都内のように無償なら貧相でも仕方ないが、値上げしてそれはないと思う。 放課後教室が2校で始まったばかりとは子育て支援は周回遅れです。子育ては今していて、今必要なんです！スピード感を持って取り組んで欲しい。 朝霞台に住んでいると不便なことばかりです。整備は朝霞駅ばかりで、子育ての手続き関連もいちいち市役所窓口までいかないとできない。
30代	男性	根岸台	公園は多いが、雨天や猛暑でも遊べる屋内施設がない。本町児童館は比較的規模が小さいが、利用する年齢幅が広いいため、安心して利用できない。また、市販おもちゃで遊んだり、漫画を読むことが主な過ごし方となるため、身体を十分に動かせない。ある程度利用年齢を絞ったり、エリアを区切るなどした、子育て支援施設があるといい。その際、多少なりとも利用料金をとるべき。行政サービスは無料という考えでは持続可能ではない。施設の適切な維持管理のためにも受益者負担は必要。また、駅前など都市機能が集約しているエリアに整備するなど、周辺の商業への波及効果も生まれるよう、俯瞰的に立地を考えるべき。
30代	女性	膝折町	早急に近隣市町村と同レベルのデジタル化と長期休暇中の学童保育、またはそれに代わる居場所の整備をお願いしたいです。児童館では不十分です。

30代	女性	栄町	幼稚園、保育園に通う2人の子供がいます。保育園は4月から入所予定ですが、26園希望を書いて、内定が出たのは第15希望のところですよ。かなり入所しづらいという印象で、周りの同僚にも勧められない地域と感じています。 私自身本当は新生活が軌道に乗るまで時短勤務したかったですが、幼稚園では兄弟点が見つからないことからフルタイムでの復帰は必須事項でした。自分たちの希望するライフスタイルが叶わない子育ては苦しいものです。
20代	女性	根岸台	保育園が足りてないので、増やして欲しい。 保育園の事で市役所に相談しても「この園はそういう園なのでどうにもならない…」と対応してくれないので、ちゃんと対応して欲しい。
30代	女性	本町	子育てしやすいまちと名乗って欲しくないです。どこが子育てしやすいのか逆に教えていただきたい。 ・児童館が複数あるが、その割に子供達が使ってるイメージがない ・公園のルール(ボール等禁止や騒いだらダメなど)によって子供達が制限されすぎて遊べる公園が少ない ・子供相談室の運用について誰でも相談や勉強(適応指導教室)が出来る場所なのに門前払いされた実績 ・不登校児に対する対応 ・給食の量や味(子供の満足度)
30代	女性	泉水	こんな財源が無いといいつつ海外からやってきた外国人に生活保護を簡単に認める日本では子供も育てたくない。今は朝霞市で平和に暮らせているが、時折怖くなる。日本の未来に絶望してしまうことがあるので、子供作りは諦めました。 子供を作りやすい環境を新たに作るのではなく、取り締まりをしっかりと不安要素を排除、無駄を省くべきです。
30代	女性	岡	子育てがしやすいだけでなく、働きながら子育てがしやすいまちにしていきたい。共働きの時代なのに、学童に通わせられない家庭が多いのはよくない。

40代	女性	三原	4年生から学童に入れないのに朝霞台エリアの子供達はどこの児童館に行けというのでしょうか。 なかなか児童館もできないし、裕福な家の子供しか居場所が確保されない環境では子育てしやすいとはいえない。
40代	女性	本町	未就学児までのサポートは整ってきているが、小学校入学後は児童クラブの定員が非常に少ない。何度も訴えているが低学年でも受け入れが厳しい。次年度の放課後教室は少しは進歩したと思うが、長期休みは9時からの受け入れとなっており共働きのことを考えていない。遅くとも8時からの受け入れにしてほしい。市役所から事業所に依頼する段階でそのようにしないと意味がない。
30代	女性	根岸台	子育て相談が最悪だった。 子どもが遊べる室内施設が少ない。幼少期は良いが、小学生高学年が遊ぶ所がない。
60代	女性	根岸台	学校を増やしてほしいです。

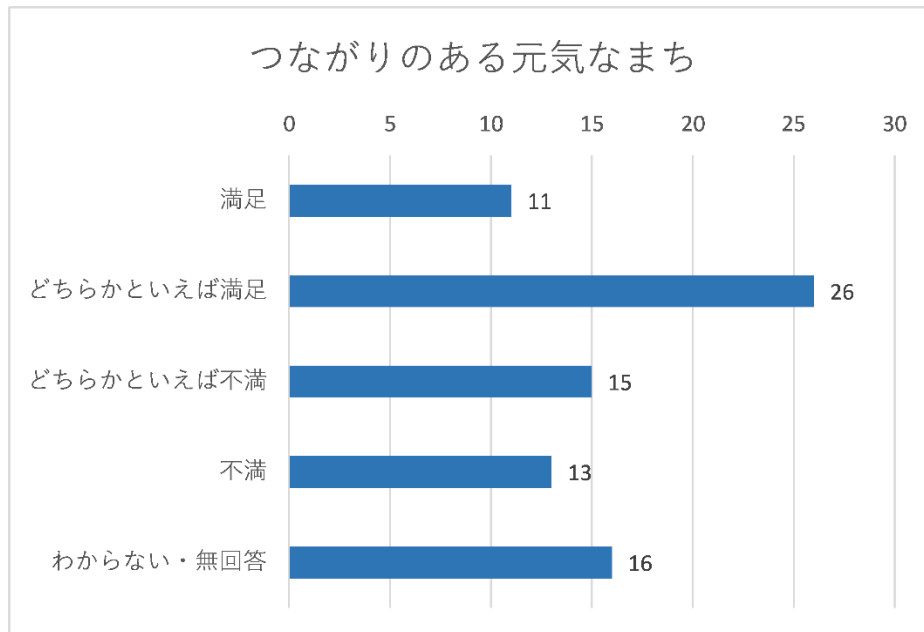
わからない

30代	女性	溝沼	公園にごみが落ちていたり、タバコを吸っている人がいて子どもを安心して遊ばせられない。 現在子どもは未就学だが、学童に入れないという話をよく耳にするので今から不安に感じている。 産後ケア等、産後に利用できるサービスが無く(高価なものはあったが)頼れる人もいなかったのも、退院後すぐから家事育児を全てしなければならず大変だった。
40代	女性	泉水	ほかの町で子育てしたことはありませんが、可もなく不可もなくといった印象です。
50代	女性	岡	自分が子育て中の時は、しやすいまちとは感じなかった。今は保育園の数も増えてきたが、病児保育などの体制や、土日に診療している小児科などは改善されているのか？よくわかりません。
50代	女性	無回答	こどもがいないのでなんとも言えないが、給食のおかずが少ないと議会であがっていたりすると、さみしい気持ちになった。 市にとって子育て支援とはなんなのかと思う。

40代	女性	岡	子育てしていないのでわかりません。
70代	女性	本町	私はコンビニで働いています。親御さんの批判になるのでやめておきます。
60代	女性	根岸台	環境は、良く感じますが子供が巣立ってしまい、あまり分かりません。

つながりのある元気なまち

Q-8:「つながりのある元気なまち」の実感(単位:件)



Q-9:「つながりのある元気なまち」についての意見

満足

30代	男性	北原	ストリートテラスなど、人が集まる試みが良い。
60代	女性	溝沼	がん検診は良い取り組みで、毎年受けています。 健康に注意出来ています。 わくわくバスも助かります。 コースが遠回りなのですが、コースの検討などはあるのでしょうか。
20代	女性	岡	一年を通してお祭りなどのイベントが多く、朝霞市民の賑わいを感じる場面が多いのは嬉しい。
60代	男性	三原	年代を問わず楽しめるイベントを増やしてほしい。
60代	女性	本町	図書館が充実していて利用しやすいです。 博物館、プラネタリウムは他市にはあまり見かけませんが、朝霞にはあってとても嬉しい施設です。細々でもずうっと利用したい施設です。

どちらかといえば満足

30代	女性	栄町	朝霞は色々なイベントがあり、よく参加させて頂いています。わくわく号もよく利用させて頂いています。坂が多いのでとても助かります。
30代	女性	溝沼	色々なイベントや催しがあって良いが、どれも混雑しすぎて十分に楽しめないなので工夫してほしい。
30代	女性	東弁財	公民館で子供向けのイベントなどを増やしてもらえると嬉しい。高齢者向けなものはよく見るが、子供向けのものが少なく感じられる。
40代	男性	本町	小さい子から大人、ご老人と、すべての人々が、安心して気軽に挨拶が出来る街であって欲しいです。
30代	男性	幸町	本町から幸町に大きなカフェを増やしていただきたいです。例えば、朝霞の森の使われていない場所を活用してスタバのようなカフェを誘致する、コワーキング空間を整備するなど、人のつながりを育むエリアの有効活用をお願いしたいです。
40代	女性	朝志ヶ丘	わくわくどーむを利用していますが、朝霞台までのわくわく号の終バスが早すぎて不便です。
50代	女性	岡	商工会や市などのイベント、彩夏祭など、つながりを作ろうという努力はしていると思います。これからも続けて欲しい。 子育て時期はママ友の交流もあったが、子育てが終了し、定年も視野に入る50代になってあらためて地域でのつながりがある(できる場)があるといいと思う。
40代	女性	無回答	色々なイベントが開かれており、市民の活動も活発であると感じますが、閉鎖的な面もあると思います。 誰もが気軽に参加できるようなものがあるといいと思います。
30代	女性	岡	わくわくドームでの子どもスポーツ教室や工作教室など、市が主導で、色々な学校の子ども同士のつながりが短期間でもできることはよかった。
40代	女性	本町	色々イベントが多く参加しやすいのがいいと思う。
30代	女性	泉水	がん検診は毎年受けています。安価な費用で受けられるので嬉しいです。
40代	女性	膝折町	わくわく号助かります。今年から運行しているわくわくワゴ

			ンが、もう少し曜日を増やしてもらえるとありがたいです。また、ホームページに支払い方法を明記してもらえると、助かります。
--	--	--	---

どちらかといえば不満

40代	女性	幸町	さいたま市から引っ越してきました。市のがん検診の項目の少なさに驚きました。 催しが多く、自治体や町内会が元気なイメージがあります。
40代	女性	三原	病院、病院ではなく、根本的な食事と運動の知識を高め、皆に食事コントロールと運動をさせるべき。 無料で参加できる身体を動かせるイベントを開催するべき。
60代	女性	朝霞市外	以前から様々な市民活動団体が活発に活動しているが、市の人口構成と異なり高齢化が進んでいるようだ。自分達の地域を自分達で住みよくしようとの活動だろう。ぜひ若い転入者も参加できるよう、行政の手助けを期待する。
40代	女性	仲町	多文化推進サポーターが活用できてないように思います。
30代	女性	幸町	施設が少し古くなってきている。 わくわく号は少ない。 健康診断、健康推進をもう少ししてほしいです。
30代	男性	根岸台	空き店舗はまちなかに外部不経済をもたらす。調査、意向確認、借り手とのマッチングなど、きめ細かに進めるべき。 特に、市内金融機関や商工会、エリアマネジメント組織など民間とも協力し、まちなか創業を促し、まちなか全体のテナントミックス、多様性あるエリア形成を目指すべき。
50代	女性	無回答	前回のアンケートがどのように活かされたのか不明慮である。
30代	女性	泉水	●テニスコート要らない。 ●循環バスは大変便利です。 ●ハローワークはもっと世の中の会社に指導して欲しい。紹介できる会社がいわゆるブラック会社みたいな会社が多すぎる。 ●昨年発表された市の職員の件です。市発注の工事代金などの支払い事務を怠り、受注業者への未払いを発生させたとして、上下水道部水道施設課の主任級職員(54)に減給10分の1、1カ月の懲戒処分などをしたと発表した。こういった発表を隠さずしていただけるのは助かります。

50代	男性	膝折町	一部の既得権益者のためにだけある。
40代	男性	本町	つながり、ありますでしょうか？
60代	女性	根岸台	いろいろな行事に参加したいと思いますが、一人では勇気が入りますね。 どのようにしたら良いか考えてしまいます。
60代	女性	本町	私はマンションに新規に入居しましたが、自治会はマンションで独立していて、地域とのつながりは求めても得られない感じをうけます。地域活動に関心はありますが、取り掛かりがないことをたいへん残念におもっています。

不満

30代	女性	本町	人口が少ない内間木地域、60歳以上が多い地域ではつながりが希薄だと思う。SNSでの情報が主流となり、事業があったとしても、高齢者は情報を得られません。 高齢者は、「自分には情報がこない」→「世の中に必要とされていない。出かけてもつまらない」という考えになりがちで、要介護者の割合が加速すると思います。
30代	女性	溝沼	30代の子育て&共働き家庭が求めている、地域の繋がりやサポートと、実際に市が行ってる事業？とのミスマッチを感じます。というか、若い世代への魅力的な取り組みとか、コミュニティづくりがない気がします。突発的なイベントはたくさんありますが。
30代	女性	三原	子育ての欄でも書きましたが、三原地区には公共施設が少なくサービスが行き届いているとはいえません。
40代	女性	仲町	本当に「つながる」のであれば農家の皆さまの恵みを、学校給食に活かすとか、出版関連の工場が多い朝霞ならではの学習を、子ども達と行うとか、もっと、教育と街づくりを「つなげる」手段はいっぱいあるはず。 今まで、朝霞市役所の職員の皆さんは、市役所で相談をしても本当に冷淡でした。 まつりやイベントの時だけ、急に生き生きするという印象です。 市民と近い存在になってほしいです。
30代	女性	膝折町	時代にそぐわない時間を持て余した高齢者の都合に合わせた自治体の運営はとても迷惑です。現役世代の負担になるようなことはやめてほしいです。

50代	女性	無回答	まったくつながりがない。 朝霞台駅周辺ではイベントも少ないし、何事も朝霞市役所周辺だけでやっているイメージ。 分断とまでいかないが、志木や和光市周辺を好んで利用するくらい朝霞市はまとまりを感じない。
60代	女性	膝折町	わくわく号についてです。 朝の便が若干増えたのは評価出来ますが、北朝霞発の終バスが早まり大変不便になりました。 タクシーも酷い時は数十分近く待つこともあります。 料金を値上げしても良いので、以前の様に21時台まであるようにしていただきたいと思います。 また、同駅のバス停のベンチの位置を時刻表の後ろにして欲しいと思います。 高齢者の方の利用が多いのにベンチに座って待てないのは気の毒に感じます。 朝霞駅南口と同じ様な位置にして頂けることを希望します。
40代	女性	泉水	住んでいる地域が寂しい。 バスの本数が少ない。どんどん減らされている。減らすなら市内循環バスのルートを増やして欲しい。
50代	男性	浜崎	朝霞台駅に市民が自然に集まる大型商業施設を作って欲しい。
40代	回答しない	西原	自治会、町内会は地縁血縁など古くからの地元の者を中心に形成され、転入転出の多い朝霞市にはもはや馴染まない。 自治会、町内会を維持するメリットはあるのか？ 不動産会社が農地を放棄した農家からどんどん宅地開発を進め、市も違法性がなければ許可しているので、新たな住宅地やマンションでは、最低限、隣近所、マンション内などで、ゴミステーションの管理や雪掻き、清掃などの付き合いや地域の治安が維持できるよう、市や関係機関が支援や助言をしていけばよいのではないかな。
70代	女性	本町	まったく無いと思っています。
30代	女性	根岸台	町内会によって温度差が大きい。 マンション住まいだと回覧板もない。繋がりが薄い。

わからない

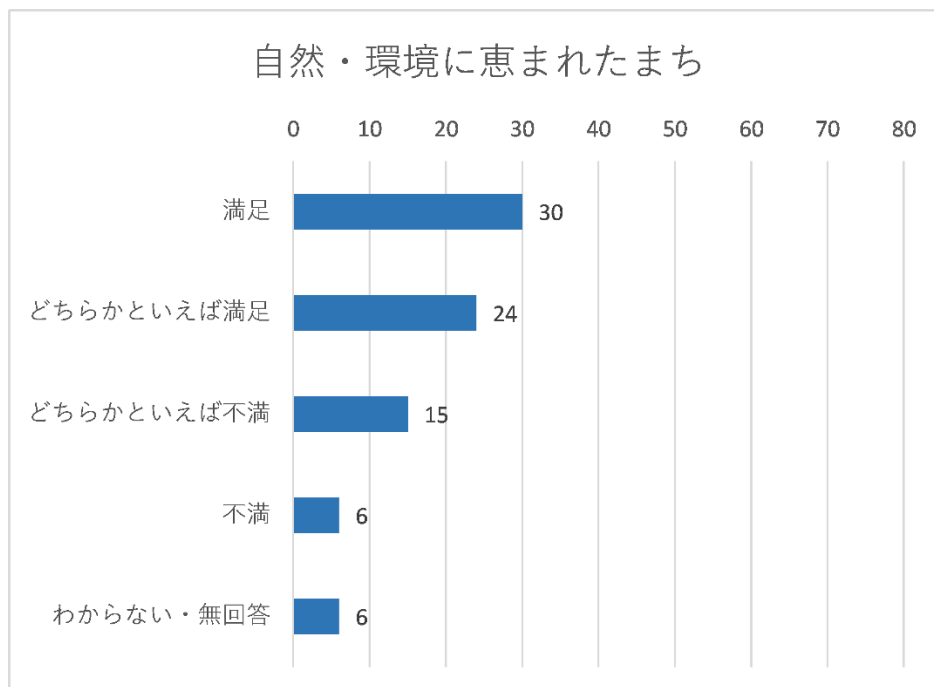
40代	女性	泉水	特に感じたことはない。
30代	男性	泉水	地域で繋がりを感じたことはありません。

50代	女性	根岸台	まだ、あまりわかりません。
50代	女性	三原	弁財坂下にある「JA あさか野」で朝霞の農作物の販売をしてください。 地のものを買えるというのも、朝霞市民で良かったと思えるひとつです。そこから生まれる絆もあります。
30代	女性	本町	取り組み内容のものを、広報あさかを見ていてあるのは知っているのですが、実際に関わることがまだないので実感としては感じられていないです。
30代	男性	根岸台	取り組みが我が家まで届いていないのか、実態がいまいちわからない。
40代	女性	岡	個人的には一人暮らしで、市外で働いているので地域の方と繋がっている実感は無いです。 ただ、やっぱり繋がっていきたいと思っているので、ボランティアか何か参加できる機会があったらいいなと思っています。
50代	女性	本町	何かあるのかすら分かりません。
50代	女性	三原	昼間違う自治体で働いているのでわからない。実感しにくいです。

自然・環境に恵まれたまち

Q-10

：「自然・環境に恵まれたまち」の実感(単位:件)



Q-11:「自然・環境に恵まれたまち」についての意見

満足

40代	女性	幸町	自然や環境の良さが朝霞に引っ越しをした決め手になりました。
40代	女性	泉水	黒目川沿いの遊歩道の散歩はとてもしフレッシュできます。都市部に近いのにこれだけリフレッシュできる環境があるのは貴重だと思うので、これからも守っていきたいです。
40代	女性	仲町	自然・環境に恵まれたまちであること、黒目川や朝霞の森、そして農業が残っていること。 そこだけが朝霞の良さです。 畑が減ってマンションや駐車場に置き換えられています。 しかしマンション建設だけに使うことなく、豊かな緑を守っていく対策をしてほしいです。 もう1つ、「子育て」の政策が乳幼児期の子どもにのみ偏っていると感じます。 朝霞の小中高校生の居場所といえば「塾」です。

			塾に行けない子どもたちは、家でゲームをしている。 公園に行けば、ボール遊びが禁止されている場所ばかりですから、それはそうなります。 小学生、中高生の不登校問題が全国的に問題となるなか、居場所となる場所をあらゆる形で確保して欲しいです。 その一つのカギが、この朝霞の自然環境に隠されていると思います。 いまはシニアの方たちの活動場所になってしまっていますが、黒目川を探索するSTEM学習サークルを作るとか、ゴミ問題に関してマンガにするとか。令和的な発想で、地元企業や活動家の方たちを巻き込みながら、小中学生にも刺さる、伝わる、熱中できるコンテンツにして欲しいです。
30代	女性	膝折町	特に不満はないです。ゴミの有料化はやめてください。
30代	女性	本町	近所ということで朝霞の森はよく利用させていただいています。シンボルロード、公園や自然が多くこれからもその場所に新しく何かを建てるのではなく、大きな木、自然を大切にしていってほしいです。ナラ枯があつたりと維持や手入れが大変とは思いますが、張り紙がしてあつたり切られていたり、対処していただいてありがとうございます。
10代	男性	北原	朝霞市は本当に緑が豊かだと思います。
60代	女性	溝沼	市役所周りの道や、公園など景観も良く気に入っています。 駐車場が無料で使いやすく良心的だと思う。 よく、田島緑地を散歩に行きます。 広々と景色良く、毎日ボランティアで草むしりをして下さっている方がいて感謝しています。 おかげで気持ち良く歩けます。 いつも季節を感じられる街、朝霞。 自分も街をキレイに大事にしたいです。
20代	女性	岡	公園など、定期的に点検や整備をしてくれているのがわかるのでそのあたりはありがたい。
30代	女性	栄町	シンボルロードや、朝霞の森が綺麗に保たれているのでありがたい。 自然が多いので、子どもと遊びやすい。
30代	女性	岡	インスタなどシティプロモーション課の方の広報活動から都会すぎないところが伝わる
40代	女性	本町	滝の根公園や朝霞の森など、子どもたちが虫を捕まえたりして、とても楽しく過ごせている。有難い経験が出来ています。

			黒目川も綺麗でいいです。蛍が見れるようになるといいと思います。
60代	女性	本町	朝霞の森もそうですが、駅から近いところに広くて安全にゆっくりできる空間がある事は貴重だと思います。公園も地形をうまく活かされていて、孫をお金を使わず色々な公園に連れて行けてありがたいです。
30代	女性	泉水	池袋から帰ってくるときに黒目川の景色が見えるとホッとします。沿線で朝霞台までの間にあのような自然を見ることは無いので、朝霞台以北に行く乗客も美しいなと思って見ているはず！ 春は桜と菜の花、夏は川遊び、秋や冬は遊歩道の散歩など1年を通して市民の憩いの場所なので、これからも随時河川敷の整備をしてもらいたいです。 朝霞の森の南側の本当に森化している土地は今後どのように運用されるのでしょうか？ 希望としてはビルや住宅地を整備するのではなく自然と触れ合えるスポットになればなと長い目線で楽しみにしています。
20代	女性	浜崎	毎年8月頭に行われている彩夏祭は、市外の住民にも大変人気であり、花火大会もとても楽しみにしているので継続していただきたい。
40代	女性	膝折町	緑も多く、公園も整備されていると感じる。
40代	男性	幸町	朝霞の森の有効活用を引き続きお願いします。

どちらかといえば満足

30代	女性	栄町	シンボルロードは子どもと散歩がしやすく、歩いていて気持ちがいいです。 朝霞の森も広く、制限が少ない場所なので子供たちがのびのび遊べるのでありがたい場所です。 花火やボール遊びができる公園が、パッとみてわかる地図が欲しいです。
40代	男性	本町	朝霞の森、シンボルロードは私のふるさとである千葉県柏市の柏の葉公園エリア(柏の葉公園、こんぶくろの池)を思い出させます。こういう都市型公園、緑地を大切にしていきたいです。

40代	女性	朝志ヶ丘	黒目川の景色はいいと思います。ただ、東洋大学周辺はもう少しキレイにしてあげたほうがいいのではとおもいます。
30代	女性	三原	これからも企画などで盛り上げていてほしいです。
30代	男性	泉水	とくになし。
30代	女性	栄町	生まれも育ちも朝霞の私にとって、シンボルロードは本当に好きな道です。今はイルミネーションや催し物も増え、家族で楽しませてもらっています。 ただ、イルミネーションについては集客に課題があるように思います。 私たちはよく幼稚園の帰りに自転車で寄っていましたが、ただ歩くだけになってしまうのがもったいなく感じました。お金を落とす場所がない…。 例えばイルミネーションを見ながら軽食や温かい飲み物を飲めるスペースがある、小規模なクリスマスマーケットのようなものがあると違うとも思います。ぜひご検討ください。
30代	男性	北原	宅地化が進み、自然が少しずつ少なくなっているように感じる。
40代	女性	無回答	シンボルロード周辺の、国有地？が放置されているように感じます。 その一帯が暗くて、草が生い茂っているので、夜は不気味な感じです。 有効活用して賑わいを創出してほしいです。 彩夏祭は、真夏にやるものではないと思います。 温暖化で猛暑酷暑が続いています。開催時期の再考を望みます。
30代	女性	泉水	●市役所前のぽぽたん像がとても可愛いです。そこで大人から子供まで写真を撮っている光景は微笑ましいです。素敵な場所を作っていただきありがとうございます。
60代	男性	三原	街路樹や花壇を主要箇所に増設してほしい。
60代	女性	根岸台	自然豊かな街と感じています。
50代	女性	三原	暮らしやすさは感じます。
60代	女性	本町	気軽に参加できるボランティアなどがあるといいなとおもっています。

どちらかといえば不満

30代	女性	泉水	彩夏祭では市民がもう少し楽しめるようにして欲しいなと思います..。
40代	女性	根岸台	市内の自然は地主さんの相続対策等で、住宅建設が盛んであるが為に急激に減り過ぎて居ると思う。 自然を残す方法はないのか探して欲しい。 公園ができてボール遊びは禁止。うるさいと言われる子供達。環境が整っているとは言えないのでは？
30代	女性	東弁財	自然豊かとは言い難い。
50代	女性	岡	25年前は都心にも出やすく、緑が多かったが、農家の相続等で農地がなくなり、マンションばかりが建っている印象。 もう少し農地を守る市政をして欲しい。 環境的にも、今後の食料安全保障の観点からも、朝霞の農地、農業を守ることは重要だと考えます。
30代	男性	根岸台	朝霞の森周辺にみどりが集中しているが、よりまちづくりGXを進めるべき。 特に、先の駅南口から市役所の道路を一方通行にする場合などはシンボルロードへの繋がりも意識し、プランターなどの小規模緑化ではなく、抜本的にリデザインすべき。
50代	女性	無回答	彩夏祭の花火はうれしいがよさこいは正直歓迎しない。 朝霞台駅周辺には公共施設がほぼないので、あまり印象に残らない。
30代	男性	根岸台	半分放置された畑があり、そちらから土が風に乗って我が家に飛んできて窓に付着する。自然はあるのかもしれないがきちんと維持管理されてる感覚がない。
40代	女性	東弁財	イルミネーションに多くの税金を利用していると聞きました。 どのくらいの経済効果があるのでしょうか？ せっかくみにきても周りにお店も少なく経済効果は少なく感じます。
40代	女性	泉水	犬が入れる公園が少ない。
50代	男性	浜崎	黒目川沿いの散歩、ランニング用道路に整備して欲しい。今は砂利等で安心して走れない。
50代	男性	膝折町	彩夏祭で迷惑を被っている住人がいることを知ってほしい。

40代	女性	岡	黒目川の川辺が大好きです。 なので、土手が舗装されることがとてもショックです。 自然な砂利道だったから桜並木とも相性がよく、とても落ち着く大好きな場所だったのに、人工的な風景になるのはとても悲しいです。 バーベキューや花火の後のゴミの放置を何とかしてほしいです。 タバコの吸殻とかを子どもが拾って川に投げているのを見ると悲しくなります。 整備することが全ていいと思わないでほしいです。 自然を破壊しないでほしいです。
50代	女性	本町	マンションが増えすぎて空がどんどん小さくなっています。 シンボルロードも流行りに乗って格好をつけているだけで憩いもありません。 清潔なベンチでもあればよいですが、交通量の多い道路のすぐそばですし、行こうと思いません。 市民まつりにヨサコイは何の関係があるのか…うるさいだけです。 ヨサコイの人や花火の人が街を汚していくのも不愉快です。
30代	女性	根岸台	朝霞の森周辺はいいけど、その他はイマイチ。城山公園も木倒壊？で使えない時期があった。

不満

60代	女性	朝霞市外	とにかく緑が失われている。私有地が宅地化することは避けられないと聞かされるが、斜面林の宅地化などとは何か制限がかけられるのではないかな。 あずま南部地区の開発と、たくさんの鳥達が集まっていた野っ原が掘り起こされている。保全緑地だけが残されてなにが「自然・環境に恵まれたまち」だろうと思う。間違っても「自然環境に恵まれたまち」じゃないですよ。
30代	女性	本町	シンボルロード付近ばかりに力をいれ、税金を使っている。 ペーパーレス化が進み、高齢者や障害者等のSNS利用が難しい人には困難な状況になっている。 内間木の歩道を見たり歩いたことがありますか？大型車の廃棄ガスにより道端の草木は変色していますよ。景観なんてあったもんじゃないです。 声なき声をきちんと吸い上げ、税金を公平に使うべき。

30代	女性	溝沼	どんどん開発されて、魅力が少なくなってる気がします。駅前や商店街などは開発されて欲しいです。でも、田畑を潰して、木を切り倒して、美しい景観も無くして…という開発は本当に残念です。少し田舎っぽい街並みが好きだったけど、どんどん都内みたいになってきて、つまらない街になってしまいそう。静かで、ゆとりがあって、のんびりした雰囲気が好きでした。特に溝沼あたりは魅力的だったんだけどな…。
40代	回答しない	西原	シンボルロード、朝霞市役所周辺にコストを掛けすぎ。朝霞台駅・北朝霞駅周辺の再開発、朝霞台駅の整備が遅れている。
70代	女性	本町	自然環境は恵まれていません。
60代	女性	朝霞市外	とにかく緑が失われている。私有地が宅地化することは避けられないと聞かされるが、斜面林の宅地化などとは何か制限がかけられるのではないかな。 あずま南部地区の開発と、たくさんの鳥達が集まっていた野っ原が掘り起こされている。保全緑地だけが残されてなになが「自然・環境に恵まれたまち」だろうと思う。間違っても「自然環境に恵まれたまち」じゃないですよ。
30代	女性	本町	シンボルロード付近ばかりに力をいれ、税金を使っている。ペーパーレス化が進み、高齢者や障害者等のSNS利用が難しい人には困難な状況になっている。 内間木の歩道を見たり歩いたことがありますか？大型車の廃棄ガスにより道端の草木は変色していますよ。景観なんてあったもんじゃないです。 声なき声をきちんと吸い上げ、税金を公平に使うべき。

わからない

40代	女性	三原	マンションを増やすのではなく、身体を動かせる施設、公園を増やして欲しい。
-----	----	----	--------------------------------------